

国際学類 ハンドブック

2020年度（令和2年度）入学者用

Student Guide 2020

金沢大学国際学類

School of International Studies, Kanazawa University

ようこそ，金沢大学国際学類へ！

国際学類長 古畑 徹

国際学類に入学された皆さん，おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。新型コロナウイルスのこともあってどこか落ち着かない年度替わりだったとは思いますが、入学に関する一連の行事に参加して、改めて大学生になったことを実感されているのではないのでしょうか。しかし、大学入学は一つの区切りであって終点ではありません。長い人生にとっては一つのエピソードであり、むしろ高校時代とは異なる新たな学びの出発点なのです。グローバル化された現代（新型コロナウイルスはまさにそれを実感させる出来事です）、狭い日本の〇〇大学を卒業したというだけでは評価されません。どこの大学であれ、皆さんがそこで主体的に何を学び、何を身につけたかということが評価されるのです。高校までは、大学入学を一つの目標として、比較的多くの教科で良い成績を取ることが大切だったかもしれませんが、大学では、批判的な精神のもと、世界と人間についての広い教養と優れたコミュニケーション能力を身につけるとともに、自分の得意なもの、関心のあるものを見つけ、それについて主体的に深く学び、真の実力を身につけることが大切です。受験からの解放感にいつまでも浸って、目標も持たず、ただ無為に過ごしてしまうと、将来必ず後悔することになるでしょう。

この『国際学類 ハンドブック』は、そんな皆さんにとって、これから国際学類で多くのことを学び、経験していく上での大切な「道しるべ」です。まずは熟読し、卒業まで手元に置いて大切にし、必要に応じて参照して下さい。高校までは先生の指示通りに他の生徒と同じように勉強していればよかったかもしれませんが、大学では自らの意志で学修計画を立て、履修する授業を選択していかなければなりません。自分は何を学びたくて国際学類に入学したのか、将来どんな職業に就きたいのか、そのためには何を学び、どのような能力を養う必要があるのか、あるいは留学や海外研修をどう組み入れていくのか、そうしたことを常に意識しながら、様々な手続きやルールに従って卒業要件を満たしつつ、主体的に授業を選択していくのです。この『ハンドブック』にはそのために必要なさまざまな情報が掲載されています。

ただ、この『ハンドブック』だけではわからないこともたくさんあります。時には進むべき道に迷うかもしれません。そんな時は、遠慮なく教員や教務係の職員、そして先輩たちに相談して下さい。仲間内の仲良し作りに満足しないで、そうした時に相談できる教職員やすでに多くのことを学び経験し情報を持っている先輩たちを含むさまざまな「大人」との出会いを大切にして下さい。一人で抱え込んだり、思い悩んだりせず、人を頼って下さい。「人を頼る力」というのも、実はとても重要なスキルなのです。

さて、2008年4月に開設された国際学類も、早いもので昨年度12周年を迎えました。この3月には9回目の卒業生を送り出しましたが、年々就職の面でも優れた実績を上げ、高い評価を得ています。近年では、毎年60%以上の学類生が海外の提携大学等に留学（半年・1年）し、90%以上の学生が何らかの海外研修を経験しています。国際学類は、そうした海外での留学や研修を強く奨励しています。また、本学には、キャンパス内に留学生と日本人学生が生活を通じて交流できる学生・留学生宿舎がありますので、留学や異文化に興味のある皆さんの入居をお勧めします。

本学は2014年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。国際学類には、大学のグローバル化の先導役として学内外から大きな期待が寄せられています。皆さんも、学類の歴史をつくってきた先輩たちと共に学び、そして先輩たちを超えるつもりで、自らの夢や希望の実現に向けて頑張ってください。そのためにも自らの文化もしっかり学びつつ、多くの国際経験を積み、国際学類生にふさわしい「大人」を目指して下さい。この『国際学類 ハンドブック』が、これから新たな知の海に漕ぎ出す新入生の皆さんにとっての希望の「羅針盤」となることを願っています。

(2020年4月)

目次

国際学類担当教員（専任・準専任）	1
------------------	---

学習計画について

1. 授業科目の配分について	4
2. 専門教育科目と共通教育科目の関連及び学域GS科目，学域GS言語科目，学類共通科目について	4
3. 履修コースについて	16
4. 副専攻について	36
5. 免許状・資格修得のための履修について	36
(1) 教育職員免許状	36
(2) 卒業時に取得できる資格	37
① 開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格	
(ア) 日本語教育主専攻資格取得のための科目表（日本・日本語教育コース）	
(イ) 日本語教育副専攻資格取得のための科目表（全コース）	
(ウ) 学芸員資格取得科目群	
(3) 学類の学習が結びつく受験資格	44
(4) その他の資格	44
6. 体験実習科目について	44
7. 短期留学及び海外研修について	46
8. 外部検定試験等による単位認定について	47
9. 富山大学人文学部との単位互換について	50

修学上の心得

1. 授業について	51
2. 専門科目の単位数について	51
3. 履修登録について	51
4. 定期試験について	51
5. 転学域・転学類・転コースについて	52
6. 授業科目履修の具体的方法について	52
7. アドバイス教員について	55
8. 研究演習について	55
9. 卒業論文について	55

一般心得について

1. 国際学類図書室について	58
2. コース学生研究室について	58
3. 姓名等の変更・異動の届け出について	58
4. 休学・退学について	58
5. 事故等について	59
6. 台風等非常時における授業・学期末試験等の取扱いについて	59

7. 学生に対する公示について	60
8. 学生団体の結成届出について	60
9. 就職について	60
10. 駐車・駐輪について	60
11. 禁煙について	61
12. ゴミの分別収集について	61
13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項	61

規 程

1. 金沢大学人間社会学域規程	62
2. 国際学類細則	81
角間北地区校舎配置図	86

国際学類担当教員（専任・準専任）

●はコース長，※印は準専任教員

国際社会コース

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
フォックス・セナン	国際政治史（東洋）E senanfox@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館5階3522号室 264-5764
中野涼子	国際関係論E，国際機構論E rnakano@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館4階3420号室 264-5592
● 加藤篤行	国際貿易論E，国際経済学E akatoecon@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館4階3419号室 264-5534
和田一哉	国際開発論E kwada@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館2階3215号室 264-5480
佐々木優	比較政治学E	人社3号館4階1404号室 264-5481
※ 吉居（竹内）史子	国際公共経済論 little.toy.soldier1101@gmail.com	人社2号館4階472号室 264-5413
※ 平松潤奈	比較文化論A・B junnah@staff.kanazawa-u.ac.jp	総合1号館4階410号室 264-5825
※ 塚脇真二	地球環境論E shinji@se.kanazawa-u.ac.jp	総合2号館6階679号室 264-5814
※ 横山智哉	政治コミュニケーション論，国際コミュニケーション論 tmyokoyama@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社2号館7階765号室 264-5374

日本・日本語教育コース

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
深澤のぞみ	日本語教育学基礎，日本語教科書研究，日本語教授法B，日本語教育実習B nozomif@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館4階3411号室 264-5594
● 清水邦彦	日本文化，日本の思想と宗教，日本思想史 ojizo@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館4階3417号室 264-5835
上田長生	日本史概説，日本史特論 h-ueda@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社1号館3階314号室 264-5321
大江元貴	日本語学概論A・B，日本語文法A，日本語の語彙・意味，日本語の文字・表記 oe.motoki@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館4階3412号室 264-5536
※ 杉山欣也	日本の現代文学 kinkin-s@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社1号館6階610号室 264-5337
※ 能川泰治	日本史特論 ysnogawa@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社1号館3階308号室 264-5306
※ 守屋哲治	対照言語学 moriya33@staff.kanazawa-u.ac.jp	人社5号館3階3310号室 264-5523
※ 太田亨	日本語教育実習A akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	総合1号館3階303号室 264-5807
※ 松田真希子	日本研究演習B mts@staff.kanazawa-u.ac.jp	総合1号館3階307号室 264-5843

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
※ 山本 洋	日本語教育史	総合1号館3階306号室
	yama@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5929
※ 深川 美帆	第二言語習得論	総合1号館3階312号室
	mihofk@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5805

アジアコース

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
古畑 徹	東アジア史概説, 東アジア国際交流史	人社4号館3階4321号室
	tfuruhat@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5767
● 弁納 才一	アジア経済史	人社2号館5階562号室
	zhong21@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5416
宋 安 鍾	国際政治史, 韓国・北朝鮮研究	人社2号館7階762号室
	ajsong@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5397
古泉 達矢	現代中国論	人社4号館3階4317号室
	tatsuyakoi@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5844
亅 華	中国表現法, 現代中国時事文	人社1号館6階603号室
		264-5349
※ 西本 陽一	東南アジア研究	人社1号館6階609号室
	yoichi@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5355
※ 森 雅秀	仏教文化論, 南アジア文化論	人社1号館3階313号室
	abhaya@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5313
※ 趙 菁	ビジネス中国語	総合1号館5階508号室
	zhaojing@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5851
※ 矢口 直道	南アジア文化論	人社1号館3階312号室
	nyaguchi@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5312
※ 渡辺 達雄	東アジア社会と教育A, B	総合1号館6階604号室
	tatsuode@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5793

米英コース

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
アベ・デイヴィッド	米英文化関係論E	人社4号館2階4235号室
	dabe4@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5829
● 山口 善成	米英メディア文化論E, 英語グローバルトピック	人社4号館2階4233号室
	yoshiyam@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5318
岡本 宜高	米英政治・外交論, 国際政治史(西洋)E	人社4号館2階4225号室
	y.okamoto@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5571
※ 久保 拓也	アメリカ地域文化論E	人社5号館3階3311号室
	takuya@ed.kanazawa-u.ac.jp	264-5524
※ 山本 卓	イギリス地域文化論E	人社5号館3階3313号室
	yamatea@ed.kanazawa-u.ac.jp	264-5526
※ 澤田 茂保	英米言語文化概説A/B	総合1号館6階603号室
	sysawada@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5838

ヨーロッパコース

氏名	主な担当科目	研究室番号
	メールアドレス	研究室電話番号
石黒 盛久	ヨーロッパ近現代史, ヨーロッパ歴史特論	人社5号館5階3517号室
	ishiguro@ed.kanazawa-u.ac.jp	264-5558
● 粕谷 雄一	ヨーロッパ文化特論, フランス語	人社5号館5階3523号室
	ykasuya@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5351
志村 恵	ヨーロッパの宗教, ヨーロッパ社会特論, ドイツ語	人社1号館6階613号室
	mshimura@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5345
ティモ・テーレン	ドイツ語コミュニケーション科目	人社1号館6階606号室
	thelen@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5867
※ 佐藤 文彦	ドイツ文学史	人社1号館6階614号室
	satof@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5346
※ 阪上 るり子	フランス語	人社1号館6階619号室
	sakagam@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5342
※ 岩津 航	フランス文学史	人社1号館6階620号室
	iwatsu@staff.kanazawa-u.ac.jp	264-5310

備考 人社：人間社会, 総合：総合教育

学習計画について

1. 授業科目の配分について

卒業及び学位修得に必要な単位については、人間社会学域規程のとおりです。共通教育科目と専門教育科目の中から、必要な単位を修得しなければなりません。両科目とも、1年次から配置されていますが、共通教育科目は主として低学年で、専門教育科目は高学年で修得するように配置されています。共通教育科目の単位修得要件（38単位）については、2年次前期、遅くとも2年次中には修得するよう計画してください。また、共通教育科目については、『共通教育科目履修案内』で確認してください。

学 年	授業科目の配置
4 年	専門教育科目 専門基礎科目 専門科目 (教職科目)
3 年	
2 年	
1 年	

共通教育科目
 導入科目
 (1年前期に配当)
 GS科目・GS言語科目
 自由履修科目・初習言語科目

2. 専門教育科目と共通教育科目の関連及び学域GS科目、学域GS言語科目、学類共通科目について

国際学類細則による単位修得要件は、下表のとおりです。

細則別表第1 単位修得要件

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	38単位以上	大学・社会生活論 1単位	30単位以上
			初学者ゼミⅠ 1単位	
			データサイエンス基礎 1単位	
			地域概論 1単位	
	GS科目(5群)		各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)は必修	
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位, EAPコース4単位	
	自由履修科目 ※		3単位以上	
基礎科目	—			
初習言語科目	1言語8単位以上			
専門教育科目	学域GS科目	86単位以上(注2)	2単位	卒業論文(6単位), 研究演習(ABから4単位)を含む
	学域GS言語科目		2科目2単位	
	専門基礎科目		学類共通科目20単位以上(注1)	
	専門科目			
卒業に必要な単位数		124単位以上		

※共通教育科目における自由履修科目は、GS科目、基礎科目および初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した科目、並びにその他の共通教育科目(導入科目及びGS言語科目を除く)を指します。

(注1) 「国際学入門」「国際学入門E」から1単位必修、「日本文化」「日本文化E」から1単位必修含む。

(注2) 専門基礎科目、専門科目中の英語による授業(Eを付した授業)を、米英コースにあつては6単位以上、他のコースにあつては4単位以上修得すること。

なお、2年次以降は、それぞれ履修コースに所属することになり、選択必修科目の修得要件も履修コースによって異なります。希望するコースの専門科目のことも考慮に入れながら、1年次より計画的に単位修得が出来るよう学習計画を立てる必要があります。国際社会コースと米英コースに設置された英語による履修プログラムに参加する学生の単位修得要件は別に定めます。

【学域GS科目及び学域GS言語科目の履修の注意】

①学域GS科目

学域GS科目は、共通教育科目のGS科目と同じように金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) に対応して開講する専門教育科目で、主に1年次後期 (Q3・Q4) , 2年次前期 (Q1・Q2) に開講します。複数開講されている中から計2単位以上を選択して修得する必要があります。なお、国際学類では2単位を超えて修得した学域GS科目単位は「選択科目」に算入されます。

また、学域GS科目は、システム抽選対象科目となります。履修登録期間内の登録者数が各科目の適正人数 (受講上限数) を超えた場合、履修登録期間終了後に、共通教育科目と同じくシステムにより抽選が行われます。履修登録補正期間になると抽選結果をインターネットで確認できますので、履修が許可されなかった場合や履修登録を間違えた場合は、補正を行ってください。操作方法等は共通教育科目のシステム抽選対象科目と同じです。

②学域GS言語科目

学域GS言語科目は、人間社会学域専門教育科目の基礎的な内容を英語で話し、書き、発表することができるようになること、ひいては様々な実践的英語力を身につけ海外留学希望者の専門的な英語力の底上げを図ることを目的とした専門教育科目です。主に2年次に開講します。「学域GS言語科目 I (1単位)」及び「学域GS言語科目 II (1単位)」を1単位ずつ計2単位以上修得する必要があります。

なお、学域GS言語科目は単位の重複履修が認められています (時間割が同じ時限の科目履修は不可)。国際学類では2単位を超えて修得した学域GS言語科目単位は「選択科目」に算入されます。

また、授業による履修のほか、以下ア)～ウ)の方法での単位修得も可能です。詳細は掲示等で案内します。

ア) 外部検定試験による単位認定

外部検定試験で所定のスコアや成績を得た者は、申請により、学域GS言語科目の単位認定を受けることができます。

対象となる外部検定試験等は下表のとおりです。

試験名	スコア等成績		認定単位
	国際学類	左記以外の5学類	
TOEIC (Listening & Reading Test)	780 以上	630 以上	「学域 GS 言語科目 I・II」2 単位
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	780 以上	630 以上	
TOEFL iBT	83 以上	64 以上	
TOEFL ITP	550 以上	513 以上	
IELTS	6.0 以上	5.5 以上	

※単位認定についての留意事項

- ・ 成績評価は「認定」となります。
- ・ 認定された科目はGPA算出の対象外となります。
- ・ 認定単位数は、クォーターで定められた上限単位数には含めません。
- ・ 本制度による「学域GS言語科目」認定単位は2単位を限度とします。「学域GS言語科目 I・II」のうち、既にどちらか1単位を修得している場合は、未修得の残りの1単位分を認定します。

イ) 派遣留学や海外研修による単位修得方法

<派遣留学（本学との交流協定に基づく外国の大学への留学）>

留学先大学で修得した科目のシラバスの内容により、「学域GS言語科目」に限らず、その他の専門教育科目や共通教育科目全般が認定の対象科目となります。申請を希望する場合は、派遣留学前に人間社会系事務部学生課教務係（以下、人社系教務係）に相談してください。

<派遣留学以外の海外研修>

本学域各学類提供の海外研修プログラムや国際機構ホームページ掲載の各種プログラムでの海外研修を行った場合、当該プログラムで規定される授業科目単位(学域GS言語科目以外の授業科目もあります)の修得が可能です。詳細は掲示等で案内します。

ウ) 金沢大学ELPセンター提供科目による単位修得方法

タフツ大学ELPセンターが提供する科目を履修することによって「学域GS言語科目」の単位を修得することができます。詳細は掲示等で案内します。

【学類共通科目履修の注意】

国際学類に所属する学生は、履修コースを問わず、学類共通科目の「国際社会系科目」（選択必修科目「国際学入門」「国際学入門E」を含む）と「日本文化系科目」（選択必修科目「日本文化」「日本文化E」を含む）から所定の単位を修得しなければなりません。7ページ以下の「別表第3 専門基礎科目」と以下の説明をよく読み、それぞれ、10単位以上を修得してください。なお、国際社会コースにおいては、学類共通科目で国際社会系科目及び日本文化系科目の修得すべき単位数を超えた単位は、コース専門科目の選択必修科目とすることができます。

①国際社会系科目

「国際社会系科目」は、選択必修科目の「国際学入門」「国際学入門E」いずれか1単位を含めて、卒業までに10単位以上修得が必要です。

②日本文化系科目

「日本文化系科目」は、選択必修科目の「日本文化」「日本文化E」いずれか1単位を含めて、卒業までに10単位以上修得が必要です。

【言語コミュニケーション科目】

言語コミュニケーション科目とは、10ページ以下の「専門科目」の「アジアコース専門科目」「米英コース専門科目」「ヨーロッパコース専門科目」の中に記載されている科目で、各コースの選択必修科目の要件に応じて修得する必要があります。

別表第2の1 学域GS科目

区分	科目番号	科目名	学年	授業時間数		単位数	備考 (履修制限および修得要件)
				前期 (1Q・2Q)	後期 (3Q・4Q)		
学域GS科目	10015	大学・学問論	1		2	1	重複履修不可
					2	1	
	10016	ジェンダーと教育	1		2	1	重複履修不可
					2	1	
	10019	異文化理解1	1		2	1	国際学類生は学域GS科目としては履修不可
	10020	異文化理解2	1		2	1	
	10021	文学概論1	1		2	1	2単位必修
	10022	文学概論2	1		2	1	
	10023	世界遺産学	1		2	1	
	10024	法政基礎論A	1		2	1	
	10025	法政基礎論B	1		2	1	
	10026	イメージの比較文化学	1		2	1	
	10027	現代日本の文化と社会	2	2		1	
10028	地域創造学1	2	2		1	地域創造学類生は学域GS科目としては履修不可	
10029	地域創造学2	2	2		1		
(別に定める)							国際基幹教育院提供 (GS科目発展系科目)

別表第2の2 学域GS言語科目

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考
				選択必修	必修	
言語域GS科目	10101	学域GS言語科目Ⅰ	2～4		1	海外研修等
	10102		1～4			
	10201	学域GS言語科目Ⅱ	2～4		1	海外研修等
	10202		1～4			

別表第3 専門基礎科目

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)
				選択必修	必修	
学類共通科目 国際社会系	16202	国際学入門	1	1		2科目から1単位必修
	16402	国際学入門E	1	1		
	16206	国際経済学1	2	1		10単位必修
	16406	国際経済学2	2	1		
	16260	国際経済学1E	2	1		
	16460	国際経済学2E	2	1		
	16208	国際貿易論1	2	1		
	16408	国際貿易論2	2	1		
	16261	国際貿易論1E	2	1		
	16461	国際貿易論2E	2	1		
	16209	国際協力論1	2	1		
	16409	国際協力論2	2	1		
	16210	異文化理解1	1	1		
	16410	異文化理解2	1	1		
	16062	国際学特論E	2	2		
	16068	国際政治経済論	2	2		
	16069	国際公共政策論	2	2		
	16268	国際機構論	2	2		
	16258	国際機構論1E	2	1		
	16458	国際機構論2E	2	1		
16049	国際コミュニケーション論	2	2			

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)	
				選択 必修	必修		
国際 社会系	16256	国際関係論1	2	1			
	16456	国際関係論2	2	1			
	16269	国際関係論E	2	2			
	16257	国際政治史1	2	1			
	16457	国際政治史2	2	1			
	16264	国際開発論1	2	1			
	16464	国際開発論2	2	1			
	16262	国際開発論1E	2	1			
	16462	国際開発論2E	2	1			
	16267	ヨーロッパ・アフリカ概説1	2	1			
	16467	ヨーロッパ・アフリカ概説2	2	1			
	学類 共通科目	16214	日本文化	1	1		2科目から1単位必修
		16414	日本文化E	1	1		
16212		日本の思想と宗教1	2	1		10単位 必修	
16412		日本の思想と宗教2	2	1			
16213		日本史概説1	2	1			
16413		日本史概説2	2	1			
16014		日本経済論	2	2			
16244		日本政治・外交論1E	2	1			
16444		日本政治・外交論2E	2	1			
16265		日本民俗文化論1E	2	1			
16465		日本民俗文化論2E	2	1			
16270		日本語学概論A	2	2			
16468		日本語学概論B	2	2			
16221		日本語教育学基礎1	2	1			
16421		日本語教育学基礎2	2	1			
16067		日本の文学	2	2			
16469		日本の古典文学1	2	1			
16470		日本の古典文学2	2	1			
16238		日本文化体験A	2	2			
16239		日本文化体験B	2	2			
16477		日本文化体験C	2	1			
16478		日本文化体験D	2	1			
16471		日本の近代文学1	2	1			
16472		日本の近代文学2	2	1			
16473		日本の現代文学1	2	1			
16474		日本の現代文学2	2	1			
16263		日本の人口学1E	2	1			
16463		日本の人口学2E	2	1			
16475		日本研究特論1E	2~4	1			英語プログラム参加者のみ 履修可
16476		日本研究特論2E	2~4	1			

※実際の開講期はWebシラバス、時間割等で確認してください。

専門科目

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)
				選択 必修	必修	
国際社会 コース 専門科目	51029	国際金融論	3～4	2		他コースの英語を 除いた言語コミュニ ケーション科目 (8単位)を含め 24単位必修(日本 語を母語としない 学生の専門科目の 必修要件は、留学 生センターが提供 する日本語科目な いしは、他コース の専門科目(8単 位)を含めて24単 位必修とする。)
	51030	国際金融史	3～4	2		
	52027	比較文化論A1	2～4	1		
	52527	比較文化論A2	2～4	1		
	52028	比較文化論B1	2～4	1		
	52528	比較文化論B2	2～4	1		
	52017	比較文化論1E	3～4	1		
	52517	比較文化論2E	3～4	1		
	52018	多文化主義論1E	3～4	1		
	52518	多文化主義論2E	3～4	1		
	52531	比較政治学1	2～4	1		
	52532	比較政治学2	2～4	1		
	52019	比較政治学1E	2～4	1		
	52519	比較政治学2E	2～4	1		
	51010	世界地誌A	2～4	2		
	51011	世界地誌B	2～4	2		
	52020	国際社会論特論1	2～4	1		
	52520	国際社会論特論2	2～4	1		
	52241	現代中国論A1	2～4	1		
	52741	現代中国論A2	2～4	1		
	52242	現代中国論B1	2～4	1		
	52742	現代中国論B2	2～4	1		
	52243	現代中国論1E	2～4	1		
	52743	現代中国論2E	2～4	1		
	52021	地球環境論1E	2～4	1		
	52521	地球環境論2E	2～4	1		
	52529	国際法概論A	2～4	2		
	52530	国際法概論B	2～4	2		
	52026	国際政治史(東洋)1E	2～4	1		
	52526	国際政治史(東洋)2E	2～4	1		
52338	国際政治史(西洋)1E	2～4	1			
52838	国際政治史(西洋)2E	2～4	1			
日本・ 日本語教育 コース 専門科目	52101	日本語の文字・表記1	2～4	1		24単位必修
	52601	日本語の文字・表記2	2～4	1		
	52130	日本語の語彙・意味1	2～4	1		
	52630	日本語の語彙・意味2	2～4	1		
	52641	日本語史1	2～4	1		
	52642	日本語史2	2～4	1		
	52105	日本語文法A1	2～4	1		
	52605	日本語文法A2	2～4	1		
	52106	日本語文法B1	3～4	1		
	52606	日本語文法B2	3～4	1		
	52107	日本語教科書研究1	2～4	1		
	52607	日本語教科書研究2	2～4	1		
	52108	日本語教授法A1	2～4	1		
	52608	日本語教授法A2	2～4	1		
	52134	日本語教授法B	3～4	1		
	52634	日本語教授法演習(教育実習)	3～4	1		
	52110	日本語教育とコンピュータ1	3～4	1		
	52610	日本語教育とコンピュータ2	3～4	1		
	52113	第二言語習得論1	3～4	1		
	52613	第二言語習得論2	3～4	1		
	52117	日本語教育史1	3～4	1		
	52617	日本語教育史2	3～4	1		
	51115	日本語教育実習A	3～4	1		
	51116	日本語教育実習B	4	1		
52643	日本語音声学1	2～4	1			
52644	日本語音声学2	2～4	1			

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)
				選択 必修	必修	
日本・日本語教育 コース専門科目	52645	言語学概論A	2～4	1		24単位必修
	52646	言語学概論B	2～4	1		
	52647	言語学概論C	2～4	1		
	52648	言語学概論D	2～4	1		
	52649	対照言語学1	3～4	1		
	52650	対照言語学2	3～4	1		
	52651	認知言語学1	3～4	1		
	52652	認知言語学2	3～4	1		
	52655	発達と学習の心理A	2～4	1		
	52656	発達と学習の心理B	2～4	1		
	52124	社会言語学1	3～4	1		
	52624	社会言語学2	3～4	1		
	52653	日本研究特論1E	2～4	1		
	52654	日本研究特論2E	2～4	1		
	52132	日本思想史1	2～4	1		
	52632	日本思想史2	2～4	1		
	52133	日本史特論1	2～4	1		
	52633	日本史特論2	2～4	1		
51138	日本語教育評価法	3～4	2			
51134	海外日本語教育実習	4	2			
アジア コース専門科目	52201	東アジア史概説A1	2～4	1		24単位必修（言語 コミュニケーション 科目を8単位まで 含めることがで きる。）
	52701	東アジア史概説A2	2～4	1		
	52202	東アジア史概説B1	2～4	1		
	52702	東アジア史概説B2	2～4	1		
	52241	現代中国論A1	2～4	1		
	52741	現代中国論A2	2～4	1		
	52242	現代中国論B1	2～4	1		
	52742	現代中国論B2	2～4	1		
	52243	現代中国論1E	2～4	1		
	52743	現代中国論2E	2～4	1		
	52206	アジア経済史A1	2～4	1		
	52706	アジア経済史A2	2～4	1		
	52207	アジア経済史B1	2～4	1		
	52707	アジア経済史B2	2～4	1		
	52210	東アジア国際交流史1	2～4	1		
	52710	東アジア国際交流史2	2～4	1		
	52211	東南アジア研究	2～4	1		
	52212	南アジア文化論	3～4	1		
	52213	仏教文化論	2～4	1		
	52216	現代中国文化論1	3～4	1		
	52716	現代中国文化論2	3～4	1		
	52217	韓国・北朝鮮研究1	2～4	1		
	52717	韓国・北朝鮮研究2	2～4	1		
	52219	アジアのマイノリティと人権1	2～4	1		
	52719	アジアのマイノリティと人権2	2～4	1		
	52244	中国の文化と社会1E	2～4	1		
	52744	中国の文化と社会2E	2～4	1		
	52220	アジア研究特論A1	2～4	1		
	52720	アジア研究特論A2	2～4	1		
	52221	アジア研究特論B1	2～4	1		
	52721	アジア研究特論B2	2～4	1		
	52245	東アジア社会と教育A1	2～4	1		
52745	東アジア社会と教育A2	2～4	1			
52246	東アジア社会と教育B1	2～4	1			
52746	東アジア社会と教育B2	2～4	1			
36318	地理学概論A	1～4	2			

区分	科目番号	科目名		学年	単位数		備考 (修得要件等)
					選択 必修	必修	
アジアコース 専門科目	52748	言語コミュニケーション	中国語コミュニケーション科目	中国語コミュニケーション初級1	2～4	1	24単位必修（言語コミュニケーション科目を8単位まで含めることができる。）
	52749			中国語コミュニケーション初級2	2～4	1	
	52750			中国語コミュニケーション初級3	2～4	1	
	52751			中国語コミュニケーション初級4	2～4	1	
	52752			中国語コミュニケーション初級5	2～4	1	
	52753			中国語コミュニケーション初級6	2～4	1	
	52754			中国語コミュニケーション初級7	2～4	1	
	52755			中国語コミュニケーション初級8	2～4	1	
	52240			ビジネス中国語1	2～4	1	
	52740			ビジネス中国語2	2～4	1	
	52226			中国語表現法A1	3～4	1	
	52726			中国語表現法A2	3～4	1	
	52227			中国語表現法B1	3～4	1	
	52727			中国語表現法B2	3～4	1	
	52228			現代中国時事文A1	3～4	1	
	52728			現代中国時事文A2	3～4	1	
	52229	現代中国時事文B1	3～4	1			
	52729	現代中国時事文B2	3～4	1			
	52756	言語コミュニケーション	朝鮮語コミュニケーション科目	朝鮮語コミュニケーション初級1	2～4	1	
	52757			朝鮮語コミュニケーション初級2	2～4	1	
	52758			朝鮮語コミュニケーション初級3	2～4	1	
	52759			朝鮮語コミュニケーション初級4	2～4	1	
	52760			朝鮮語コミュニケーション初級5	2～4	1	
	52761			朝鮮語コミュニケーション初級6	2～4	1	
	52762			朝鮮語コミュニケーション初級7	2～4	1	
	52763			朝鮮語コミュニケーション初級8	2～4	1	
	52764			朝鮮語コミュニケーション中級1	3～4	1	
	52765			朝鮮語コミュニケーション中級2	3～4	1	
52766	朝鮮語コミュニケーション中級3			3～4	1		
52767	朝鮮語コミュニケーション中級4			3～4	1		
米英コース 専門科目	52334	米英研究A1		2～4	1	24単位必修（言語コミュニケーション科目（日本語を母語としない学生は、留学生センターが提供する日本語科目でもよい。）を8単位まで含めることができる。）	
	52834	米英研究A2		2～4	1		
	52335	米英研究B1		2～4	1		
	52835	米英研究B2		2～4	1		
	52345	アメリカ地域文化論1E		2～4	1		
	52845	アメリカ地域文化論2E		2～4	1		
	52356	米英文化関係論1E		2～4	1		
	52856	米英文化関係論2E		2～4	1		
	52347	イギリス地域文化論1E		2～4	1		
	52847	イギリス地域文化論2E		2～4	1		
	51362	英語学概説1		2～4	1		
	51363	英語学概説2		2～4	1		
	51364	英語学概説1E		2～4	1		
	51365	英語学概説2E		2～4	1		
	52350	米英メディア文化論1E		3～4	1		
	52850	米英メディア文化論2E		3～4	1		
	52337	米英政治・外交論1E		2～4	1		
	52837	米英政治・外交論2E		2～4	1		
	52316	アメリカ経済論1E		3～4	1		
	52816	アメリカ経済論2E		3～4	1		
	51366	北米文化論1		3～4	1		
	51367	北米文化論2		3～4	1		
	52339	米英政治・外交論1		2～4	1		
	52839	米英政治・外交論2		2～4	1		
	52333	英文法教授法		2～4	1		
	52338	国際政治史(西洋)1E		2～4	1		
	52838	国際政治史(西洋)2E		2～4	1		
	52363	米英研究特論1		2～4	1		
	52364	米英研究特論2		2～4	1		

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)
				選択 必修	必修	
米英 コース 専門 科目	52319	アカデミック・ライティングA1	2～4	1		24単位必修（言語 コミュニケーション 科目（日本語を 母語としない学生 は、留学生セン ターが提供する日 本語科目でもよ い。）を8単位ま で含めることがで きる。）
	52819	アカデミック・ライティングA2	2～4	1		
	52320	アカデミック・ライティングB1	2～4	1		
	52820	アカデミック・ライティングB2	2～4	1		
	52321	アカデミック・ライティングC1	2～4	1		
	52821	アカデミック・ライティングC2	2～4	1		
	52322	アカデミック・ライティングD1	2～4	1		
	52822	アカデミック・ライティングD2	2～4	1		
	52323	英語グローバルトピックA1	2～4	1		
	52823	英語グローバルトピックA2	2～4	1		
	52324	英語グローバルトピックB1	2～4	1		
	52824	英語グローバルトピックB2	2～4	1		
	52325	英語グローバルトピックC1	2～4	1		
	52825	英語グローバルトピックC2	2～4	1		
	52326	英語グローバルトピックD1	2～4	1		
	52826	英語グローバルトピックD2	2～4	1		
	52327	国際英語コミュニケーションA1	3～4	1		
	52827	国際英語コミュニケーションA2	3～4	1		
	52328	国際英語コミュニケーションB1	3～4	1		
	52828	国際英語コミュニケーションB2	3～4	1		
	52329	国際英語コミュニケーションC1	3～4	1		
	52829	国際英語コミュニケーションC2	3～4	1		
	52330	国際英語コミュニケーションD1	3～4	1		
	52830	国際英語コミュニケーションD2	3～4	1		
52359	英語圏文化論1E	2～4	1			
52859	英語圏文化論2E	2～4	1			
52357	Business Communication	2～4	1			
52358	Management Communication	2～4	1			
ヨー ロッパ コース 専門 科目	53036	西洋近・現代史概説	2～4	2		言語コミュニケー ション科目（8単 位）を含め24単位 必修
	52489	現代ヨーロッパ社会論	2～4	2		
	52405	ヨーロッパの宗教1	2～4	1		
	52905	ヨーロッパの宗教2	2～4	1		
	52410	美術史1E	2～4	1		
	52910	美術史2E	2～4	1		
	51412	ヨーロッパ社会言語学	2～4	2		
	51477	ドイツ文学史A1	2～4	1		
	51478	ドイツ文学史A2	2～4	1		
	51479	ドイツ文学史B1	2～4	1		
	51480	ドイツ文学史B2	2～4	1		
	51481	フランス文学史A1	2～4	1		
	51482	フランス文学史A2	2～4	1		
	51483	フランス文学史B1	2～4	1		
	51484	フランス文学史B2	2～4	1		
	52445	ヨーロッパ生活論1E	2～4	1		
	52945	ヨーロッパ生活論2E	2～4	1		
	52446	ヨーロッパ研究特論1	2～4	1		
	52946	ヨーロッパ研究特論2	2～4	1		
	52447	ヨーロッパ研究特論1E	2～4	1		
	52947	ヨーロッパ研究特論2E	2～4	1		
	52448	ヨーロッパ研究特論3E	2～4	1		
	52948	ヨーロッパ研究特論4E	2～4	1		
	53037	ヨーロッパ歴史特論A	2～4	2		
53038	ヨーロッパ歴史特論B	3～4	2			
52470	ヨーロッパ文化特論A1	2～4	1			
52970	ヨーロッパ文化特論A2	2～4	1			
52471	ヨーロッパ文化特論B1	3～4	1			

区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考 (修得要件等)		
				選択 必修	必修			
ヨーロッパ コース 専門科目	52971	ヨーロッパ文化特論B2	3~4	1		言語コミュニケーション科目(8単位)を含め24単位必修		
	52472	ヨーロッパ社会特論A1	2~4	1				
	52972	ヨーロッパ社会特論A2	2~4	1				
	52473	ヨーロッパ社会特論B1	3~4	1				
	52973	ヨーロッパ社会特論B2	3~4	1				
	52479	ヨーロッパ・アフリカ概説1	2~4	1				
	52480	ヨーロッパ・アフリカ概説2	2~4	1				
	52481	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	2~4	1				
	52482	ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	2~4	1				
	52483	ヨーロッパ・アフリカ史演習A	2~4	1				
	52484	ヨーロッパ・アフリカ史演習B	2~4	1				
	52485	ヨーロッパ・アフリカ史演習C	2~4	1				
	52486	ヨーロッパ・アフリカ史演習D	2~4	1				
	52487	ヨーロッパ・アフリカ史演習E	2~4	1				
	52488	ヨーロッパ・アフリカ史演習F	2~4	1				
	52423	ドイツ語 コミュニケーション 科目	ドイツ語読解基礎1	2~4	1			
	52923		ドイツ語読解基礎2	2~4	1			
	52979		ドイツ語コミュニケーション初級1	2~4	1			
	52980		ドイツ語コミュニケーション初級2	2~4	1			
	52981		ドイツ語コミュニケーション初級3	2~4	1			
	52982		ドイツ語コミュニケーション初級4	2~4	1			
	52983		ドイツ語コミュニケーション初級5	2~4	1			
	52984		ドイツ語コミュニケーション初級6	2~4	1			
	52985		ドイツ語コミュニケーション中級1	3~4	1			
	52986		ドイツ語コミュニケーション中級2	3~4	1			
	52987		ドイツ語コミュニケーション中級3	3~4	1			
	52988		ドイツ語コミュニケーション中級4	3~4	1			
	52989		ドイツ語コミュニケーション中級5	3~4	1			
	52990		ドイツ語コミュニケーション中級6	3~4	1			
	52430		ドイツ語表現法1	3~4	1			
	52930		ドイツ語表現法2	3~4	1			
	52991		フランス語 コミュニケーション 科目	フランス語コミュニケーション初級1	2~4		1	
	52992			フランス語コミュニケーション初級2	2~4		1	
	52993			フランス語コミュニケーション初級3	2~4		1	
	52994			フランス語コミュニケーション初級4	2~4		1	
	52995	フランス語コミュニケーション初級5		2~4	1			
	52996	フランス語コミュニケーション初級6		2~4	1			
	52997	フランス語コミュニケーション初級7		2~4	1			
	52998	フランス語コミュニケーション初級8		2~4	1			
	52999	フランス語コミュニケーション中級1	3~4	1				
	53000	フランス語コミュニケーション中級2	3~4	1				
	53001	フランス語コミュニケーション中級3	3~4	1				
	53002	フランス語コミュニケーション中級4	3~4	1				
	53003	フランス語コミュニケーション中級5	3~4	1				
	53004	フランス語コミュニケーション中級6	3~4	1				
	53005	フランス語コミュニケーション中級7	3~4	1				
	53006	フランス語コミュニケーション中級8	3~4	1				
	53007	スペイン語 コミュニケーション 科目	スペイン語コミュニケーション初級1	2~4	1			
	53008		スペイン語コミュニケーション初級2	2~4	1			
	53009		スペイン語コミュニケーション初級3	2~4	1			
	53010		スペイン語コミュニケーション初級4	2~4	1			
	53011		スペイン語コミュニケーション初級5	2~4	1			
	53012		スペイン語コミュニケーション初級6	2~4	1			
53013	スペイン語コミュニケーション初級7		2~4	1				
53014	スペイン語コミュニケーション初級8		2~4	1				
53015	スペイン語コミュニケーション中級1		3~4	1				
53016	スペイン語コミュニケーション中級2		3~4	1				
53017	スペイン語コミュニケーション中級3		3~4	1				
53018	スペイン語コミュニケーション中級4		3~4	1				
53019	スペイン語コミュニケーション中級5		3~4	1				
53020	スペイン語コミュニケーション中級6		3~4	1				
53021	スペイン語コミュニケーション中級7		3~4	1				
53023	スペイン語コミュニケーション中級8		3~4	1				

区分	科目番号	科目名		学年	単位数		備考 (修得要件等)
					選択 必修	必修	
ヨーロッパ コース専門科目	53024	言語 コミュニ ケー ション 科目	ロシア 語 コミュニ ケー ション 科目	ロシア語コミュニケーション初級1	2~4	1	言語コミュニ ケーション科目(8単 位)を含め24単位 必修
	53025			ロシア語コミュニケーション初級2	2~4	1	
	53026			ロシア語コミュニケーション初級3	2~4	1	
	53027			ロシア語コミュニケーション初級4	2~4	1	
	53028			ロシア語コミュニケーション初級5	2~4	1	
	53029			ロシア語コミュニケーション初級6	2~4	1	
	53030			ロシア語コミュニケーション初級7	2~4	1	
	53031			ロシア語コミュニケーション初級8	2~4	1	
	53032			ロシア語コミュニケーション中級1	3~4	1	
	53033			ロシア語コミュニケーション中級2	3~4	1	
	53034			ロシア語コミュニケーション中級3	3~4	1	
	53035			ロシア語コミュニケーション中級4	3~4	1	
	学類共 通専門科目			36001	インターンシップ		
36002		卒業論文		4		6	
36108		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	1		
36101		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	2		
36102		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	3		
36103		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	4		
36104		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	5		
36105		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	6		
36106		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	7		
36107		異文化体験実習Ⅰ(海外)		1~4	8		
36201		異文化体験実習Ⅱ(海外)		1~4	2		
36323		日本史要説A		2~4	1		
36324		日本史要説B		2~4	1		
36325		東洋史要説A		2~4	1		
36326		東洋史要説B		2~4	1		
36327		政治学A		1~4	1		
36328		政治学B		1~4	1		
36304		社会学		2~4	2		
36309	地域経営論Ⅰ		2~4	1			
36310	地域経営論Ⅱ		2~4	1			
36311	地域文化論Ⅰ		2~4	1			
36312	地域文化論Ⅱ		2~4	1			

区分	科目 番号	科目名	学年	単位数		備 考 (修得要件等)
				選択 必修	必修	
学類 共通 専門 科目	36313	コミュニティ・デザイン論Ⅰ	2～4	1		
	36314	コミュニティ・デザイン論Ⅱ	2～4	1		
	36329	漢文学概説Ⅰ	2～4	1		
	36330	漢文学概説2	2～4	1		
	36331	漢文学史A1	2～4	1		
	36332	漢文学史A2	2～4	1		
	36317	書写書道基礎	3～4	2		
	52248	地理学概論B	2～4	2		
	36321	哲学概論A	1～4	2		
	36322	哲学概論B	1～4	2		
	36333	英米言語文化概説A	2～4	1		
	36334	英米言語文化概説B	2～4	1		
	36501	外国語コミュニケーション	1～4	1		
	36502	外国語コミュニケーション	1～4	2		
	36503	外国語コミュニケーション	1～4	3		
	36504	外国語コミュニケーション	1～4	4		
	36505	外国語コミュニケーション	1～4	5		
	36506	外国語コミュニケーション	1～4	6		
	36507	外国語コミュニケーション	1～4	7		
	36508	外国語コミュニケーション	1～4	8		
	36509	外国語コミュニケーション	1～4	9		
	36510	外国語コミュニケーション	1～4	10		
	36511	外国語コミュニケーション	1～4	11		
	36512	外国語コミュニケーション	1～4	12		
	36601	国際学特別研究	1～4	1		
	36602	国際学特別研究	1～4	2		
	36603	国際学特別研究	1～4	3		
	36604	国際学特別研究	1～4	4		
	36605	国際学特別研究	1～4	5		
	36606	国際学特別研究	1～4	6		
	36607	国際学特別研究	1～4	7		
	36608	国際学特別研究	1～4	8		
	36609	国際学特別研究	1～4	9		
	36610	国際学特別研究	1～4	10		
36611	国際学特別研究	1～4	11			
36612	国際学特別研究	1～4	12			
36613	研究演習A1	3	1		4単位必修	
36614	研究演習A2	3	1			
36615	研究演習A3	3	1			
36616	研究演習A4	3	1			
36617	研究演習B1	4	1			
36618	研究演習B2	4	1			
36619	研究演習B3	4	1			
36620	研究演習B4	4	1			

3. 履修コースについて

1年次の間は、共通教育科目や1年次用に開講される専門教育科目を履修しますが、2年次からはそれぞれの履修コースに所属して、各コースの専門教育科目を中心に学ぶことになります。国際学類には以下の5つのコースがあります。

履修コース別学生受け入れ表

区 分		標準受入数	受け入れ可能数
国 際 学 類	国際社会コース	33	45
	日本・日本語教育コース	13	18
	アジアコース	13	18
	米英コース	13	18
	ヨーロッパコース	13	18
	計	85	117

上の表の中で「受け入れ可能数」としてあるのは、そのコースが受け入れることの出来る1学年の学生数です。これは、そのコースの専門教育を円滑に行うために設定されたものです。米英コースを除き、この「受け入れ可能数」を超えない限り、希望通りの履修コースに進むことができますが、もし、希望者が「受け入れ可能数」を超えた場合には、GPA値(P.54～)及び面接による選抜を行い、結果によっては、第2希望や第3希望のコースに回ってもらうことになります。米英コースへの分属希望者(第1希望から第3希望)は、志望時にTOEFLまたはIELTSのスコアを提出することが必須であり、カリキュラム上、TOEFL ITP 460点以上レベルの英語力が求められます。

コース分属の手続きは次のようにして行われます。

コース分属志望届は1年次の提出期間内に提出し、第1希望から第3希望までのコースを申し出ます。第1希望の者が受け入れ可能人数を上回るコースがあった場合には、各コースで速やかに選抜の手続きが行われます。第1希望のコースに行けなかった学生は、第2希望のコースの受け入れ人数に余裕があれば、自動的に第2希望のコースに分属されます。第2希望のコースが第1希望の段階ですでに満員であった場合、または第2希望の者が受け入れ可能人数を上回り、選抜に漏れた場合は、第3希望のコースに回ることになります。第3希望でも同様の手続きを行い、第3希望でもコースが決定できなかった場合は、教員との面接で残る2コースのいずれかを選択してもらうことになります。希望するコースへの所属がかなわなかった場合も、4. で示す副専攻制度(P.36～)を利用して、その専門領域の学習をすることができます。

※英語による履修プログラムについて

本学の推進する「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」という方針に基づき、国際学類では英語のみで修了できる英語による履修プログラムを国際社会コース及び米英コースに設置しています。

このプログラムへの参加は、2年次開始までに所定の手続きを経て決定します。詳細は別に掲示等でお知らせします。

国際社会コース科目表

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域G S 科目	1～2	1～	2単位
	学域G S 言語科目 I	2	1	1単位
	学域G S 言語科目 II	2	1	1単位
	卒業論文	4	6	6単位
	小 計			10単位
専門基礎選択	学類共通科目（国際社会系） （「国際学入門」「国際学入門E」含む）	1～4		10単位
	学類共通科目（日本文化系） （「日本文化」「日本文化E」含む）	1～4		10単位
	小 計			20単位
専門選択必修科目	国際金融論	3～4	2	他コースの英語を除いた言語コミュニケーション科目8単位を含め24単位必修（日本語を母語としない学生の専門科目の単位必修条件は、留学生センターが提供する日本語科目ないしは他コースの専門科目（8単位）を含め24単位必修とする。） ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	国際金融論史	3～4	2	
	比較文化論A1	2～4	1	
	比較文化論A2	2～4	1	
	比較文化論B1	2～4	1	
	比較文化論B2	2～4	1	
	比較文化論1E	3～4	1	
	比較文化論2E	3～4	1	
	多文化主義論1E	3～4	1	
	多文化主義論2E	3～4	1	
	比較政治学1	2～4	1	
	比較政治学2	2～4	1	
	比較政治学1E	2～4	1	
	比較政治学2E	2～4	1	
	世界地誌A	2～4	2	
	世界地誌B	2～4	2	
	国際社会論特論1	2～4	1	
	国際社会論特論2	2～4	1	
	現代中国論A1	2～4	1	
	現代中国論A2	2～4	1	
	現代中国論B1	2～4	1	
	現代中国論B2	2～4	1	
	現代中国論1E	2～4	1	
	現代中国論2E	2～4	1	
	地球環境論1E	2～4	1	
	地球環境論2E	2～4	1	
	国際法概論A	2～4	2	
	国際法概論B	2～4	2	
	国際政治史（東洋）1E	2～4	1	
	国際政治史（東洋）2E	2～4	1	
国際政治史（西洋）1E	2～4	1		
国際政治史（西洋）2E	2～4	1		
フランス語コミュニケーション科目	2～4	1～8		
ドイツ語コミュニケーション科目	2～4	1～8		
スペイン語コミュニケーション科目	2～4	1～8		
中国語コミュニケーション科目	2～4	1～8		
朝鮮語コミュニケーション科目	2～4	1～8		
ロシア語コミュニケーション科目	2～4	1～8		

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修 専修 科目 選択	研究演習A1	3	1	4単位必修
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
	研究演習A4	3	1	
	研究演習B1	4	1	
	研究演習B2	4	1	
	研究演習B3	4	1	
	研究演習B4	4	1	
小 計			28単位以上	
選 択 科 目	インターンシップ	3～4	2	28単位
	異文化体験実習	1～4	1～	
	日本史要説A	2～4	1	
	日本史要説B	2～4	1	
	東洋史要説A	2～4	1	
	東洋史要説B	2～4	1	
	政治学A	1～4	1	
	政治学B	1～4	1	
	社会学	2～4	2	
	地域経営論 I	2～4	1	
	地域経営論 II	2～4	1	
	地域文化論 I	2～4	1	
	地域文化論 II	2～4	1	
	コミュニティ・デザイン論 I	2～4	1	
	コミュニティ・デザイン論 II	2～4	1	
	漢文学概説1	2～4	1	
	漢文学概説2	2～4	1	
	漢文学史A1	2～4	1	
	漢文学史A2	2～4	1	
	書写書道基礎	3～4	2	
地理学概論B	2～4	2		
哲学概論A	1～4	2		
哲学概論B	1～4	2		
英米言語文化概説A	2～4	1		
英米言語文化概説B	2～4	1		
外国語コミュニケーション	1～4	1～		
国際学特別研究	1～4	1～		
その他の科目	1～4			
合 計			86単位	
共通教育科目			38単位	
総 計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、自コースの専門基礎選択必修科目及び専門選択必修科目の必修単位を越えて履修した科目、他コースの専門科目および他学類の専門科目を言います。

注2) 専門基礎選択必修科目、専門選択必修科目及び他コースの専門科目中の英語による授業（Eを付した科目）を4単位以上修得すること。

注3) 学類共通科目の国際社会系科目及び日本文化系科目の修得すべき単位数を超えた単位は、専門選択必修科目にすることができます。

〈教育方針〉

国際社会コースは、グローバル化する現代の社会をマクロ的な視点からの確に理解し、その中で活躍することのできる人材を育成するために、英語等のコミュニケーション能力を全学年にわたって向上させながら、国際政治・経済・歴史・文化等の諸科目をより深く、かつ多面的に学ぶことのできるカリキュラムを提供します。それによって、国際的視野を広げ、国際コミュニケーション能力を必要とする多くの職業分野で活躍することのできる人材を養成していきます。

〈科目内容および選択科目について〉

本コースの科目表は前頁の通りです。

学生は1年次の共通教育科目及び学域GS科目、学類共通科目の履修を通して、人間社会学域及びその中の国際学類としてのもっとも基礎的な素養を身に付けます。1年次の学類共通科目としては、「国際学入門」「国際学入門E」と「日本文化」「日本文化E」等があります。

主に2年次の学域GS言語科目及び学類共通科目の履修を通して、国際学類及びその中の国際社会コースとしての素養を積み、国際社会の理解を広げていきます。学類共通科目とは、国際社会系諸科目（国際政治史1・2、国際関係論1・2、国際関係論E、国際機構論、国際機構論1・2E、国際貿易論1・2、国際貿易論1・2E、国際経済学1・2、国際経済学1・2E、国際開発論1・2、国際開発論1・2E、国際協力論1・2、国際政治経済論、国際公共政策論、国際コミュニケーション論、異文化理解1・2、国際学特論Eなど）及び日本文化系諸科目です。

主に3～4年次には国際社会コースの専門科目（比較政治学1・2E、国際金融論、国際法概論、比較文化論A1・A2・B1・B2、比較文化論1・2E、多文化主義論1・2E、世界地誌A・B、地球環境論1・2E、国際政治史（東洋）1・2E、国際政治史（西洋）1・2E、現代中国論A1・A2・B1・B2、現代中国論1・2Eなど）を深く、かつ集中的に学ぶことによって国際社会の自主的な探求心を養い、また英語以外の言語コミュニケーション科目の履修を通じて、英語以外の語学力も向上させます。そして、研究演習と卒業論文で、国際社会コースの学修を完結することになります。

卒業に必要な単位の一部は他コースや他学類の科目によって修得可能です。また、副専攻としてまとめてとることもできます。

国際政治分野：日本政治・外交論1E・2E、韓国・北朝鮮研究1・2、米英政治・外交論1E・2E、西洋近・現代史概説1・2等

国際経済分野：日本経済論、アジア経済史A1・A2・B1・B2、アメリカ経済論1・2、アジア経済論（経済学類）、世界経済論（経済学類）等

なお、本コースにおいては、学類共通科目の国際社会系科目及び日本文化系科目で修得すべき単位数を超えた単位は、コース専門科目の選択必修科目とすることができます。

履修モデル（卒業要件：124単位）

共通教育科目（38単位以上）

区 分		修得すべき単位数及び条件		
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	30単位以上
		初学者ゼミⅠ	1単位	
		データサイエンス基礎	1単位	
		地域概論	1単位	
	GS科目（5群）	各群から3単位 計15単位	※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修	
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位、EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※	3単位以上		
基礎科目	——			
初習言語科目	1言語8単位以上			

専門教育科目(86単位以上) ※実際の開講期はWebシラバス, 時間割等で確認してください。

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E 異文化理解1 学域GS科目	1 1 1	日本文化E 異文化理解2 学域GS科目	1 1 1
	小計	1	小計	1	小計	3	小計	3
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		3		3

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	学域GS言語科目Ⅰ	1	学域GS言語科目Ⅱ	1	国際貿易論1E	1	国際貿易論2E	1
	国際貿易論1	1	国際貿易論2	1	国際協力論1	1	国際協力論2	1
	国際政治史1	1	国際政治史2	1	多文化主義論1E	1	多文化主義論2E	1
	フランス語コミュⅠA1	1	フランス語コミュⅠA2	1	比較文化論B1	1	比較文化論B2	1
	フランス語コミュⅡA1	1	フランス語コミュⅡA1	1	日本史概説1	1	日本史概説2	1
	国際関係論1	1	国際関係論2	1	フランス語コミュⅠB1	1	フランス語コミュⅠB2	1
	国際政治史(西洋)1E	1	国際政治史(西洋)2E	1	フランス語コミュⅡB1	1	フランス語コミュⅡB2	1
	国際政治経済論	2	国際公共政策論	2	日本政治・外交論1E	1	日本政治・外交論2E	1
	日本文化体験A			2	日本文化体験B			2
	小計	9	小計	11	小計	8	小計	10
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		9		11		8		10

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際経済学1	1	国際機構論	2				
	現代中国論A1	1	国際経済学2	1				
	米英政治・外交論1E	1	現代中国論A2	1				
	地球環境論1E	1	米英政治・外交論2E	1				
	国際開発論1	1	地球環境論2E	1				
	北米文化論1	1	国際開発論2	1				
	小計	6	小計	8	小計	0	小計	0
実演習	研究演習A1	1	研究演習A2	1				
	小計	1	小計	1	小計	0	小計	0
計		6		10		0		0

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義					比較政治学1E	1	比較政治学2E	1
					現代中国論B1	1	現代中国論B2	1
					国際開発論1E	1	国際開発論2E	1
					国際経済学1E	1	国際経済学2E	1
					国際金融論	2	国際金融史	2
小計	0	小計	0	小計	6	小計	6	
実演習					研究演習B3	1	研究演習B4	1
					卒業論文			6
小計	0	小計	0	小計	1	小計	7	
計		0		0		7		13

3年後半～4年前半の海外派遣留学で、「国際学特別研究」8単位修得

日本・日本語教育コース科目表

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1～2	1～	2単位
	学域GS言語科目Ⅰ	2	1	1単位
	学域GS言語科目Ⅱ	2	1	1単位
	卒業論文	4	6	6単位
	小 計			10単位
専門基礎選択科目	学類共通科目 (国際社会系) (「国際学入門」「国際学入門E」含む)	1～4		10単位
	学類共通科目 (日本文化系) (「日本文化」「日本文化E」含む)	1～4		10単位
	小 計			20単位
専門選択必修科目	日本語の文字・表記1	2～4	1	24単位必修 ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	日本語の文字・表記2	2～4	1	
	日本語の語彙・意味1	2～4	1	
	日本語の語彙・意味2	2～4	1	
	日本語史1	2～4	1	
	日本語史2	2～4	1	
	日本語文法A1	2～4	1	
	日本語文法A2	2～4	1	
	日本語文法B1	3～4	1	
	日本語文法B2	3～4	1	
	日本語教科書研究1	2～4	1	
	日本語教科書研究2	2～4	1	
	日本語教授法A1	2～4	1	
	日本語教授法A2	2～4	1	
	日本語教授法B	3～4	1	
	日本語教授法演習(教育実習)	3～4	1	
	日本語教育とコンピュータ1	3～4	1	
	日本語教育とコンピュータ2	3～4	1	
	第二言語習得論1	3～4	1	
	第二言語習得論2	3～4	1	
	日本語教育実習A	3～4	1	
	日本語教育実習B	4	1	
	日本語教育史1	3～4	1	
	日本語教育史2	3～4	1	
	日本語音声学1	2～4	1	
	日本語音声学2	2～4	1	
	言語学概論A	2～4	1	
	言語学概論B	2～4	1	
	言語学概論C	2～4	1	
	言語学概論D	2～4	1	
	対照言語学1	3～4	1	
	対照言語学2	3～4	1	
	認知言語学1	3～4	1	
	認知言語学2	3～4	1	
	発達と学習の心理A	2～4	1	
	発達と学習の心理B	2～4	1	
	社会言語学1	3～4	1	
	社会言語学2	3～4	1	
	日本研究特論1E	2～4	1	
	日本研究特論2E	2～4	1	
	日本思想史1	2～4	1	
	日本思想史2	2～4	1	

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門選択必修科目	日本史特論1	2～4	1	4単位必修
	日本史特論2	2～4	1	
	日本語教育評価法	3～4	2	
	海外日本語教育実習	4	2	
	研究演習A1	3	1	
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
	研究演習A4	3	1	
	研究演習B1	4	1	
	研究演習B2	4	1	
研究演習B3	4	1	28単位以上	
研究演習B4	4	1		
小 計				
専門選択科目	インターンシップ	3～4	2	28単位
	異文化体験実習	1～4	1～	
	日本史要説A	2～4	1	
	日本史要説B	2～4	1	
	東洋史要説A	2～4	1	
	東洋史要説B	2～4	1	
	政治学A	1～4	1	
	政治学B	1～4	1	
	社会学	2～4	2	
	地域経営論Ⅰ	2～4	1	
	地域経営論Ⅱ	2～4	1	
	地域文化論Ⅰ	2～4	1	
	地域文化論Ⅱ	2～4	1	
	コミュニティ・デザイン論Ⅰ	2～4	1	
	コミュニティ・デザイン論Ⅱ	2～4	1	
	漢文学概説1	2～4	1	
	漢文学概説2	2～4	1	
	漢文学史A1	2～4	1	
	漢文学史A2	2～4	1	
	書写書道基礎	3～4	2	
	地理学概論B	2～4	2	
	哲学概論A	1～4	2	
	哲学概論B	1～4	2	
英米言語文化概説A	2～4	1		
英米言語文化概説B	2～4	1		
外国語コミュニケーション	1～4	1～		
国際学特別研究	1～4	1～		
その他の科目	1～4			
合 計				86単位
共通教育科目				38単位
総 計				124単位

注1) 「その他の科目」とは、自コースの専門基礎選択必修科目及び専門選択必修科目の必修単位を越えて履修した科目、他コースの専門科目および他学類の専門科目を言います。

注2) 専門基礎選択必修科目、専門選択必修科目及び他コースの専門科目中の英語による授業（Eを付した科目）を4単位以上修得すること。

〈教育方針〉

世界の多くの国々で日本や日本語に関心を持って学ぶ人が増えています。そのため、日本の歴史・文化・社会や日本語・日本語教育に対する深い理解と知識を持ち、英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を備えた、質の高い日本語教師の需要が高まっています。

日本・日本語教育コースは、日本語教師を中心とした国際交流分野で活躍できる人材を養成するための幅広いカリキュラムを用意しています。本格的な日本語教師資格（日本語教育主専攻）を取得できるのは、日本海地域の国立大学では本コースだけです。

〈科目内容および選択科目について〉

本コースの科目表は前頁の通りです。

1年次には共通教育科目を中心に選択必修科目の「国際学入門」「国際学入門E」、「日本文化」「日本文化E」と学域GS科目（2単位）、2年次には学域GS言語科目（2単位）や学類共通科目（国際社会系10単位、日本文化系10単位の計20単位）を主に履修し、人間社会学域および国際学類の基礎的な素養を身につけます。

3・4年次には、希望によって、高度な日本語教師に必要とされる内容を軸とした専門科目を、深くかつ集中的に学びます。特に2年後期から4年前期にかけては、「日本語教授法」「日本語教育実習」等の演習・実習科目を通して日本語教師としての実践力を養成します。4年次には希望すれば中国での海外日本語教育実習も体験できます。また、在学中に日本語教育能力検定試験に合格するための後押しもします。

また、日本文化を中心に学びたい学生は日本語教育主専攻ではなく、日本語教育副専攻の資格を取得することもできます。

日本語教育主専攻の資格を取得するためには、以下の5つの科目群ごとに必修科目を含んだ所定の単位を計50単位以上修得すれば、金沢大学人間社会学域長名で「日本語教育主専攻単位修得証明書」が発行されます。

【日本語教育主専攻資格取得のための科目群と単位数】

- ・「社会・文化・地域」科目群から10単位以上
- ・「言語と社会」科目群から8単位以上
- ・「言語と心理」科目群から4単位以上
- ・「言語と教育」科目群から14単位以上
- ・「言語」科目群から14単位以上 計50単位以上

なお、日本語教育主専攻、同副専攻資格取得のための詳しい科目表と単位数（必修・選択）については、[資格取得]に関するページ（P. 38）を参照してください。

履修モデル（卒業要件：124単位）

共通教育科目（38単位以上）

区 分		修得すべき単位数及び条件			
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
		初学者ゼミⅠ	1単位		
		データサイエンス基礎	1単位		
		地域概論	1単位		
	GS科目（5群）	各群から3単位	計15単位		※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修
	GS言語科目	TOEIC準備コース4単位、EAPコース4単位			
自由履修科目 ※	3単位以上				
基礎科目	――				
初習言語科目	1言語8単位以上				

専門教育科目(86単位以上) ※実際の開講期はWebシラバス, 時間割等で確認してください。

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E 異文化理解1 学域GS科目	1 1 1	日本文化E 異文化理解2 学域GS科目	1 1 1
	小計	1	小計	1	小計	3	小計	3
実演 習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		3		3

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	学域GS言語科目Ⅰ	1	学域GS言語科目Ⅱ	1	国際関係論1	1	国際関係論2	1
	日本民俗文化論1E	1	日本民俗文化論2E	1	国際機構論1	1	国際機構論2	1
	日本語教育学基礎1	1	日本語教育学基礎2	1	音声学1	1	音声学2	1
	日本語学概論A1	1	日本語学概論B1	1	日本語文法A1	1	日本語文法A2	1
	日本語学概論A2	1	日本語学概論B2	1	日本語の文字・表記1	1	日本語の文字・表記2	1
	日本文化体験A	2		2	日本語教科書研究1	1	日本語教科書研究2	1
	日本の文学	2		2	日本語の語彙・意味1	1	日本語の語彙・意味2	1
	言語学概論A	1	言語学概論B	1	日本史概説1	1	日本史概説2	1
	日本語史1	1	日本語史2	1			国際コミュニケーション論	2
	小計	8	小計	9	小計	8	小計	12
実演 習					日本語教授法A1 アカデミック・ライティングA1	1 1	日本語教授法A2 アカデミック・ライティングA1	1 1
	小計	0	小計	0	小計	2	小計	2
計		8		9		10		14

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際政治史1	1	国際政治史2	1	日本史特論1	1	日本史特論2	1
	日本語文法B1	1	日本語文法B2	1	日本語史B1	1	日本語史B2	1
	社会言語学1	1	社会言語学2	1	日本語教育史1	1	日本語教育史2	1
	第二言語習得論1	1	第二言語習得論2	1	日本語教育とコンピュータ1	1	日本語教育とコンピュータ2	1
	現代中国論A1	1	現代中国論A2	1	多文化主義論1E	1	多文化主義論2E	1
	東アジア国際交流史1	1	東アジア国際交流史2	1	対照言語学1	1	ヨーロッパ社会言語学	2
	現代ヨーロッパ社会論1	1	現代ヨーロッパ社会論2	1			日本語教育評価法(集中) 対照言語学2	2 1
小計	7	小計	7	小計	6	小計	10	
実演 習	日本語教授法B	1	日本語教授法演習(教育実習)	1	国際英語コミュニケーションB1	1	国際英語コミュニケーションB2	2
	研究演習A1	1	研究演習A2	1	日本語教育実習A	1		1
	国際英語コミュニケーションA1	1	国際英語コミュニケーションA2	1				
小計	3	小計	4	小計	1	小計	3	
計		10		11		7		13

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	認知言語学1	1	認知言語学2	1	日本研究特論1	1	日本研究特論2	1
	小計	1	小計	1	小計	1	小計	1
演習・ 実習	日本語教育実習B	1	研究演習B2	1	研究演習B3	1	研究演習B4	1
	研究演習B1	1	海外日本語教育実習	2	卒業論文	6		
小計	1	小計	4	小計	1	小計	7	
計		2		5		2		8

アジアコース科目表

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域G S 科目	1~2	1~	2単位
	学域G S 言語科目 I	2	1	1単位
	学域G S 言語科目 II	2	1	1単位
	卒業論文	4	6	6単位
	小 計			10単位
専門基礎選択科目	学類共通科目 (国際社会系) (「国際学入門」「国際学入門E」含む)	1~4		10単位
	学類共通科目 (日本文化系) (「日本文化」「日本文化E」含む)	1~4		10単位
小 計			20単位	
専門選択必修科目	東アジア史概説A1	2~4	1	24単位必修言語コミュニケーション科目を8単位まで含めることができる。 ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	東アジア史概説A2	2~4	1	
	東アジア史概説B1	2~4	1	
	東アジア史概説B2	2~4	1	
	現代中国論A1	2~4	1	
	現代中国論A2	2~4	1	
	現代中国論B1	2~4	1	
	現代中国論B2	2~4	1	
	現代中国論1E	2~4	1	
	現代中国論2E	2~4	1	
	アジア経済史A1	2~4	1	
	アジア経済史A2	2~4	1	
	アジア経済史B1	2~4	1	
	アジア経済史B2	2~4	1	
	東アジア社会と教育A1	2~4	1	
	東アジア社会と教育A2	2~4	1	
	東アジア社会と教育B1	2~4	1	
	東アジア社会と教育B2	2~4	1	
	東アジア国際交流1	2~4	1	
	東アジア国際交流2	2~4	1	
	東南アジア研究	2~4	1	
	南アジア文化論	3~4	1	
	仏教文化論	2~4	1	
	現代中国文化論1	3~4	1	
	現代中国文化論2	3~4	1	
	韓国・北朝鮮研究1	2~4	1	
	韓国・北朝鮮研究2	2~4	1	
	アジアのマイノリティと人権1	2~4	1	
	アジアのマイノリティと人権2	2~4	1	
	中国の文化と社会1E	2~4	1	
	中国の文化と社会2E	2~4	1	
	地理学概論B	2~4	2	
	アジア研究特論A1	2~4	1	
	アジア研究特論A2	2~4	1	
	アジア研究特論B1	2~4	1	
	アジア研究特論B2	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級1	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級2	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級3	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級4	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級5	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級6	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級7	2~4	1	
	中国語コミュニケーション初級8	2~4	1	
	中国語表現法A1	3~4	1	
中国語表現法A2	3~4	1		
中国語表現法B1	3~4	1		
中国語表現法B2	3~4	1		
現代中国時事文A1	3~4	1		
現代中国時事文A2	3~4	1		
現代中国時事文B1	3~4	1		
現代中国時事文B2	3~4	1		

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門選択必修科目	ビジネス中国語1	2~4	1	24単位必修言語コミュニケーション科目を8単位まで含めることができる。 ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	ビジネス中国語2	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級1	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級2	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級3	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級4	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級5	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級6	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級7	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション初級8	2~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション中級1	3~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション中級2	3~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション中級3	3~4	1	
	朝鮮語コミュニケーション中級4	3~4	1	
	研究演習A1	2	1	4単位必修
	研究演習A2	3	1	
研究演習A3	3	1		
研究演習A4	3	1		
研究演習B1	3	1		
研究演習B2	4	1		
研究演習B3	4	1		
研究演習B4	4	1		
小 計			28単位以上	
専門選択科目	インターンシップ	3~4	2	28単位
	異文化体験実習	1~4	1~	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学	2~4	2	
	地域経営論 I	2~4	1	
	地域経営論 II	2~4	1	
	地域文化論 I	2~4	1	
	地域文化論 II	2~4	1	
	コミュニティ・デザイン論 I	2~4	1	
	コミュニティ・デザイン論 II	2~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
地理学概論B	2~4	2		
哲学概論A	1~4	2		
哲学概論B	1~4	2		
英米言語文化概説A	2~4	1		
英米言語文化概説B	2~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~		
国際学特別研究	1~4	1~		
その他の科目	1~4			
合 計			86単位	
共通教育科目			38単位	
総 計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、自コースの専門基礎選択必修科目及び専門選択必修科目の必修単位を越えて履修した科目、他コースの専門科目および他学類の専門科目を言います。

注2) 専門基礎選択必修科目、専門選択必修科目及び他コースの専門科目中の英語による授業 (Eを付した科目) を4単位以上修得すること。

〈教育方針〉

グローバル化が進展する現代世界で、多文化・多民族社会を核とするアジアの多様性を理解してもらう事が、教育の第一目標になります。日本という国際環境は、とすれば東アジアの中の日本という位置を見失いがちです。これを克服するには、韓国・朝鮮や中国という近隣諸国との国際理解や国際交流の重要性を認識し、さらには儒教文化圏や仏教文化圏、イスラム文化圏やヒンズー文化圏という多様なアジアの認識を深め、理解する事が大切なのです。これらの教育を通して、アジアに向かい合うしっかりとした教養と知識を備えた行動する人間を育てます。

〈科目内容および選択科目について〉

本コースの科目表は前頁の通りです。

低年次には共通教育科目を中心に、選択必修科目の「国際学入門」「国際学入門E」、「日本文化」「日本文化E」、「異文化理解1,2」などの専門基礎科目を学習します。共通教育科目では、テーマ別科目である「朝鮮文化」などの科目を学び、中学高校で既習の英語力をパワーアップして、実践的な英語力を身につけます。さらには中国語や朝鮮語、ロシア語などの近隣諸国の言語科目を修得して、高年次の専門科目の修得に備えます。全般に1,2年次では、人間社会学域、国際学類の基礎的な素養を身につける事が望まれます。また、2年次か3年次の夏季休業や学期中を利用して海外での語学研修に参加すれば、これらは専門科目として認定されます。

高年次では、「アジアコース」の専門科目を中心に学習します。比較的早い時期に、「現代中国論A1, A2, B1, B2」などの幅広い内容の専門科目を学び、次第に内容が特化する「韓国・北朝鮮研究1, 2」、「アジア経済史A1, A2, B1, B2」や「東南アジア研究」などを学び、専門性を深めていきます。また、この時期に学類共通科目を学ぶと、国際社会を見る目を広め、アジア社会への認識が深められると思われれます。3,4年次には演習科目や卒業論文などにも取り組み、英語ともうひとつのアジアの言語を駆使する国際人となる能力を身につけます。

履修モデル（卒業要件：124単位）

共通教育科目（38単位以上）

区 分		修得すべき単位数及び条件			
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
		初学者ゼミⅠ	1単位		
		データサイエンス基礎	1単位		
		地域概論	1単位		
	G S 科目（5群）	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※G S 科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修		
	G S 言語科目		TOE I C 準備コース4単位, E A P コース4単位		
	自由履修科目 ※		3単位以上		
基礎科目		――			
初習言語科目		1言語8単位以上			

学域GS科目,学域GS言語科目,専門基礎科目(24単位以上) ※実際の開講期はWebシラバス, 時間割等で確認してください。

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E	1	日本文化E	1
					異文化理解1	1	異文化理解2	1
					学域GS科目	1	学域GS科目	1
	小計	1	小計	1	小計	3	小計	3
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		3		3

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際政治史1	1	国際政治史2	1	国際関係論1	1	国際関係論2	1
	国際貿易論1	1	国際貿易論2	1	日本史概説1	1	国際機構論	2
	学域GS言語科目 I	1	学域GS言語科目 II	1	国際開発論1	1	日本史概説2	1
	日本語学概論A1	1	日本語学概論A2	1	日本政治・外交論1E	1	国際開発論2	1
							日本政治・外交論2E	1
	小計	4	小計	4	小計	4	小計	6
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		4		4		4		6

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際開発論1E	1	国際開発論2E	1				
	日本の思想と宗教1	1	日本の思想と宗教1	1				
	小計	2	小計	2	小計	0	小計	0
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		2		2		0		0

専門科目（62単位以上） 韓国・朝鮮系

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	東アジア社会と教育A1	1	東アジア社会と教育A2	1	東アジア社会と教育B1	1	東アジア社会と教育B2	1
	東アジア史概説A1	1	東アジア史概説A2	1	東アジア国際交流史1	1	東アジア国際交流史2	1
					東アジア史概説B1	1	東アジア史概説B2	1
	小計	2	小計	2	小計	3	小計	3
実演習	朝鮮語コミュニケーション初級1	1	朝鮮語コミュニケーション初級2	1	朝鮮語コミュニケーション初級5	1	研究演習A1	1
	朝鮮語コミュニケーション初級3	1	朝鮮語コミュニケーション初級4	1	朝鮮語コミュニケーション初級7	1	朝鮮語コミュニケーション初級6	1
							朝鮮語コミュニケーション初級8	1
	小計	2	小計	2	小計	2	小計	3
計		4		4		5		6

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	アジア経済史A1	1	アジア経済史A2	1	アジアのマイリティと人権1	1	アジアのマイリティと人権2	1
	現代中国論A1	1	現代中国論A2	1	韓国・北朝鮮研究1	1	韓国・北朝鮮研究2	1
	仏教文化論	1			アジア経済史B1	1	アジア経済史B2	1
	南アジア文化論	1			現代中国論B1	1	現代中国論B2	1
	小計	4	小計	2	小計	4	小計	4
実演習	研究演習A2	1	研究演習A3	1	研究演習A4	1	研究演習B1	1
	朝鮮語コミュニケーション中級1	1	朝鮮語コミュニケーション中級2	1	朝鮮語コミュニケーション中級3	1	朝鮮語コミュニケーション中級4	1
	小計	2	小計	2	小計	2	小計	2
計		6		4		6		6

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
実演習	研究演習B2	1	研究演習B3	1	研究演習B4	1	卒業論文 →	6
	小計	1	小計	1	小計	1		
計		1		1		1		6

この他に他コース等の専門科目を14単位履修。

専門科目（62単位以上） 中国系

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	現代中国論A1 アジア経済史A1	1 1	現代中国論A2 アジア経済史A2	1 1	現代中国論B1 アジア経済史B1 東アジア史概説B1	1 1 1	現代中国論B2 アジア経済史B2 東アジア史概説B2	1 1 1
	小計	2	小計	2	小計	3	小計	3
	中国語コミュニケーション初級1 中国語コミュニケーション初級3	1 1	中国語コミュニケーション初級2 中国語コミュニケーション初級4	1 1	中国語コミュニケーション初級5 中国語コミュニケーション初級7	1 1	研究演習A1 中国語コミュニケーション初級6 中国語コミュニケーション初級8	1 1 1
計	小計	2	小計	2	小計	2	小計	3
計		4		4		5		6

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	アジア研究特論A1 現代中国文化論1 中国語表現法A1 中国の社会と文化1E	1 1 1 1	アジア研究特論A2 現代中国文化論2 中国語表現法A2 中国の社会と文化2E	1 1 1 1	アジア研究特論B1 ビジネス中国語1 現代中国論1E 中国語表現法B1	1 1 1 1	アジア研究特論B2 ビジネス中国語2 現代中国論2E 中国語表現法B2	1 1 1 1
	小計	4	小計	4	小計	4	小計	4
	研究演習A2 現代中国時事文A1	1 1	研究演習A3 現代中国時事文A2	1 1	研究演習A4 現代中国時事文B1	1 1	研究演習B1 現代中国時事文B2	1 1
計	小計	2	小計	2	小計	2	小計	2
計		6		6		6		6

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
実演習	研究演習B2	1	研究演習B3	1	研究演習B4 卒業論文	1		6
	小計	1	小計	1	小計	1	小計	6
計		1		1		1		6

この他に他コース等の専門科目を10単位履修。

米英コース科目表

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
必修科目	学域GS科目	1~2	1~	2単位
	学域G言語科目Ⅰ	2	1	1単位
	学域G言語科目Ⅱ	2	1	1単位
	卒業論文	4	6	6単位
	小 計			10単位
専門基礎選択	学類共通科目（国際社会系） （「国際学入門」「国際学入門E」含む）	1~4		10単位
	学類共通科目（日本文化系） （「日本文化」「日本文化E」含む）	1~4		10単位
	小 計			20単位
専門選択必修科目	米英研究A1	2~4	1	24単位必修 言語コミュニケーション科目 （日本語を母語としない学生は、 留学生センターが提供する日本語科目でもよい）を8単位まで含めることができる。 ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	米英研究A2	2~4	1	
	米英研究B1	2~4	1	
	米英研究B2	2~4	1	
	アメリカ地域文化論1E	2~4	1	
	アメリカ地域文化論2E	2~4	1	
	米英文化関係論1E	2~4	1	
	米英文化関係論2E	2~4	1	
	イギリス地域文化論1E	2~4	1	
	イギリス地域文化論2E	2~4	1	
	英語学概説1	2~4	1	
	英語学概説2	2~4	1	
	英語学概説1E	2~4	1	
	英語学概説2E	2~4	1	
	英文法教授法	2~4	1	
	国際政治史（西洋）1E	2~4	1	
	国際政治史（西洋）2E	2~4	1	
	米英メディア文化論1E	3~4	1	
	米英メディア文化論2E	3~4	1	
	米英政治・外交論1E	2~4	1	
	米英政治・外交論2E	2~4	1	
	アメリカ経済論1E	3~4	1	
	アメリカ経済論2E	3~4	1	
	北米文化論1	3~4	1	
	北米文化論2	3~4	1	
	英語圏文化論1E	2~4	1	
	英語圏文化論2E	2~4	1	
	米英政治・外交論1	2~4	1	
	米英政治・外交論2	2~4	1	
	米英研究特論1	2~4	1	
	米英研究特論2	2~4	1	
	Business Communication	2~4	1	
	Management Communication	2~4	1	
	アカデミック・ライティング A1	2~4	1	
	アカデミック・ライティング A2	2~4	1	
	アカデミック・ライティング B1	2~4	1	
	アカデミック・ライティング B2	2~4	1	
	アカデミック・ライティング C1	2~4	1	
	アカデミック・ライティング C2	2~4	1	
	アカデミック・ライティング D1	2~4	1	
	アカデミック・ライティング D2	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーA1	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーA2	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーB1	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーB2	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーC1	2~4	1	
	英語グローバルヒストリーC2	2~4	1	

授 業 科 目		学年	単位数	卒業に必要な単位数
専門選択必修科目	英語グローバルヒストリーD1	2~4	1	24単位必修 言語コミュニケーション科目 （日本語を母語としない学生は、 留学生センターが提供する日本語科目でもよい）を8単位まで含めることができる。 ※4単位を超えて修得した研究演習の単位を含めることができる。
	英語グローバルヒストリーD2	2~4	1	
	国際英語コミュニケーションA1	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションA2	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションB1	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションB2	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションC1	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションC2	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションD1	3~4	1	
	国際英語コミュニケーションD2	3~4	1	
	研究演習A1	3	1	
	研究演習A2	3	1	
	研究演習A3	3	1	
	研究演習A4	3	1	
研究演習B1	4	1		
研究演習B2	4	1		
研究演習B3	4	1		
研究演習B4	4	1		
小 計			28単位	
専門選択科目	インターンシップ	3~4	2	28単位
	異文化体験実習	1~4	1~	
	日本史要説A	2~4	1	
	日本史要説B	2~4	1	
	東洋史要説A	2~4	1	
	東洋史要説B	2~4	1	
	政治学A	1~4	1	
	政治学B	1~4	1	
	社会学	2~4	2	
	地域経営論Ⅰ	2~4	1	
	地域経営論Ⅱ	2~4	1	
	地域文化論Ⅰ	2~4	1	
	地域文化論Ⅱ	2~4	1	
	コミュニティ・デザイン論Ⅰ	2~4	1	
	コミュニティ・デザイン論Ⅱ	2~4	1	
	漢文学概説1	2~4	1	
	漢文学概説2	2~4	1	
	漢文学史A1	2~4	1	
	漢文学史A2	2~4	1	
	書写書道基礎	3~4	2	
	地理学概論B	2~4	2	
哲学概論A	1~4	2		
哲学概論B	1~4	2		
英米言語文化概説A	2~4	1		
英米言語文化概説B	2~4	1		
外国語コミュニケーション	1~4	1~		
国際学特別研究	1~4	1~		
その他の科目	1~4			
合 計			86単位	
共通教育科目			38単位	
総 計			124単位	

注1) 「その他の科目」とは、自コースの専門基礎選択必修科目及び専門選択必修科目の必修単位を越えて履修した科目、他コースの専門科目および他学類の専門科目を言います。

注2) 専門基礎選択必修科目、専門選択必修科目及び他コースの専門科目中の英語による授業（Eを付した科目）を6単位以上修得すること。

〈教育方針〉

本コースでは、アメリカやイギリスをはじめとする英語圏のさまざまな社会的、文化的な背景についての広範かつ深い知識を備え、共感的な理解を土台とする異文化コミュニケーションをおこなう能力を持つ人材を育成します。日本の文化を発信しつつ、英語圏の文化を摂取し、真に国際的と呼べる分野で、みずからのアイデンティティを生かして多彩に活躍できるよう、あらゆる角度から英語圏を研究し、同時にコミュニケーションに不可欠な「自信」を育てていきます。

〈科目内容および選択科目について〉

本コースの科目表は前頁の通りです。

1年次にはGS言語科目の英語および初習言語を履修して語学力を高めると同時に、コース分属時の選抜資料となるTOEFLまたはIELTSを積極的に受験し、12月上旬にはそのスコアを提出する必要があります。米英コースでは専門基礎科目、専門科目中の英語による授業（Eを付した科目）を6単位以上修得することが義務付けられています。専門科目（卒業時まで24単位必修）における学習では、より高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、英語圏の文化・経済・政治・思想に関する知識基盤を築いてもらいます。2年次の夏季休業には、海外の大学で語学研修に参加し、自らの学習成果を試し、さらに語学力を高めることが望まれます（語学研修は単位認定の対象となります）。3年次よりゼミ形式の「米英研究演習」を履修し、より専門的な知識を深め、遅くとも4年次までには研究テーマを決定し、教員の指導を受けながら論文の作成に取り組みます。したがって、3年次には多彩なテーマを扱う専門科目を幅広く履修して、自分が真に取り組みたいと思うテーマを発見することが重要です。また、本コースでは、2年次での語学研修以外にも、海外の大学への留学を強く奨励します。3年次後期から4年次前期にわたって海外へ留学する場合でも、留学先での単位をある程度修得し、3年次前期と4年次後期に「研究演習」を履修すれば、4年間で卒業することが可能ですので、果敢にチャレンジしてください。

履修モデル（卒業要件：124単位）

共通教育科目（38単位以上）

区 分		修得すべき単位数及び条件			
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
		初学者ゼミⅠ	1単位		
		データサイエンス基礎	1単位		
		地域概論	1単位		
	GS科目（5群）	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修		
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位、EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※		3単位以上		
基礎科目		――			
初習言語科目		1言語8単位以上			

学域GS科目,学域GS言語科目,専門基礎科目(24単位以上) ※実際の開講期はWebシラバス, 時間割等で確認してください。

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E 異文化理解1 学域GS科目	1 1 1	日本文化E 異文化理解2 学域GS科目	1 1 1
	小計	1	小計	1	小計	3	小計	3
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		3		3

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際開発論1E	1	国際貿易論2E	1	学域GS言語科目I	1	学域GS言語科目II	1
	日本政治・外交論1E	1	国際機構論E	2	国際関係論E	2	国際経済学2E	1
	日本政治・外交論2E	1	日本民俗文化論2E	1	国際経済学1E	1	日本史概説2	1
	日本民俗文化論1E	1			日本史概説1	1	日本文化体験B	2/2
	日本語学概論A1	1			日本文化体験B	1/2		
	日本語学概論A2	1						
	小計	6	小計	4	小計	6	小計	4
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		6		4		6		4

専門科目（62単位以上）

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	米英研究A1	1	米英研究A2	1	アメリカ文化地域論1E	1	アメリカ文化地域論2E	1
	米英研究B1	1	米英研究B2	1	米英政治・外交論	1/2	米英政治・外交論	2/2
	英語圏文化論1E	1	米英研究特論	2				
	英語圏文化論2E	1						
	小計	4	小計	4	小計	2	小計	3
実演習			Business Communication	1	Management Communication	1	英語グローバルトピックC2	1
			英語グローバルトピックA1	1	英語グローバルトピックC1	1	アカデミック・ライティングA2	1
			英語グローバルトピックA2	1	アカデミック・ライティングA1	1		
			異文化体験実習 I ※	3				
	小計	0	小計	5	小計	3	小計	3
計		4		9		5		6

※夏休み語学研修（オーストラリア・カナダなど）

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	米英メディア文化論 1E	1	米英メディア文化論2E	1	イギリス地域文化論1E	1	イギリス地域文化論2E	1
	アメリカ経済論1E	1	アメリカ経済論2E	1	英語学概説1E	1	英語学概説2E	1
	国際政治史（西洋）1E	1	国際政治史（西洋）1E	1				
	米英文化関係論1E	1						
	米英文化関係論2E	1						
	小計	5	小計	3	小計	2	小計	2
実演習	研究演習A1	1	研究演習A2	1	研究演習A3	1	研究演習A4	1
			国際英語コミュニケーションB1	1	アカデミック・ライティングB1	1	アカデミック・ライティングB2	1
			国際英語コミュニケーションB2	1				
	小計	1	小計	3	小計	2	小計	2
計		6		6		4		4

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
実演習	研究演習B1	1	研究演習B2	1	研究演習B3	1	研究演習B4	1
					国際英語コミュニケーションD1	1	国際英語コミュニケーションD2	1
					卒業論文			6
	小計	1	小計	1	小計	2	小計	8
計		1		1		2		8

※この他に他コース等の専門科目を10単位履修

ヨーロッパコース科目表

授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
学域G S科目	1~2	1~	2単位
学域G S言語科目 I	2	1	1単位
学域G S言語科目 II	2	1	1単位
卒業論文	4	6	6単位
小計			10単位
専門基礎科目 (国際社会系) (「国際学入門」「国際学入門E」含む)	1~4		10単位
専門基礎科目 (日本文化系) (「日本文化」「日本文化E」含む)	1~4		10単位
小計			20単位
西洋近・現代史概説	2~4	2	
現代ヨーロッパ社会論	2~4	2	
ヨーロッパの宗教1	2~4	1	
ヨーロッパの宗教2	2~4	1	
美術史1E	2~4	1	
美術史2E	2~4	1	
ヨーロッパ社会言語学	2~4	2	
ドイツ文学史A1	2~4	1	
ドイツ文学史A2	2~4	1	
ドイツ文学史B1	2~4	1	
ドイツ文学史B2	2~4	1	
フランス文学史A1	2~4	1	
フランス文学史A2	2~4	1	
フランス文学史B1	2~4	1	
フランス文学史B2	2~4	1	
ヨーロッパ生活論1E	2~4	1	
ヨーロッパ生活論2E	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論1	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論2	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論1E	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論2E	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論3E	2~4	1	
ヨーロッパ研究特論4E	2~4	1	
ヨーロッパ歴史特論A	2~4	2	
ヨーロッパ歴史特論B	2~4	2	
ヨーロッパ文化特論A1	2~4	1	
ヨーロッパ文化特論A2	2~4	1	
ヨーロッパ文化特論B1	3~4	1	
ヨーロッパ文化特論B2	3~4	1	
ヨーロッパ社会特論A1	2~4	1	
ヨーロッパ社会特論A2	2~4	1	
ヨーロッパ社会特論B1	3~4	1	
ヨーロッパ社会特論B2	3~4	1	
ドイツ語読解基礎1	2~4	1	
ドイツ語読解基礎2	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級1	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級2	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級3	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級4	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級5	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション初級6	2~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級1	3~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級2	3~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級3	3~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級4	3~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級5	3~4	1	
ドイツ語コミュニケーション中級6	3~4	1	
ドイツ語表現法1	3~4	1	
ドイツ語表現法2	3~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ概説1	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ概説2	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習A	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習B	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習C	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習D	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習E	2~4	1	
ヨーロッパ・アフリカ史演習F	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級1	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級2	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級3	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級4	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級5	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級6	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級7	2~4	1	
フランス語コミュニケーション初級8	2~4	1	
フランス語コミュニケーション中級1	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級2	3~4	1	

授業科目	学年	単位数	卒業に必要な単位数
フランス語コミュニケーション中級3	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級4	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級5	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級6	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級7	3~4	1	
フランス語コミュニケーション中級8	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級1	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級2	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級3	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級4	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級5	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級6	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級7	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション初級8	2~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級1	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級2	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級3	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級4	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級5	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級6	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級7	3~4	1	
スペイン語コミュニケーション中級8	3~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級1	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級2	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級3	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級4	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級5	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級6	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級7	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション初級8	2~4	1	
ロシア語コミュニケーション中級1	3~4	1	
ロシア語コミュニケーション中級2	3~4	1	
ロシア語コミュニケーション中級3	3~4	1	
ロシア語コミュニケーション中級4	3~4	1	
研究演習A1	3	1	
研究演習A2	3	1	
研究演習A3	3	1	
研究演習A4	3	1	
研究演習B1	4	1	
研究演習B2	4	1	
研究演習B3	4	1	
研究演習B4	4	1	
小計			28単位以上
インターンシップ	3~4	2	
異文化体験実習	1~4	1~	
日本史要説A	2~4	1	
日本史要説B	2~4	1	
東洋史要説A	2~4	1	
東洋史要説B	2~4	1	
政治学A	1~4	1	
政治学B	1~4	1	
社会学	2~4	2	
地域経営論 I	2~4	1	
地域経営論 II	2~4	1	
地域文化論 I	2~4	1	
地域文化論 II	2~4	1	
コミュニケーション・デザイン論 I	2~4	1	
コミュニケーション・デザイン論 II	2~4	1	
漢文学概説1	2~4	1	
漢文学概説2	2~4	1	
漢文学史A1	2~4	1	
漢文学史A2	2~4	1	
書写書道基礎	3~4	2	
地理学概論B	2~4	2	
哲学概論A	1~4	2	
哲学概論B	1~4	2	
英米言語文化概説A	2~4	1	
英米言語文化概説B	2~4	1	
外国語コミュニケーション	1~4	1~	
国際学特別研究	1~4	1~	
その他の科目	1~4		
合計			86単位
共通教育科目			38単位
総計			124単位

注1) 「その他の科目」とは、自コースの専門基礎選択必修科目及び専門選択必修科目の必修単位を越えて履修した科目、他コースの専門科目および他学類の専門科目を言います。

注2) 専門基礎選択必修科目、専門選択必修科目及び他コースの専門科目中の英語による授業（Eを付した科目）を4単位以上修得すること。

〈教育方針〉

このコースでは、「ヨーロッパとその周辺地域」に関する深い見識を備えた国際人の養成をその目標に掲げています。研究対象は環地中海圏、中部ヨーロッパ圏、東ヨーロッパ圏を中心としますが、各自の研究主題に応じて、「その周辺地域」に関する学習も積極的に支援します。このコースにおいて想定される研究は、言語・文化・政治・経済・歴史といった個別分野のどれか一つに偏ることなく、これらを総合し地域を全体として理解する分野横断的のものです。学生諸君がたんなる外国語会話の能力ではなく、ヨーロッパの文化や社会への関心を背景に、相手の思考法や生活習慣、さらには伝統に基づく価値観などを理解することにより、他者と対話し、多文化が共生する世界を共に創造していく意欲、そのために自発的に課題を見つけ解決していく能力、世界情勢を複眼的に見る国際的感覚を育む姿勢をもつことを期待します。

〈科目内容および選択科目について〉

本コースの科目表は前頁の通りです。

低学年次においては、共通教育科目と学類共通の実践的な英語科目を履修します。また学年進行に沿いながら、国際社会系と日本文化系の基礎的科目を選択科目として履修していきます。日本人としての異文化理解は、国際的教養と日本文化の理解をともに必要とするものです。具体的には1年次では共通教育科目+学域GS科目+「国際学入門」「国際学入門E」+「日本文化」「日本文化E」、2年次では学類共通科目（国際社会系、日本文化系）及びコースの要求する専門外国語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語のコミュニケーション科目を含む）が中心となります。夏季休業等に短期の語学研修（英語やその他の言語）にチャレンジすることを強く勧めます。「現代ヨーロッパ社会論」「ヨーロッパ歴史特論A1・A2」「ヨーロッパ文化特論A1・A2」「ヨーロッパ社会特論A1・A2」（2年～）では現代のヨーロッパが持つ様々な問題について総合的に学びます。

高学年次では、コースの専門科目とコースの要求する専門外国語を中心に選択履修していきます。3年次には、専門性の高い科目（コース専門科目）が中心になります。また、ゼミナール形式の「ヨーロッパ歴史特論B1・B2」「ヨーロッパ文化特論B1・B2」「ヨーロッパ社会特論B1・B2」において、よりハイレベルな地域研究を実践していくこととなります。「ヨーロッパ生活論1E・2E」では外国人教員からヨーロッパの生活について学びます。また、意欲のある学生を対象に短期（半年・1年）留学を推奨・指導します。最終学年では卒業論文の準備として、コース専門科目をさらに履修していきます。最後に「研究演習」による指導を通じて、大学生活のまとめとしての卒業論文を仕上げてもらいます。

履修モデル（卒業要件：124単位）

共通教育科目（38単位以上）

区 分		修得すべき単位数及び条件			
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1単位	30単位以上	
		初学者ゼミⅠ	1単位		
		データサイエンス基礎	1単位		
		地域概論	1単位		
	GS科目（5群）	38単位以上	各群から3単位 計15単位 ※GS科目3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミⅡ）は必修		
	GS言語科目		TOEIC準備コース4単位、EAPコース4単位		
	自由履修科目 ※		3単位以上		
基礎科目		――			
初習言語科目		1言語8単位以上			

学域GS科目,学域GS言語科目,専門基礎科目(24単位以上) ※実際の開講期はWebシラバス, 時間割等で確認してください。

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E 異文化理解1 学域GS科目	1 1 1	日本文化E 異文化理解2 学域GS科目	1 1 1
	小計	1	小計	1	小計	3	小計	3
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		3		3

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際関係論1E 国際機構論1 学域GS言語科目 I	1 1 1	国際関係論2E 国際機構論2 学域GS言語科目 II	1 1 1	国際政治史1 日本史概説 1 日本政治・外交論1E 国際政治史(西洋) 1E ヨーロッパ・アフリカ概説 1	1 1 1 1 1	国際政治史2 日本史概説2 日本政治・外交論2 E 国際政治史(西洋) 2E ヨーロッパ・アフリカ概説2	1 1 1 1 1
	小計	3	小計	3	小計	5	小計	5
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		3		3		5		5

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	日本民俗文化論1E 日本の文学	1 2	日本民俗文化論2E	1				
	小計	3	小計	1	小計	0	小計	0
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		3		0		0

専門科目 (62単位以上)

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際貿易論1E	1	国際貿易論2E	1	ヨーロッパの宗教1	1	ヨーロッパの宗教2	1
	現代ヨーロッパ社会論	1/2	現代ヨーロッパ社会論	2/2	ヨーロッパ生活論1E	1	ヨーロッパ生活論2E	1
	西洋近・現代史概説1	1	西洋近・現代史概説2	1				
	小計	3	小計	3	小計	2	小計	2
実演習	専門言語IA1 ★	1	専門言語IA2	1	専門言語IIA1 ★	1	専門言語IIA2	1
	専門言語IB1 ★	1	専門言語IB2	1	専門言語IIB1 ★	1	専門言語IIB2	1
	異文化体験実習 ★★	4			ヨーロッパ文化特論A1	1	ヨーロッパ文化特論A2	1
	小計	6	小計	2	小計	3	小計	3
計		9		5		5		5

★ フランス語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語

★★ 夏休みサマー・コース

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際政治史(東洋)1E	1	国際政治史(東洋)2E	1	ヨーロッパ研究特論3E	1	ヨーロッパ社会言語学	2
	国際貿易論1	1	国際貿易論2	1	国際社会論特論1	1	ヨーロッパ研究特論4E	1
	国際経済学1	1	国際経済学2	1			国際社会論特論2	1
	ヨーロッパ研究特論1E	1	ヨーロッパ研究特論2E	1				
	小計	4	小計	4	小計	2	小計	4
実演習	ヨーロッパ歴史特論B1	1	ヨーロッパ歴史特論B2	1	専門言語IIIA1	1	専門言語IIIA2	1
					専門言語IIB1	1	専門言語IIB2	1
	小計	1	小計	1	小計	2	小計	2
計		5		5		4		6

★★★ 留学による単位認定

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	美術史1E	1	国際コミュニケーション論	2	美術史2E	1		
	小計	1	小計	2	小計	1	小計	0
実演習	研究演習B1	1	研究演習B2	1	研究演習B3	1	研究演習B4	1
					卒業論文			6
	小計	1	小計	1	小計	1	小計	7
計		2		3		2		7

4. 副専攻について

(1) 制度の趣旨

この制度は、学生諸君の自由な選択にゆだねられている選択科目の枠を利用して、特定の学問領域について主専攻の半分程度の科目を履修することで、副専攻を認定するものです。学類内および学類間、学域間で副専攻を取ることで、より広範な知識と学際的なものの見方を習得することができます。

各副専攻には、所属する学類・コースでの専門分野に関する学習と並行して、関連分野に関する知見を広げてくれるものや、幅広い視野を身につけ、専門性に裏づけられた教養人として自己を形成していく上で手助けとなるもの、就職のための資格を得るのに有利なもの等、多様な性格を持っていますので、それぞれの関心に応じて自由に選択してください。

(2) 認定の方法

所定の期間内に副専攻の登録を行い、卒業時まで所定の科目及び単位数を修得し、最終判定に合格した学生について、当該コースを「副専攻」として認定します。認定は卒業時に提出する副専攻修了認定申請書に基づいて行われ、副専攻修了証明書が交付されます。

(3) 補足

この制度は、希望する学生のみを対象とするもので、主専攻に専念したいと考える学生や、副専攻という形を取らずに幅広い科目の履修を目指す学生を強制するものではありません。また、卒業要件となる制度でもありません。副専攻認定のための単位を満たせなくても、修得した単位は選択科目の「その他の科目」として利用できます。

(4) 具体的な手続きについて

副専攻登録を希望する学生は、金沢大学公式Webサイトの『副専攻制度』の説明をよく読んで、必要な手続きを忘れないようにしてください。

5. 免許状・資格取得のための履修について

(1) 教育職員免許状

教育職員免許状授与の所要資格を取得しようとする学生は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要単位を修得しなければなりません。詳しくは、人間社会学域で作成した『教職の手引き』を参照してください。以下は、ここで案内すべき最重要の事柄だけを述べます。

①本学類で取得できる免許状の種類は、次のとおりです。

免許状の種類	免許教科
中学校教諭一種免許状	国語
	英語
	社会
高等学校教諭一種免許状	国語
	英語
	地歴、公民

*所属コースによっては、修得困難な免許教科があります。アドバイス教員と相談の上、1年次より履修計画を立て、修得を目指してください。

*人間社会学域規定別表第7から9に掲げる科目の単位は、卒業に必要な単位数に含めません。(教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科(保育内容)の指導法、大学が独自に認定する科目、特別支援教育に関する科目)

②教育職員免許が更新制になることについて

2008年より教育職員免許は更新制になりました。10年に一度、講習を受けなければ、免許は失効します。失効した免許は講習さえ受ければ、原則有効となります。しかし、誰でも講習を受けられる訳ではありません。講習を受けることができるのは、現に教員（非常勤講師を含む、以下同じ）である人、もしくは教員になる見込みのある人のみです。

したがって、民間企業に就職もしくは公務員となる予定の学生には、教育職員免許取得をお勧めできません。詳しくはアドバイス教員とご相談ください。

③教育職員免許状取得者が取得できる資格

教育職員免許状の取得が必要要件になっている資格として、次のものがあります。

- 学校図書館司書教諭
- 社会教育主事

これらの資格は、教育職員免許状を出すことができる学類の学生ならば、すべて卒業時に取得できます。その場合は、在学中に、教育職員免許状取得に必要な単位を修得するとともに、資格に必要な授業の単位を修得しなければなりません。資格に必要な授業は、地域連携推進センターなどで開講されています。修得の方法の詳細は、『金沢大学学生便覧』を参照してください。

(2) 卒業時に取得できる資格

大学卒業時に取得できる資格にはさまざまなものがあります。これを整理すると、(1) 開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格と、(2) その学類・コース・専修を卒業したということだけで取得できる資格（卒業自体が資格に必要な専門的知識を得たものと見なされます）とがあります。

また、卒業時に得られる資格にも、資格それ自体が得られる場合と、資格を得るための試験の受験資格あるいは受験科目の一部免除が得られる場合とがあります。以下では、人間社会学域における取得可能資格を示します。

①開講されている所定の授業科目を修得することによって取得できる資格

所定の科目を修得すると取得できる資格と学類・コース・専修との関係を一覧表に表すと以下のようになります。

資格の分類・名称 [認定機関]		学類・コース・専修	備考	
所定の科目を修得すると取得できる資格	資格自体が得られる	社会調査士 [一般社団法人社会調査協会]	人文学類	他学類の学生でも必要科目の単位修得をすることで資格取得は可能ですが、実習的科目が多いため、左記以外の学類では取得するための負担が相当に大きくなります。
		学芸員	人文学類及び他の全学類	博物館に関する科目の単位を修得する必要があります。主要な科目はフィールド文化学コースで開講されます。
		日本語教育主専攻	国際学類・日本・日本語教育コース	指定科目から教育実習を含む50単位以上の修得が必要。
		日本語教育副専攻	国際学類及び他の全学類	指定科目から教育実習を含む26単位以上の修得が必要。

(ア) 日本語教育主専攻資格取得のための科目表（日本・日本語教育コース）

※以下のカリキュラムは、2000（平成12）年3月に文化庁・日本語教員の養成に関する調査協力者会議報告「日本語教育のための教員養成について」で示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」に準拠しています。また、主専攻資格の総単位数50単位は、文部省が1988（昭和63）年に発表した「日本語教育機関の運営に関する基準」の「1. 大学（短期大学を除く）において日本語教育に関する主専攻（日本語教育科目45単位以上）を修了し、卒業した者」の単位数を目安としたものです。

【資格取得に必要な授業科目】

単位修得のために開講される授業科目			備考（必修・選択必修の別、科目区分、どの科目区分から何単位修得が必要かなど）
科目名	開講年次	単位数	
現代日本の文化と社会	2年～	1	選択必修
国際学入門	1年～	1	選択必修
国際学入門E	1年～	1	選択必修
国際関係論1	2年～	1	選択必修
国際関係論2	2年～	1	選択必修
国際協力論1	2年～	1	選択必修
国際協力論2	2年～	1	選択必修
日本文化	1年～	1	選択必修
日本文化E	1年～	1	選択必修
日本史概説1	2年～	1	選択必修
日本史概説2	2年～	1	選択必修
日本経済論	2年～	2	選択必修
日本の古典文学1*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本の古典文学2*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本の文学1	2年～	1	選択必修
日本の文学2	2年～	1	選択必修
日本の近代文学1*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本の近代文学2*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本の現代文学1*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本の現代文学2*隔年開講	2年～	1	選択必修
日本文化体験A	2年～	2	選択必修
日本文化体験B	2年～	2	選択必修
日本文化体験C	2年～	1	選択必修
日本文化体験D	2年～	1	選択必修
社会言語学1	3年～	1	必修
社会言語学2	3年～	1	必修
国際コミュニケーション論	2年～	2	選択必修
現代中国論A1	2年～	1	選択必修
現代中国論A2	2年～	1	選択必修
現代中国論B1	2年～	1	選択必修
現代中国論B2	2年～	1	選択必修
東アジア国際交流史1	2年～	1	選択必修
東アジア国際交流史2	2年～	1	選択必修
英語学概説	2年～	2	選択必修
現代ヨーロッパ社会論	2年～	2	選択必修
ヨーロッパ社会言語学	2年～	2	選択必修
異文化理解1	1年～	1	選択必修
異文化理解2	1年～	1	選択必修
第二言語習得論1	3年～	1	選択必修
第二言語習得論2	3年～	1	選択必修
発達と学習の心理1	2年～	1	選択必修
発達と学習の心理2	2年～	1	選択必修

「社会・文化・地域」24科目中より10単位以上

「言語と社会」12科目中より8単位以上

「言語と心理」6科目中より4単位以上

単位修得のために開講される授業科目			備考（必修・選択必修の別, 科目区分, どの科目区分から何単位修得が必要かなど）
科目名	開講年次	単位数	
日本語教育学基礎1	2年～	1	必修
日本語教育学基礎2	2年～	1	必修
日本語教科書研究1	2年～	1	必修
日本語教科書研究2	2年～	1	必修
日本語教授法A1	2年～	1	必修
日本語教授法A2	2年～	1	必修
日本語教授法B	3年～	1	必修
日本語教授法演習（教育実習）	3年～	1	必修
日本語教育とコンピュータ1	3年～	1	選択必修
日本語教育とコンピュータ2	3年～	1	選択必修
日本語教育評価法	3年～	2	選択必修
日本語教育実習A	3年～	1	必修
日本語教育実習B	4年～	1	必修
日本語教育史1	3年～	1	選択必修
日本語教育史2	3年～	1	選択必修
日本語学概論A	2年～	2	必修
日本語学概論B	2年～	2	必修
日本語の文字・表記1	2年～	1	選択必修
日本語の文字・表記2	2年～	1	選択必修
日本語の語彙・意味1	2年～	1	選択必修
日本語の語彙・意味2	2年～	1	選択必修
日本語史1	2年～	1	選択必修
日本語史2	2年～	1	選択必修
日本語文法A1	2年～	1	必修
日本語文法A2	2年～	1	必修
日本語文法B1	3年～	1	選択必修
日本語文法B2	3年～	1	選択必修
日本語音声学1	2年～	1	必修
日本語音声学2	2年～	1	必修
言語学概論1	2年～	2	選択必修
言語学概論2	2年～	2	選択必修
対照言語学1	3～4年	1	選択必修
対照言語学2	3～4年	1	選択必修
認知言語学1	3～4年	1	選択必修
認知言語学2	3～4年	1	選択必修

「言語と教育」15科目中より14単位以上

「言語」20科目中より14単位以上

注) クォーター科目については1・2をともに履修すること。「言語と教育」の科目区分については、「日本語教授法A1・A2」の履修前に「日本語教育学基礎1・2」を履修済であること, また, 「日本語教授法B・日本語教授法演習（教育実習）」の履修前に「日本語教育学基礎1・2」, 「日本語教科書研究1・2」, 「日本語教授法A1・A2」を履修済であることを原則とします。「日本語教育実習A」「日本語教育実習B」については主専攻資格修得予定者のみが履修でき（副専攻の学生は原則履修できません）, 「日本語教育実習B」は「日本語教育実習A」履修後に履修することを原則とします。日本・日本語教育コース以外のコース所属生が「日本語教育主専攻」資格修得を希望する場合は, 日本・日本語教育コース教員に申し出て許可を得なくてはなりません。

※「日本語教育主専攻」資格取得希望者は4年次の4月に人社系教務係へ「日本語教育主専攻登録票」を提出し, 卒業時に必要単位数を満たせば, 金沢大学人間社会学域長名で「日本語教育主専攻単位取得証明書」が発行されます。なお今後, 日本語教師の資格制度が変更される可能性がありますので, 掲示などに注意してください。

【標準的な履修モデル】

1年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	国際学入門	1	日本文化	1	国際学入門E 異文化理解1	1 1	日本文化E 異文化理解2	1 1
	小計	1	小計	1	小計	2	小計	2
実演習								
	小計	0	小計	0	小計	0	小計	0
計		1		1		2		2

2年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	日本語学概論A	2	日本語学概論B	2	国際関係論1	1	国際関係論2	1
	日本語教育学基礎1	1	日本語教育学基礎2	1	日本語の語彙・意味1	1	日本語教科書研究2	1
講義	現代日本の文化と社会	1			日本語の語彙・意味2	1	日本語音声学2	1
	日本文化体験A			2	日本語教科書研究1	1	日本語文法A2	1
講義					日本語音声学1	1		
					日本語文法A1	1	日本の文学	2
	小計	4	小計	5	小計	5	小計	7
実演習					日本語教授法A1	1	日本語教授法A1	1
	小計	0	小計	0	小計	1	小計	1
計		4		5		6		8

3年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義	東アジア国際交流史1	1	現代ヨーロッパ社会論	2	日本語教育とコンピュータ1	1	日本語教育とコンピュータ2	1
	第二言語習得論1	1	東アジア国際交流史2	1	日本語の文字・表記1	1	日本語の文字・表記2	1
講義	社会言語学1	1	第二言語習得論2	1			国際コミュニケーション論	2
	日本語文法B1	1	社会言語学2	1			ヨーロッパ社会言語学	2
講義	対照言語学1	1	日本語文法B2	1				
			日本語教育評価法	2				
	小計	5	対照言語学2	1	小計	2	小計	6
実演習	日本語教授法B	1	日本語教授法演習（教育実習）	1	日本語教育実習A			1
	小計	1	小計	1	小計	0	小計	1
計		6		10		2		7

4年次

学期	第1Q		第2Q		第3Q		第4Q	
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位
講義					日本語教育史1	1	日本語教育史2	1
	小計	0	小計	0	小計	1	小計	1
実演習			日本語教育実習B	1				
	小計	0	小計	1	小計	0	小計	0
計		0		1		1		1

(イ) 日本語教育副専攻資格取得のための科目表 (全コース) *副専攻としての「日本語教育コース」に同じ

※以下のカリキュラムは、2000 (平成12) 年3月に文化庁・日本語教員の養成に関する調査協力者会議報告「日本語教育のための教員養成について」で示された「日本語教員養成において必要とされる教育内容」に準拠しています。また、副専攻資格の総単位数26単位は、文部省が1988 (昭和63) 年に発表した「日本語教育機関の運営に関する基準」の「2. 大学 (短期大学を除く) において日本語教育に関する科目を26単位以上修得し (副専攻) , 卒業した者」の単位数に準拠したものです。

【資格取得に必要な授業科目】

単位修得のために開講される授業科目			備考 (必修・選択必修の別, 科目区分, どの科目区分から何単位修得が必要かなど)	
科目名	開講年次	単位数		
現代日本の文化と社会	2年～	1	「社会・文化・地域」18科目中より4単位以上	
国際学入門	1年～	1		
国際学入門E	1年～	1		
国際協力論1	2年～	1		
国際協力論2	2年～	1		
日本文化	1年～	1		
日本文化E	1年～	1		
日本史概説1	2年～	1		
日本史概説2	2年～	1		
日本経済論	2年～	2		
日本の古典文学1*隔年開講	2年～	1		
日本の古典文学2*隔年開講	2年～	1		
日本の文学1	2年～	1		
日本の文学2	2年～	1		
日本文化体験A	2年～	2	「言語と社会」11科目中より4単位以上	
日本文化体験B	2年～	2		
日本文化体験C	2年～	1		
日本文化体験D	2年～	1		
社会言語学1	3年～	1		「言語と心理」6科目中より2単位以上
社会言語学2	3年～	1		
国際コミュニケーション論	2年～	2		
現代中国論A1	2年～	1		
現代中国論A2	2年～	1		
現代中国論B1	2年～	1		
現代中国論B2	2年～	1		
東アジア国際交流史1	2年～	1		
東アジア国際交流史2	2年～	1		
英語学概説	2年～	2		
現代ヨーロッパ社会論	2年～	2		
異文化理解1	1年～	1		
異文化理解2	1年～	1		
第二言語習得論1	3年～	1		
第二言語習得論2	3年～	1		
発達と学習の心理1	2年～	1		
発達と学習の心理2	2年～	1		

単位修得のために開講される授業科目			備考（必修・選択必修の別, 科目区分, どの科目区分から何単位修得が必要かなど）
科目名	開講年次	単位数	
日本語教育学基礎1	2年～	1	必修
日本語教育学基礎2	2年～	1	必修
日本語教科書研究1	2年～	1	必修
日本語教科書研究2	2年～	1	必修
日本語教授法A1	2年～	1	必修
日本語教授法A2	2年～	1	必修
日本語教授法B	3年～	1	必修
日本語教授法演習（教育実習）	3年～	1	必修
日本語教育とコンピュータ1	3年～	1	選択必修
日本語教育とコンピュータ2	3年～	1	選択必修
日本語教育評価法	3年～	2	選択必修
日本語教育史1	3年～	1	選択必修
日本語教育史2	3年～	1	選択必修
日本語学概論A	2年～	2	必修
日本語学概論B	2年～	2	必修
日本語の文字・表記1	2年～	1	選択必修
日本語の文字・表記2	2年～	1	選択必修
日本語の語彙・意味1	2年～	1	選択必修
日本語の語彙・意味2	2年～	1	選択必修
日本語史1	2年～	1	選択必修
日本語史2	2年～	1	選択必修
日本語文法A1	2年～	1	必修
日本語文法A2	2年～	1	必修
日本語文法B1	3年～	1	選択必修
日本語文法B2	3年～	1	選択必修
日本語音声学1	2年～	1	必修
日本語音声学2	2年～	1	必修
対照言語学1	3年～	1	選択必修
対照言語学2	3年～	1	選択必修

「言語と教育」13科目中より8単位以上

「言語」16科目中より8単位以上

注) クォーター科目については1・2をともに履習すること。「言語と教育」の科目区分については、「日本語教授法A1・A2」の履修前に「日本語教育学基礎1・2」を履修済であること、また、「日本語教授法B・日本語教授法演習（教育実習）」を履修する場合には、「日本語教育学基礎1・2」, 「日本語教科書研究1・2」, 「日本語教授法A1・A2」を履修済であることを原則とします。「日本語教育実習A」, 「日本語教育実習B」については、原則として主専攻資格取得予定者しか履修できないので（副専攻の学生は原則履修できないので）注意してください。

※「日本語教育副専攻」資格取得希望者は4年次の4月に人社系教務係へ「日本語教育副専攻登録票」を提出し、卒業時に必要単位数を満たせば、金沢大学人間社会学域長名で「日本語教育副専攻単位修得証明書」が発行されます。なお今後、日本語講師の資格制度が変更される可能性がありますので、掲示などに注意してください。

(ウ) 学芸員資格取得科目群

【資格取得に必要な授業科目一覧】

博物館法施行規則第1条第1項に定める科目及び単位数		左記に対応して開設されている授業科目及び単位数			開講学類	開講年度
科目	単位数	授業科目	開講年次	単位数		
生涯学習概論	2	生涯学習論	地域創造学類1年, 他学類1年以上。	2	地域創造学類(卒業単位に加算される)	毎年
			学校教育学類3年, 他学類3年以上。	2	学校教育学類(卒業単位に加算されない)	毎年
博物館概論	2	博物館概論	1・2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館資料論	2	博物館資料論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館経営論	2	博物館経営論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館展示論	2	博物館展示論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館教育論	2	博物館教育論	2・3年	2	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年
博物館実習	3	博物館実習	4年	3	人文学類(フィールド文化学コース)	毎年

※注意事項

「博物館資料論」「博物館経営論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」「博物館情報・メディア論」「博物館教育論」は、原則「博物館概論」の単位を修得済みの者のみ履修を認める。

「博物館実習」は、学芸員資格取得に必要な科目のうち、この科目以外のすべての単位を修得済みの者のみ履修を認める(例外として、留学による未修得は別途考慮する場合がある)。ただし、科目等履修生は認めない。

【標準的な履修モデル】

- 1年 博物館概論
生涯学習論(地域創造学類)
- 2～3年 博物館資料論
博物館資料保存論
博物館展示論
博物館経営論
博物館情報・メディア論
博物館教育論
- 4年 博物館実習(学内実習+館園実習)

【資格取得の方法】

博物館法で定められた必要な科目単位を取得したものは、各学類学務係に請求することにより、卒業時に「学芸員資格取得証明」を得ることができます。

(3) 学類の学習が結びつく受験資格

大学卒業に関係なく誰でも受験できる資格の中には、学類の専門科目の授業がその資格取得に役立つものがあります。

【学類とその学習が役立つ主な受験資格一覧】

学類・コース	受験資格	役立つ授業科目
国際学類 国際社会コース／アジアコース／ 米英コース／ヨーロッパコース	通訳ガイド（通訳案内士） [国土交通大臣]	言語コミュニケーション科目 (各コース)

(4) その他の資格

① 公認心理士資格について

人間社会学域「公認心理師養成プログラム」を修了することで、学士課程での要件を満たすことができます。本プログラムの履修要件及び修了要件は以下のとおりです。詳細は別にお知らせします。

履修要件…人間社会学域規程（以下、「学域規程」）別表第10-2に規定された修得すべき単位数を修得していること

修了要件…学域規程別表第10-1に規定された全科目を修得すること

※学域規程別表第10-1に規定された科目単位は卒業要件に算入できません。

※学域規程別表第10-2に規定された科目は、人文学類専門教育科目の科目番号で履修登録してください（ただし、教育職員免許状取得希望者除く）。その場合、他学類科目の履修となるため、「選択科目」として卒業要件に算入することができます。

なお、教育職員免許状取得希望者は、「発達心理学」「学校心理学（心理学的支援法）」「教育相談論（教育・学校心理学）」の3科目について、学校教育学類専門教育科目の科目番号で履修することで、教育職員免許状取得のための「教職に関する科目」の単位に算入することが可能です。ただし、その場合、当該3科目の単位は卒業要件に算入できませんのでご注意ください。

なおプログラムの受け入れ人数には上限があり、希望者数が受け入れ上限を超えた場合は、選考により履修者を決定します。本プログラムを修了することにより、公認心理師試験に必要な証明書の交付を受けることができます。

6. 体験実習科目について

(1) 就業体験実習（インターンシップ）

○ 趣旨・目的

国際学類共通科目の一つとして、在学中に一定期間、民間企業や官庁・自治体、NGO・NPO等において就業体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を実践を通じて理解させるとともに、自らに適した将来の進路を選択する能力の向上を図ることを目的としています。

○ 対象学年・実施時期

原則として国際学類3年生以上を対象とし、夏季あるいは春季休業中の1～2週間とします。

○ 履修手続き等

- ・履修続きについては、3年次の4月に、キャリア形成支援委員会が開催するキャリア講座の中で説明します（アカンサスポータルで通知）。
- ・キャリア講座での説明を理解した上で、所定期間内に履修登録を行ってください。
- ・インターンシップの終了後に、キャリア形成支援委員会に日報・結果報告書を提出し、所定の実習時間が確認された場合に単位が認定されます。
- ・派遣留学先でのインターンシップや海外長期インターンシップを行った学生は、所定の書類を提出することで、「異文化体験実習」の単位認定を受けることができます。詳細は、3年次の4月にキャリア形成支援委員会が開催するキャリア講座の中で説明します。

(2) 異文化体験実習

○ 趣旨・目的

国際学類共通科目の一つとして、現在グローバル化が進む中、在学中に一定期間、海外での短期の研修、語学研修及び異文化体験を行うことにより、学問を学ぶ意味を体験を通じて理解させるとともに、コミュニケーションの手段としての実践的な語学能力と、幅広い視野及び柔軟な状況適応能力等の向上を図ることを目的としています。「異文化体験実習」に該当するものは、海外等における研修、語学研修や海外ボランティア等です。

○ 対象学年・実施時期

国際学類1～4年生を対象とし、原則として、夏季あるいは春季休業中とします。

○ 履修手続き等

- ・履修を希望する学生は、異文化体験実習科目コーディネーターが主催する「説明会」に必ず出席してください。（掲示で通知）
- ・履修登録は担当教員が行うものと、自身で行うものがありますので「説明会」で確認してください。
- ・事前指導・事後指導

体験実習を実施するための準備授業—事前指導、及び体験実習を終了した後の授業—事後指導に出席する必要があります。（掲示で通知）

- 異文化体験実習には、「異文化体験実習Ⅰ」（1～8単位）と「異文化体験実習Ⅱ」（2単位）があります。「異文化体験実習Ⅰ」は短期の研修、語学研修及び異文化体験を行うことによって単位を修得するものです。「異文化体験実習Ⅱ」は、帰国後所定の語学検定試験に合格することによって修得するものです。「異文化体験実習Ⅰ」と同時に履修登録してください。所定の語学検定試験については以下を参照してください。

英 語：TOEFL (PBT/ITP) 550点以上、(CBT) 213点以上、(iBT) 79点以上、TOEIC (L&R) 730点以上、英語検定試験準1級、IELTS 5.5以上、BULATS B2以上、及び同等のもの

中 国 語：中国語検定試験2級以上及び同等のもの

朝 鮮 語：ハングル能力検定試験2級以上及び同等のもの

ド イ ツ 語：ドイツ語技能検定試験2級以上及び同等のもの

フ ラ ン ス 語：フランス語技能検定試験準2級以上及び同等のもの

ス ペ イ ン 語：スペイン語技能検定2級以上及び同等のもの

ロ シ ア 語：ロシア語能力検定試験3級以上及び同等のもの

なお、2015年度以前の入学者に認めていた交換留学等の派遣留学に対する異文化体験実習の認定は、2016年度入学者からは適用されません。留学先で履修した科目の単位互換制度を利用ください。

7. 短期留学及び海外研修について

国際学類では所属する学生に**短期留学（1年ないしは半年）および海外語学研修等**、海外に出て学習することを強く勧めます。国際学類の掲げている学習目標を達成するためには、海外での学習・体験が欠かせないと考えるからです。入学時から、本学の派遣留学制度等を十分に調べ、短期留学及び海外研修を目指した学習計画を立ててください。特に、**語学の条件等（TOEFL iBT及びIELTS等）**に関しては、求められるレベルを正確に把握し、1年次から学習計画を入念に立てて積極的に受験してください。

（1）短期留学

本学と学生交流協定を結び相互に学生を交換している協定大学へ派遣留学生として短期（1年ないしは半年）留学する制度があります。派遣留学制度を使つての留学の募集は、毎年10月、12月、4月（オーストラリア・韓国）および掲示等で広報される所定の時期です。交流大学の一覧・派遣留学の条件等については、国際機構支援室発行の『金沢大学生のための派遣留学の手引き』や金沢大学留学生センターWebサイトを参照ください。留学によって修得した単位は、所定の手続きを経て金沢大学の単位として認められ、留学しながら4年で卒業することも可能です。各コースの履修モデルなどを参照したり、アドバイス教員や留学相談教員に相談したりして、留学について十分な準備を行ってください。

また、協定大学以外にも自力で留学先を探し、自らのイニシアティブで留学することもできます。留学によって修得した単位は学類会議により認定される場合があります。本学以外のさまざまな機関が提供している奨学金などの情報を積極的に入手して、留学奨学金にチャンレンジしてみてください。

（2）海外研修

春季休業あるいは夏季休業を利用して、海外の大学や語学学校において語学研修を行い、外国語の運用能力を高め、海外での体験を積むことは、本学類の趣旨にかなう有効な学習です。本学では、後述の大学主催の語学研修のほか、自分が企画・実施する海外研修（語学研修、海外ボランティア、インターンシップ等）に単位を認めています（「異文化体験実習Ⅰ、Ⅱ」）。また、語学研修を行い、外国語の運用能力を高め、海外での生活に親しんだ後で、短期留学するのもよい方法だと思われます。

なお、以下の諸大学における語学研修は、金沢大学が主催するもので、金沢大学の教員が引率するものもあります。詳しくは、Webサイトや『金沢大学生のための派遣留学の手引き』、各研修担当者にご確認ください。

【本学が主催する語学研修を実施する大学】

英語圏 ワイカト大学、ユークンカレッジ 他
中国語圏 台湾師範大学、北京言語大学 他
ドイツ レーゲンスブルク大学・デュッセルドルフ大学
フランス オルレアン大学
スペイン アルカラ大学

8. 外部検定試験等による単位認定について

国際学類の学生で外部検定試験等に合格した者は、言語科目の認定を受けることができます。対象となる科目については、以下の申合せを参照してください。

外部検定試験等による単位認定に関する申合せ

金沢大学学則第56条第1項に基づき、外部検定試験等による単位認定について、次のとおり申し合わせる。

1. 対象科目及び認定基準は、外部検定試験等による単位認定基準による。
2. 申請の方法は、単位認定申請書（別紙様式）に成績証明書を添えて、各学期の指定する期日までに提出するものとする。
3. 単位の認定は、学類会議において行う。

附 則

この申合せは、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、平成22年4月1日から施行し、平成22年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成23年4月1日から施行し、平成23年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成25年4月1日から施行し、平成25年3月31日に在学する者から適用する。

附 則

この申合せは、平成28年4月1日から施行する。

科 目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
中国語	新HSK(漢語水平考試) 4級	試験合格	中国語コミュニケーション初級1 1単位 中国語コミュニケーション初級2 1単位 中国語コミュニケーション初級3 1単位 中国語コミュニケーション初級4 1単位 中国語コミュニケーション初級5 1単位 中国語コミュニケーション初級6 1単位 中国語コミュニケーション初級7 1単位 中国語コミュニケーション初級8 1単位
	新HSK(漢語水平考試) 5級～6級	6割以上のスコア獲得	中国語コミュニケーション初級1 1単位 中国語コミュニケーション初級2 1単位 中国語コミュニケーション初級3 1単位 中国語コミュニケーション初級4 1単位 中国語コミュニケーション初級5 1単位 中国語コミュニケーション初級6 1単位 中国語コミュニケーション初級7 1単位 中国語コミュニケーション初級8 1単位 中国語表現法A1 1単位 中国語表現法A2 1単位 中国語表現法B1 1単位 中国語表現法B2 1単位 現代中国時事文A1 1単位 現代中国時事文A2 1単位 現代中国時事文B1 1単位 現代中国時事文B2 1単位
朝鮮語	TOPIK(韓国語能力試験) 5級以上	試験合格	朝鮮語コミュニケーション初級1 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級2 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級3 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級4 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級5 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級6 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級7 1単位 朝鮮語コミュニケーション初級8 1単位
	KLТ(韓国語レベルテスト) 840点以上		
	KLPT(世界韓国語認証試験) 400点以上		

科目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
英語	TOEFL (PBT/ITP) 577-597, TOEFL (CBT) 233-247, TOEFL (iBT) 90-99, ※TOEIC (L&R) 820-895, IELTS 6.5	試験合格	米英コース言語コミュニケーション科目 4単位まで
	TOEFL (PBT/ITP) 600～ TOEFL (CBT) 250～ TOEFL (iBT) 100～ ※TOEIC (L&R) 900～ IELTS 7.0		米英コース言語コミュニケーション科目 8単位まで
ドイツ語	CEFR (ヨーロッパ 共通参照枠) A2	試験合格	ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位
	CEFR (ヨーロッパ 共通参照枠) B1 または ドイツ語技能検定試験 (独検) 2級		ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級4 1単位
	CEFR (ヨーロッパ 共通参照枠) B2以上 または ドイツ語技能検定試験 (独検) 準1級以上		ドイツ語読解基礎 1 1単位 ドイツ語読解基礎 2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション初級6 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級1 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級2 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級3 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級4 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級5 1単位 ドイツ語コミュニケーション中級6 1単位 ドイツ語表現法 1 1単位 ドイツ語表現法 2 1単位
フランス語	CEFR (ヨーロッパ 共通参照枠) A2* * 実用フランス語技能検定準2級, DELF A2に相当	試験合格	フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位
	CEFR (ヨーロッパ 共通参照枠) B1* * 実用フランス語技能検定2級, DELF B1に相当		フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位 フランス語コミュニケーション中級1 1単位 フランス語コミュニケーション中級2 1単位 フランス語コミュニケーション中級3 1単位 フランス語コミュニケーション中級4 1単位

科 目	認定対象とする外部検定試験等	合格基準	認定科目・単位数
フランス語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2* * 実用フランス語技能検定準1級、DELF B2に相当	試験合格	フランス語コミュニケーション初級1 1単位 フランス語コミュニケーション初級2 1単位 フランス語コミュニケーション初級3 1単位 フランス語コミュニケーション初級4 1単位 フランス語コミュニケーション初級5 1単位 フランス語コミュニケーション初級6 1単位 フランス語コミュニケーション初級7 1単位 フランス語コミュニケーション初級8 1単位 フランス語コミュニケーション中級1 1単位 フランス語コミュニケーション中級2 1単位 フランス語コミュニケーション中級3 1単位 フランス語コミュニケーション中級4 1単位 フランス語コミュニケーション中級5 1単位 フランス語コミュニケーション中級6 1単位 フランス語コミュニケーション中級7 1単位 フランス語コミュニケーション中級8 1単位
スペイン語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B1	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位 スペイン語コミュニケーション中級1 1単位 スペイン語コミュニケーション中級2 1単位 スペイン語コミュニケーション中級3 1単位 スペイン語コミュニケーション中級4 1単位
	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) B2	試験合格	スペイン語コミュニケーション初級1 1単位 スペイン語コミュニケーション初級2 1単位 スペイン語コミュニケーション初級3 1単位 スペイン語コミュニケーション初級4 1単位 スペイン語コミュニケーション初級5 1単位 スペイン語コミュニケーション初級6 1単位 スペイン語コミュニケーション初級7 1単位 スペイン語コミュニケーション初級8 1単位 スペイン語コミュニケーション中級1 1単位 スペイン語コミュニケーション中級2 1単位 スペイン語コミュニケーション中級3 1単位 スペイン語コミュニケーション中級4 1単位 スペイン語コミュニケーション中級5 1単位 スペイン語コミュニケーション中級6 1単位 スペイン語コミュニケーション中級7 1単位 スペイン語コミュニケーション中級8 1単位
ロシア語	CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) A2	試験合格	ロシア語コミュニケーション初級1 1単位 ロシア語コミュニケーション初級2 1単位 ロシア語コミュニケーション初級3 1単位 ロシア語コミュニケーション初級4 1単位 ロシア語コミュニケーション初級5 1単位 ロシア語コミュニケーション初級6 1単位 ロシア語コミュニケーション初級7 1単位 ロシア語コミュニケーション初級8 1単位 ロシア語コミュニケーション中級1 1単位 ロシア語コミュニケーション中級2 1単位 ロシア語コミュニケーション中級3 1単位 ロシア語コミュニケーション中級4 1単位

※TOEIC (L&R) -IP は除く。

- 備考 1 単位認定を申請する科目は未修得のものに限る。
2 外部検定試験による同一言語の単位認定を複数回求める場合、先に認定を受けた単位数を除くものとする。
3 外部検定試験のスコアは大学入学後のものに限る。

9. 富山大学人文学部との単位互換について

富山大学人文学部で開講される専門科目を履修し、30単位を限度に、本学類の選択単位とすることができます。ただし、専門基礎科目の内の「学域GS科目」、専門科目の内の卒業論文関係科目、教職に関する科目、博物館学芸員資格取得のための科目などの履修できない科目があります。また、共通教育科目も対象外とします。履修の手続きの際に、本学類の所属コース教員等及び相手学部の当該授業科目担当教員の承認が必要で、具体的には当該授業科目担当教員の裁量に委ねられます。

履修手続きの詳細は掲示で通知します。

修学上の心得

1. 授業について

授業は各クォーター8週行い（セメスター制の授業は15週）、日程は学年の始めに公示します。

前期は4月中旬、後期は9月下旬または10月上旬から開講します。

各学期の開講科目については、授業時間割により発表します。

授業時間割は発表後においても、一部変更することがあります。（掲示通知）

授業時間は次のとおりです。

第1限 8時45分～10時15分

第2限 10時30分～12時00分

第3限 13時00分～14時30分

第4限 14時45分～16時15分

第5限 16時30分～18時00分

※授業中は、担当教員の指示もしくは許可を得た場合を除き、以下の行為を禁止します。

○授業の撮影・録画・録音

またこれらの許可を得てもSNS等への掲載は禁止です。

2. 専門科目の単位数について

学域規程別表の単位数は、修業年限内で開講される標準開講単位数を示すものです。事情によっては開講されない場合もありますので注意してください。

3. 履修登録について

その学期・クォーターに開講される科目で単位認定を希望する科目は、集中講義を含め、すべてその学期・クォーター毎に履修登録が必要です。登録方法等については後述しますが、期限に遅れたり、手続きミスするとその学期・クォーターは履修できなくなりますので、十分注意してください。

履修登録において最も重要なことは、「学務情報サービス」上の「履修時間割表」を確認（訂正）することです。「履修時間割表」には、集中講義を含めて、その学期・クォーターの開講科目のうち単位認定を希望する全科目が記載されていなければなりません。この「履修時間割表」に載っていない科目は、履修しても単位認定はされませんので、必ず内容を確認してください。

また、履修登録についての指示・方法、期限等は全てアカンサスポータルでの通知と掲示にて行いますので、必ず通知・掲示を確認するようにしてください。

4. 定期試験について

試験は、その科目の授業の終わった後すみやかに行われます。ただし、通年の授業科目のうちの一部には、一括して試験するものもあります。

試験の日程及び試験科目は、実施の日の約1週間前に発表します。

定期試験については再試験は行いません。

疾病、負傷その他やむを得ない理由により、定期試験を受験することができない学生に限り、追試験申請を認めることがあります。追試験の申請は理由を証明する書類（医師の診断書など）を添えて、事前に（事情によっては、証明書は、後日提出しても差し支えありません。）、試験担当教員へ申し出なければなりません。

5. 転学域・転学類・転コースについて

転学類（転学域を含む）は、原則1年次後期の10月初旬頃に申請できます。ただし、それ以降も転学類は可能で、2年次の10月頃に申請すれば、単位の修得状況次第で4年間での卒業が可能です。3年次以降の10月頃に申請した場合は、4年間での卒業はできません。

転コースも、2年次の12月頃に申請すれば、4年間での卒業が可能です。3年次以降の12月頃に申請した場合は、4年間での卒業はできません。ただし、留学等の事由がある場合は、アドバイス教員にご相談ください。なお2年次以降の転学類の申請も10月に行います。

6. 授業科目履修の具体的方法について

(1) 手続きに必要なコード番号

① 学籍番号

この番号は全処理のキーナンバーとなるため、間違えると単に自分が困るだけでなく、その番号を持った他人に多大な迷惑をかけることとなります。

必ず学生証で確認してください。

② 名列番号

各学年（学類・コース）ごとに氏名を50音順に並べた（留年歴のある者等は下位に）3ケタの番号を名列番号と言います。

1年生はコースに分属していないので学年で付番し、2年生以上はコースごとに付番します。

各コースの先頭名列番号は次のとおりです。

国際社会コース	001	日本・日本語教育コース	101
アジアコース	201	米英コース	301
ヨーロッパコース	401		

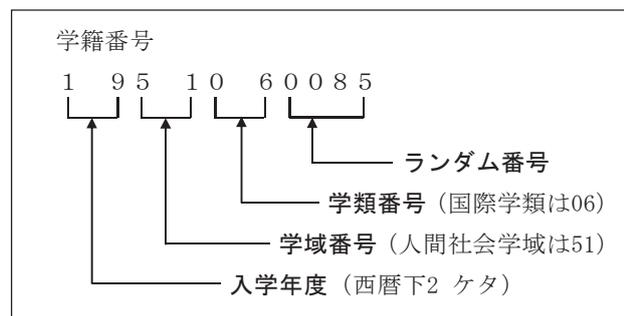
出欠や定期試験（答案用紙に要記入）、証明書交付願等に最もよく使うので必ず暗記してください。

なお、名列番号は、学籍番号とは関係なく、かつ留年等の場合に変更するので特に注意してください。

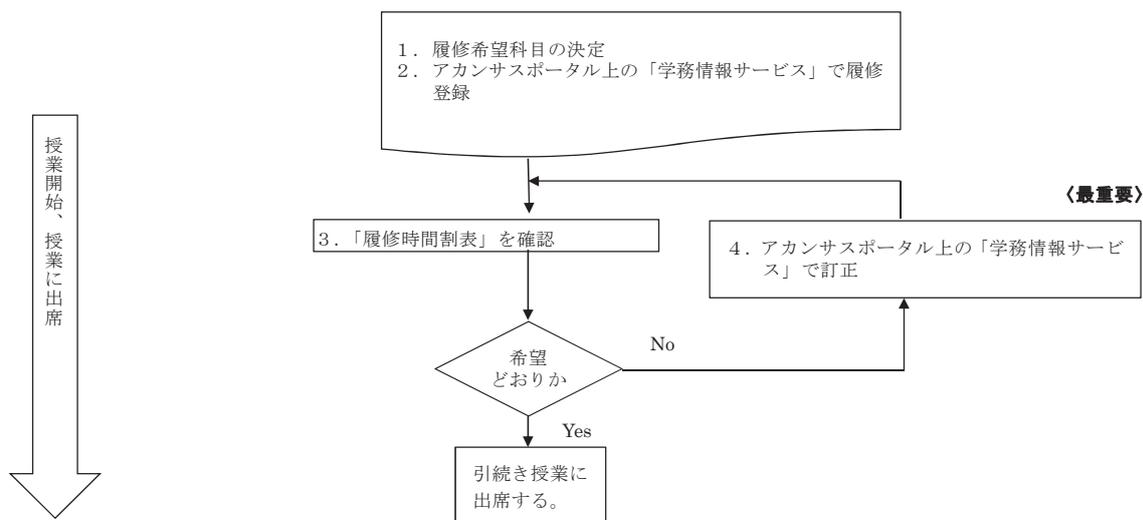
③ 時間割番号

各学類の授業科目すべてに時間割番号がつけられています。5ケタと8ケタの数字は1回のみ履修可能、小数点以下2ケタの枝番がついている場合は、原則として再履修可能です。（桁数によるルールは学類によって異なり、国際学類の科目は一部の科目を除き原則全ての科目が再修得できません。例外については、毎学期・クォーターの授業時間割表で確認してください）。

なお、同一科目でも年度・学期・クォーターによって、時間割番号が変わる科目もありますので、必ず各学期・クォーターの授業時間割表で確認してください。



履修登録の流れ図



※インターネットを利用して履修登録する。

詳細は、「金沢大学学生便覧」を参照すること。

(2) 履修登録の方法

履修希望科目の履修登録は、毎学期・クォーター必ず指示する期間内にWeb登録しなければなりません。以下に手順と注意を詳述しますので熟読してください。

① 履修希望科目の決定

- ・シラバス、授業時間割表、掲示物等を基にその学期・クォーター中の履修希望科目を各自で決めてください。
- ・同一時限（部分重複を含む）に複数科目（共通教育科目を含む）の重複登録は認めません（集中講義を含む）。
- ・過年度者等で自分が取るべき科目が開講されていない場合は、別途指示しますので、履修登録期間内に（なるべく早く）人社系教務係で相談してください。

② Web履修登録

- ・Webでの履修登録は、学生便覧を参照して、必ず所定の期間内に行ってください。
 - ・人間社会学域以外の学域に属する学類（数理学類・保健学類等）の開講科目の履修希望者は、「他学域授業科目履修願」を人社系教務係で受領し、早めに担当教員の了承を得て、期間内に提出してください。なお、通常のWeb登録による履修手続きでは、人間社会学域以外の学域に属する学類の科目の履修登録はできませんので、特に注意してください。
 - ・卒業論文は、4年次で履修登録が必要です。絶対に忘れないで下さい。
 - ・専門教育科目は、各クォーターの履修登録上限が共通教育科目と合計して12単位以下と決められています。（インターンシップ、異文化体験実習、卒業論文、集中講義により開講する科目及び教職に関する科目は除きます。）
 - ・例えば、教育実習等、別に所定の書類の提出を要する科目は、履修登録願とその手続きの両方が必要です。一方で欠けると履修が許可されませんので注意してください。
- また、集中講義や教育実習等、実施時期が遅い科目でも学期・クォーター当初の履修登録が必要です。なお、日程の重なっている集中講義は重複して履修することはできません。
- ・教育実習と教育実習事前・事後指導は、希望年次の前期に同時に履修登録してください。

③ 履修登録科目の確認と訂正 **〈重要〉**

- ・履修登録補正期間になると「学務情報サービス上」の「履修時間割表」に確定した科目が掲載されま

すので、確認してください。

- ・希望どおりであれば、その時点で履修許可科目が確定します。
- ・卒業予定の学生は、**卒業論文が登録されていることを確認してください。**
- ・希望と違っていたら、科目の選び方や、これまでの手続きに誤りがなかったか十分検討してください。
その上で、訂正（追加・削除）したい場合は、Webで訂正してください。
- ・履修登録補正期間中は、履修登録・削除を行うことによって「履修時間割表」もリアルタイムで更新されます。希望どおり訂正できたか必ず「履修時間割表」を確認してください。
- ・**指定期間外の訂正は原則受け付けません。また、他学域の科目の訂正はできません。**
- ・一旦履修が許可された科目でも、履修要件や単位認定等に不都合がある場合は、予告なく履修許可を取消されることがあります。この場合も科目の追加は認められません。

④ 成績の通知

- ・成績通知は、掲示等で指示する日時にWebで公開されます。
- ・成績通知表の評語は、S・A・B・C・不可の評価のほか、合・否（合否は一定の水準以上の成績達成を目的とした授業科目の場合）・認定（本学の開講科目以外の授業科目及び外部試験の結果を単位認定する場合）・放棄（履修許可されたが実際には履修せずと判断）の9評語に、保留（合否判定が次学期以降に延期）が加わり10種類になります。単位の認定は、S・A・B・C並びに合・認定の評価を得た授業科目に対してのみ行います。
なお、各評語の標準的到達度は次のとおりです。

S（90%以上）、A（80%以上90%未満）、B（70%以上80%未満）、C（60%以上70%未満）、
不可（60%未満）

- ・保留の科目で次学期・クォーター末に単位認定を希望する場合は、学期・クォーター当初に必ず担当教員に申し出て指示を受けなければなりません。この際の履修登録は、次学期・クォーターの開講科目ではないので必要ありません。（卒業論文も含まれます）
- ・成績通知前に教員に合否を尋ねてはいけません。また、集中講義等を含め、学期途中の単位認定は行いません。
- ・成績通知表には学期・クォーターごとと通算のGPA値（履修科目のグレード・ポイント＝GPの平均＝アベレージ）が掲載されます。各評語ごとのGPは次のとおり。
S＝4点 A＝3点 B＝2点 C＝1点
不可・放棄・保留＝0点 合・認定・否は対象外
*放棄は成績通知表上だけのことで、成績原簿やGPAなどでは不可と同じ扱いです。したがって放棄の評語は、授業に最後までついていかなかったことを確認するためのものであり、学生にとって有利になる評価ではありませんので、注意してください。
- ・GPAを算出する基準は、次のとおりです。

放棄した科目もカウントされますので、履修登録はよく検討して行ってください。

$$GPA = \frac{(\text{授業科目で得たGP} \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和}}{(\text{履修登録した授業科目の単位数の総和})}$$

また、GPAの対象外となるのは、次の授業科目です。

共通教育科目のうちの「全学共通科目」「いしかわシティカレッジの他大学提供科目」「放送大学の授業科目」「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」及び「海外異文化体験学習」

専門教育科目では「入学前の既修得単位を認定した授業科目」「外部試験によって単位認定した授業科目」「教職科目」「卒業論文」。

- ・掲示された評価結果について疑義がある場合は、成績通知日より一定の期間以内で疑義の申し立てができます。疑義申し立ての期間や申し立て方法については、成績通知前に別途掲示等で連絡します。

7. アドバイス教員について

アドバイス教員は、皆さんが学生生活をスムーズに送る応援の役割をします。学習計画や海外研修・留学、進路などを含む学業面や生活面での分からないことを聞いたり、相談したりしてみてください。適切な情報をくれたり、助言をしてくれたり、場合によっては必要な相談先を紹介してくれたりします。

国際学類では、1年次は初学者ゼミⅠの担当教員がアドバイス教員になります。2年次以降は、所属コースの教員がアドバイス教員になります。

8. 研究演習について

国際学類のすべてのコースに3年次には研究演習A（アジアコースは2年次第4Qから）、4年次には研究演習B（アジアコースは3年次第4Qから）が設けられています。必修4単位については通年での修得が望ましいのですが、留学などの特別な事情がある場合、研究演習Aと研究演習Bを2単位ずつ取ることが認められています。研究演習のあり方などはコースによって異なりますので、コースの説明会などでよく確認してください。

9. 卒業論文について

国際学類の各コースの必修科目として「卒業論文」があります。詳細については、以下の申し合わせによります。

国際学類卒業論文に関する申し合わせ

1. 審査制度とスケジュール

(1) 主査

4月の卒論ゼミ（研究演習）履修登録時に決定

(2) 副査

コース内外の専任及び準専任教員等から1名以上選出

(3) 題目届と外部検定試験のスコア

10月上旬、人社教務係に提出

(4) 中間発表

遅くとも12月上旬までにコース別に開催する。

コース別に開催、指導教員・コース教員・コース在學生に参加を呼びかける。

(5) 提出

1月11日（当日が土曜、日曜、祝日の場合は休日明けの）午後5時までに**人社系教務係に1部、指導教員に2部**提出する。

なお、9月末卒業予定者については、7月21日（当日が土曜、日曜、祝日の場合は休日明けの日）の午後5時までに**人社系教務係に1部、指導教員に2部**提出する。

(6) 口頭試問

実施方法については、コース別に定める。

2. 提出要件

卒業論文を提出するには、所定の外部検定試験を受験し、そのスコアを提出しなければならない(※)。

(1) スコア提出方法

10月上旬に題目届とあわせて人社系教務係に提出する。

(2) 対象外部検定試験

TOEIC公開テスト、TOEIC-IP、TOEFL、IELTS、GTEC、BLUTS

(3) 受験時期

2年生以上

(4) 受験免除者

- ・ TOEFL iBT 80以上, TOEFL ITP 550以上, IELTS 6.0以上, TOEIC (L&R) 760以上のスコアを有する者
(題目届提出時に証明するスコアを提出すること。)
- ・ 大学が定める英語圏を国籍とする者

3. 書式

(1) 共通の原則

用紙 A4用紙

製本 厚紙表紙またはファイル等で綴じる

表紙に論文題目・学籍番号・氏名・指導教員名を明記

内容 表紙・目次・本文・注釈・参考文献一覧を含む

なお、日本語論文以外の場合、A4用紙2枚程度の日本語概要を付すこと

(2) 使用言語別の原則

・日本語論文の場合

字数 本文20,000字以上(図・表, 参考文献一覧, 注釈などを含まず)

書式 原則として横書き, 10.5ポイント, 横40字×縦30行で印刷

・英語論文の場合

分量 本文①25枚以上 ②6000ワード以上 のいずれか

(図・表, 参考文献一覧, 注釈などを含まず)

書式 12ポイント・80×24ストローク(ダブル・スペース)を原則とする

・諸外国語論文の場合

主査と学生の協議により, その他の言語で論文を書くことができる。

その場合の分量・書式の要件については, 上記日本語・英語論文の要件を参考に,

別途定めることとする。

3. 論文内容に関する原則

(1) 共通の評価基準

1. 研究テーマを論じるのに必要な最低限の資料・文献を収集・利用しているか。
2. 資料の分析法や論理展開は妥当か。
3. 文章力があるか(議論・意見の展開力, 文法・語彙・表記, 表現力)。
4. 必要な注を, しかるべき仕方で行っているか。

(2) 内容の要件

このほか, コース別に論文内容について要件を定めることができる。

(ヨーロッパ・コース: 最低限英語論文一本ないし自身の研究対象地域の言語で記述された資料一本を使用する)

※英語の外部検定試験受験義務化について

社会のグローバル化が急速に進むなか、本学では、さまざまな場でグローバルに活躍できる高度人材育成のため、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。そうした取組の一つとして、本学では英語の外部検定試験受験を義務化しており、人間社会学域学生は、最低2回の受験が必要となります。

1回目の受験…1年次にGS言語科目「TOEIC準備」においてTOEICテストに必要な英語能力向上をはかり、大学が実施するTOEIC-IPテストを第4クォーターに受験。

2回目の受験…専門教育科目「学域GS言語科目」において人間社会学域に共通する基礎的な英語の学習等を学び、その成果の確認も含め、再度英語の外部検定試験を受験。
国際学類では卒業論文の提出要件となります。

一般心得について

1. 国際学類図書室について

国際学類の図書室は、人間社会5号館4階3402号室に設置されています。ただし、ここは、主に教員が教育で使用する図書を配置していますので、学生に自由には開放されていません。本室の図書を閲覧したい時は、最寄りの国際学類教員に鍵を開けてもらい、その許可を得て閲覧してください。

本室の図書の借用は、原則として中央図書館を通してもらうことになっていますが、本学類の学生に限り、国際学類教員の立ち会いのもと、「貸出帳簿」に必要事項を記入することで貸し出します。期限は1週間です。また、コピーなどで一時的に借用したい場合は、国際学類教員立ち会いのもと、「一時貸出簿」に必要事項を記入することで貸し出します。

2. コース学生研究室について

各コースの学生研究室は、下記の部屋に設置されています。

国際社会コース	人間社会4号館4223・4224号室
日本・日本語教育コース	人間社会5号館3409・3410号室
アジアコース	人間社会4号館4306号室
米英コース	人間社会5号館3106・3107号室
ヨーロッパコース	人間社会5号館3119号室

各研究室には、会議・書見用のテーブル、椅子、辞書などの参考図書やコースの授業に関連する図書、パソコン、プリンターなどが設置されていますので、コース所属の学生の予習・復習などに使用できるようになっています。また、授業・ゼミ等で使用する資料の印刷のために各コースにコピーカードが配付されています。

各コースの学生研究室の使用の詳細は、2年生への進学時に説明します。

3. 姓名等の変更・異動の届け出について

本人又は父母等の姓名・住所・電話番号等が変更・異動した場合は、速やかに人社系教務係に届け出てください。

4. 休学・退学・復学について

経済的な理由等により、休学や退学をする場合は、必ず、アドバイス教員と十分相談した上、人社系教務係で届出用紙を受け取ってください。

休学は1か月以上で学期・クォーターの終わり又は学年の終わりまでとなっています。なお、各学期・クォーターの開始前月までに届出がない場合は、次学期・クォーターの授業料は徴収されます。

また、当該学期・クォーターの授業料を納入しない場合は、退学届は受理されません。

休学期間が過ぎると手続き等はなく復学しますが、復学届を提出することで休学期間内であっても復学することができます。復学の時期はクォーター始めとします。

5. 事故等について

(1) 学内の緊急連絡先

a) 平日昼間：人社系教務係（電話番号 076-264-5556）

b) 夜間・休日等（事務職員が不在のとき。）

角間キャンパス中央監視室（電話番号 076-264-6295）

（110番、119番通報が必要な緊急時は学生が直接連絡しても構いません。ただし、その後で上記の中央監視室へ連絡してください。）

(2) 危険・故障箇所、照明切れ、不審者等の報告のお願い

キャンパス内の危険・故障箇所、照明切れ、不審者に気づいたら、すぐに最寄りの事務室に知らせてください。（緊急で事務職員不在の時は、上記の中央監視室へ連絡を）

(3) 事故等の報告について

大学の内・外を問わず、万一交通事故等に遭った場合・事故を起した場合は、人社系教務係に届け出てください。

(4) 救急箱の設置場所

救急箱は人社系教務係のほか、総合教育講義棟2階共通教育学務係、総合教育1号館1階共通教育管理係にもあります。

6. 台風等非常時における授業・期末試験等の取扱いについて

石川県加賀地方北部に暴風警報、大雨警報、大雪警報等（以下「警報」という。）が発令された場合及び不測の事態が生じた場合に、授業・期末試験等（以下「授業等」という。）の取扱いは、下記の基準により判断します。

休講措置を決定した場合は直ちに下記事項の2の方法で周知し、金沢大学のホームページに掲載します。

(1) 授業等の取扱い

① 警報発令に伴い授業等を休講する場合

授業等開始前又は既に授業等実施中に警報が発令され、公共交通機関（金沢駅発着のJR西日本、北陸鉄道の電車又はバス）が運休した場合又は運休が予測される場合には、その後の授業等を休講とする。

② 警報解除に伴い授業等を実施する場合

a) 午前7時までに警報が解除され、公共交通機関が運行した場合、1時限目の授業等から実施する。

b) 午前11時までに警報が解除され、公共交通機関が運行した場合、3時限目の授業等から実施する。

ただし、午前11時までに警報が解除されない場合には当日の授業等は休講とする。

注1 警報は「金沢地方気象台が発表する警報」による。

2 警報の発令・解除及び運行の確認は、テレビ・ラジオ等の報道又は関係機関のホームページ、連絡窓口への確認による。

3 教育実習・病院実習・介護等体験実習・インターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従うものとする。

(2) 休講等措置の周知方法

① 掲示、非常用校内放送等により速やかに周知する。

ただし、授業時間中の場合には、授業等担当教員を通じて周知する。

② 金沢大学のホームページ及び携帯電話サイトに掲載する。

③ 電話での照会はテレホンサービス（通話料は有料）により対応する。

④ 可能な限りテレビ・ラジオを通じて周知するよう努める。

(3) その他

地震等不測の事態が生じた場合も、上記に準ずる。

(問い合わせ先)

ホームページ 本学ホームページ→「在学生／卒業生／教職員」→「在学生のみなさんへ」→「大学生活に関する情報，学生部からのお知らせ」→「台風等非常時における休講のお知らせ」
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_gakusei/alarm/kyukou/
テレホンサービス 076-264-5299

7. 学生に対する公示について

学類が行う学生に対する通知は，人間社会第2講義棟1階学生課前の掲示板に公示するので，常時注意してください。（特に重要なものは総合教育講義棟内の共通教育学務係近くの国際学類用掲示板にも公示されます。また，アカンサスポータルにも掲載されます。）

8. 学生団体の結成届出について

学生が学域・学類内で団体を結成する場合は，所定の様式により人社系教務係を経て学域長・学類長に届けなければなりません。

なお，一度結成された団体でも，毎年度の始めにあらためて届出をする必要があります。

9. 就職について

本部棟2階に就職支援室が設置されています。企業等の求人や公務員・教員等の募集状況がわかるだけでなく，各種就職関係資料も揃っていますし，専門職員が様々な相談にも応じてくれます。気軽に随時利用してください。また，インターンシップなども就職支援室で扱っていますので，就職活動期以前から気軽に立ち寄ってみてください。なお，就職支援室のWebサイトには多くの情報がありますので，ぜひアクセスしてください。

学類では，キャリア形成支援委員会が就職に関する支援を担当します。就職に関する相談には，キャリア形成支援委員が応じてくれます。

学類としての就職支援は，およそ次の手順で行われます。

- (1) 就職希望者に対する各種説明会の実施
- (2) 就職希望調査の提出
- (3) 企業の求人内容及び公務員，教員の募集内容の掲示

(企業などとの接触や面接，公務員試験・教員採用試験などへの応募は各自で行ってください。)

就職活動をしている学生は，絶えずアドバイス教員と連絡を取るよう心掛けてください。

卒業後の進路が確定した時は，直ちにアドバイス教員に報告し，アカンサスポータルから進路報告をしてください。

10. 駐車・駐輪について

自動車による通学は，駐車許可証を申請し許可された者に限られます。申請者は，必ず研修に参加ください。

駐車許可証を交付された者は，必ず学生用駐車場内の所定の駐車ラインに従って駐車してください（通路部分は駐車禁止）。サービスヤード（人間社会2号館周囲，大学会館横，体育館前），総合教育棟周辺，北福利施設周囲等には駐車してはいけません。なお，悪質な駐車違反は懲戒の対象となりますので十分に注意してください。

サービスヤード，周回道路，駐車場における違反駐車車両は，警告ポールを取り付け，一定期間は解錠し

ません。

アカデミックゾーン内（キャンパス周回道路の内側）への違反侵入・駐車車両（バイク・自転車を含む）は、発見次第、警告ポールを取り付け、一定期間解錠しません。

11. 禁煙について

角間キャンパスは、灰皿の設置場所以外、敷地内はすべて禁煙です。

なお、大学としては、自身の健康や他人への健康被害などからも、禁煙をお勧めします。

12. ゴミの分別収集について

金沢大学では、持続可能な社会の実現を目指す環境対策の一環として、ゴミの分別収集に努めています。各建物内のゴミ箱に貼られた表示にしたがって、ゴミを分別して捨ててください。

生協の弁当ゴミは生協で独自に回収していますので、それを利用してください。

日常生活でも分別方法や回収日を守って、ゴミは正しく捨ててください。特に違法投棄をした場合には、高額な罰金が科されるだけでなく、大学からも処分を受けることがありますので、よく心してください。

13. 『金沢大学学生便覧』『きいつけまっし』参照事項

次の項目については、「金沢大学学生便覧」を参照してください。

- 学生証の取り扱い
- 諸証明の発行
- 授業料の納入
- 授業料免除
- 奨学制度
- 学生寮
- 健康管理、定期健康診断
- アルバイト
- 留学希望
- インターネットおよび電子メール（学内コンピューター情報ネットワーク）の利用法
- 辰口共同研修センターの利用

なお、トラブルを予防し、充実した学生生活を送るためのアドバイス・留意点については、『きいつけまっし：安全で快適な学生生活のために』を参照してください。

金沢大学人間社会学域規程

(平成20年4月1日規程第1093号)

目次

- 第1章 総則(第1条—第4条)
- 第2章 履修方法等(第5条—第15条)
- 第3章 試験及び成績評価(第16条—第20条)
- 第4章 卒業・学位(第21条・第22条)
- 第5章 再入学, 転入学及び編入学(第23条—第25条)
- 第6章 転学類及び転コース(第26条・第27条)
- 第7章 研究生, 科目等履修生, 特別聴講学生(第28条—第35条)
- 第8章 教育職員免許(第36条—第41条)
- 第9章 副専攻(第42条)

附則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、金沢大学人間社会学域(以下「本学域」という。)における教育課程, 履修方法, 試験, 卒業等に関し、金沢大学学則(以下「学則」という。), 金沢大学履修規程(以下「履修規程」という。)及び金沢大学共通教育科目に関する規程(以下「共通教育科目規程」という。)に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(学類等)

第2条 本学域に次の学類, コース, 主履修分野・特別プログラムを置く。

学類	コース	主履修分野・特別プログラム	
人文学類	心理学コース	心理学	
	人間科学コース	社会学	
		地理学	
		哲学・人間学	
	フィールド文化学コース	フィールド文化学	考古学 ※1
	歴史文化学コース	日本史学	
		東洋史学	
		西洋史学	
	言語文化学コース	日本語学日本文学	言語認知科学 比較文学 ※2
		中国語学中国文学	
英語学英米文学			
ドイツ語学ドイツ文学			
フランス語学フランス文学			
	言語学		
法学類	公共法政策コース		
	企業関係法コース		

	総合法学コース	
経済学類	エコノミクスコース	
	グローバル・マネジメントコース	
学校教育学類	教育科学コース	教育基礎専修
		特別支援教育専修
	教科教育学コース	国語教育専修
		社会科教育専修
		数学教育専修
		理科教育専修
		音楽教育専修
		美術教育専修
		保健体育専修
		家政教育専修
英語教育専修		
地域創造学類	福祉マネジメントコース	
	環境共生コース	
	地域プランニングコース	
	観光学・文化継承コース	
国際学類	国際社会コース	
	日本・日本語教育コース	
	アジアコース	
	米英コース	
	ヨーロッパコース	

- ※1 人文学類のフィールド文化学コース及び歴史文化学コースに所属する学生は特別プログラムとして考古学を履修することができる。考古学の特別プログラムのカリキュラム等については別に定める。
- ※2 人文学類の言語文化学コースに所属する学生は特別プログラムとして言語認知科学及び比較文学を履修することができる。言語認知科学及び比較文学の特別プログラムのカリキュラム等については別に定める。

(附属施設)

第3条 学則第5条第4項により学校教育学類に置かれる、附属教育研究施設に関する事項は、学校教育学類において別に定める。

(教育研究上の目的)

第4条 本学域においては、人間及び人間社会に関する普遍的真理の探求とともに、激変する複雑な社会状況の下で、人間及び人間社会が直面する諸問題の解決に貢献寄与するための教育を行い、社会に貢献しうる自発的な課題探求能力や解決能力を持ち、かつ多文化共生時代にふさわしい理解力と判断力を持った個性的な人材を養成することを目的とする。

2 学類における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は、別表第1のとおりとする。

第2章 履修方法等

(所属コースの決定)

第5条 学生は、その所属する学類において別に定めるところにより、志望するコース、主履修分野・特別プログラムを選択し、学類長に届出なければならない。

2 前項の志望者数が、コース、主履修分野・専修ごとに学類において定める受入れ上限数を超過したときは、選考によりコースを決定することがある。

(授業科目及び単位数等)

第6条 学生は、別表第2、別表第3-1、別表第3-2及び別表第4により、必要な単位を修得しなければならない。ただし、学則第46条第1項の第3号から第7号までの規定により編入学を許可された学生の卒業に必要な事項は学類において別に定める。

2 本学域が提供する授業科目、単位数及び開講時期は、別表第3-1、別表第3-2のとおりとする。

3 本学域の各学類が提供する授業科目及び単位数は、別表第4のとおりとする。

4 前項の授業科目の開講時期は、各学類で別に定める。

5 共通教育科目の授業科目及び単位数は、共通教育科目規程の定めるところによる。

(短期留学プログラム)

第6条の2 本学域に短期留学プログラムを置く。短期留学プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第4及び共通教育科目規程のほか、別に定める。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別に選考する。

3 第1項に定めるプログラムを履修する学生は、1学期に1科目以上専門科目を履修しなければならない。

4 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

(公認心理師養成プログラム)

第6条の3 本学域に公認心理師養成プログラムを置く。公認心理師養成プログラムに関する授業科目及び単位数は、別表第10-1のとおりとする。

2 前項に定めるプログラムを履修することができる学生は、別表第10-2に規定する修得すべき単位数を修得した学生とする。なお、履修希望者数が別に定める上限数を超過したときは、選考により履修者を決定する。

3 第1項に定めるプログラムに関する必要な事項は、別に定める。

第7条 前条で定めた、授業科目の単位修得に関する要件及び履修方法は、各学類で別に定める。

(履修の上限)

第8条 履修規程第9条の規定に基づく各学期又は各クォーターに履修科目として登録できる科目の上限単位数(以下「履修登録単位数の上限」という。)は、共通教育科目、他学域履修科目及び本学域履修科目を含め、別表第5のとおりとする。

2 履修登録単位数の上限の対象としない授業科目は、共通教育科目規程第5条第2項で定める授業科目の他、集中講義により開講する科目、異文化体験実習、インターンシップ、法律実務インターンシップ、教育実習、判例研究、演習(法学類及び経済学類)、卒業論文、卒業研究及び別表第7から別表第9で定める授業科目(学校教育学類を除く)とする。

3 複数クォーター継続して開講する授業科目の各クォーターにおける履修上限に算入する単位数は、開講する通算のクォーターにより按分するものとする。

4 履修登録単位数の上限を解除できる条件は、各学類で別に定める。

(他学域における授業科目の履修等)

第9条 学生は、本学域長の許可を得て、他学域の授業科目を履修することができる。

(他学域における履修単位の認定)

第10条 前条の規定により履修した単位及び本学域の他学類で履修した単位の認定方法等は、各学類で別に定める。

(他学域学生の授業科目の履修等)

第11条 他学域の学生は、当該学域長を経由して本学域長の許可を受けた上、本学域の授業科目を履修又は聴講することができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第12条 学生は、学域長の許可を得て、他の大学又は短期大学の授業科目を履修することができる。ただし、いしかわシティカレッジ事業に参加する他大学の授業科目及び放送大学の授業科目については、国際基幹教育院の定めによるところによる。

2 前項の規定により履修した授業科目の修得単位は、教育研究会議の議を経て、本学域の単位として認定することができる。

3 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第13条 本学域が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(本学域に入学する前に行った学修を含む)を、所定の手続きにより本学域における授業科目の履修とみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(休学期間中の他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学における学修)

第13条の2 本学域が教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に他の大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(入学前の既修得単位等の認定)

第14条 本学域が教育上有益と認めるときは、本学域に入学する前に大学若しくは短期大学(以下「大学等」という。)又は外国の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、本学域に入学した後の本学域における授業科目の履修により修得したものとみなし、教育研究会議の議を経て単位を認定することができる。

(他の大学等での学修による単位の認定)

第15条 前4条の規定により認定することができる単位数は、金沢大学国際基幹教育院総合教育部規程第4条から第7条までの規定により国際基幹教育院において認定される共通教育科目の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。ただし、再入学、転入学及び編入学をした学生の入学前の既修得単位については、各学類で別に定める。

- 2 前4条の規定により単位を認定した場合は、単位互換協定書等により定めがある場合を除き、成績評価を「認定」の評語をもって表す。

第3章 試験及び成績評価

(試験)

第16条 試験は、各授業科目について、その授業の終わった試験期間に行う。ただし、必要があるときは、その時期を変えることがある。

- 2 授業科目の性質により、平常の成績をもって、前項の試験に代えることがある。
- 3 履修規程第11条第2号により、学域において定めることとされている出席すべき授業回数は、各学類で別に定める。

(追試験)

第17条 病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者については、願い出により試験を行うことがある。

第18条 前2条に定める他、授業科目の試験に関し必要な事項は、各学類で別に定める。

(保留の成績評価)

第19条 履修規程第14条第4項の規定による「保留」の成績評価は、学修未達成の者で、特定の課題提出等により学修達成度60%以上に達する見込みのある場合に行うことができる。

(総合成績評価)

第20条 本学域で履修規程第15条に規定するGPA値を利用する事項については、各学類で別に定める。

- 2 履修規程第15条第6項に規定する再履修の取り扱いについては、各学類で別に定める。
- 3 履修規程第15条第7項第3号に規定するGPA対象外科目は、S・A・B・C以外で判定する授業科目のほか、別表第7から別表第9で定める授業科目（学校教育学類を除く）及び各学類で別に定める授業科目とする。

第4章 卒業・学位

(卒業)

第21条 本学域に4年以上在学し、別表第2に定める卒業に必要な単位を修得した者には、教育研究会議の議を経て卒業を認定する。

- 2 前項の規定にかかわらず、学類は、学則第60条に定める早期卒業に関して必要な事項を定めることができる。

(学位)

第22条 本学域を卒業した者には、学則第61条の規定により学士の学位を授与する。

- 2 前項の学位に付記する専攻分野の名称は、金沢大学学位規程の定めるところによる。

第5章 再入学、転入学及び編入学

(再入学)

第23条 学則第46条第1項第1号に規定する者が、本学域へ再入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 再入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。
(転入学)

第24条 学則第46条第1項第2号に規定する者が、本学域へ転入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転入学の出願資格及び選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。
(編入学)

第25条 学則第46条第1項の第3号から第7号までに規定する者が、本学域へ編入学を志願するときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 編入学の出願手続、選考方法等については、必要に応じて各学類で別に定める。
3 編入学の時期は、原則として第3学年の始めとする。

第6章 転学類及び転コース

(転学類)

第26条 転学類(他学域に所属する学生が、本学域の各学類に転学類する場合を含む)を志願する者がいるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可する。

2 転学類の出願資格及び選考方法等については、各学類で別に定める。
3 転学類の時期は、原則として第2学年の始めとする。
4 転学類をした学生については、当該転学類先の年次の学生に適用する本規程その他関係規定を適用する。
(転コース)

第27条 転コースを志願する者がいるときは、学類長に願い出て、許可を得なければならない。

2 転コースの選考方法等については、各学類で別に定める。

第7章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生

(選考方法等)

第28条 本学域の研究生又は科目等履修生として入学を志願する者がいるときは、選考の上、教育研究会議の議を経て許可することがある。

2 本学域の特別聴講学生として入学を希望する者がいるときは、教育研究会議の議を経て許可する。
(入学時期)

第29条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の入学時期は、学期の始めとする。ただし、特別な事情があると判断される場合は、この限りではない。

(入学資格)

第30条 研究生として入学することのできる者は、大学を卒業した者又は教育研究会議においてこれと同等以上の学力があると認めたとする。

2 科目等履修生として入学することのできる者は、教育研究会議が適当と認めたとする。

(入学志願手続)

第31条 研究生又は科目等履修生として入学を志願する者は、入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添えて、所定の期日までに、学域長に願出しなければならない。

(研究期間)

第32条 研究生の研究期間及び科目等履修生の履修期間は、入学を許可された年度内とする。ただし、引き続き研究又は履修を願出た者は、学域長の許可を得てその期間を延長することができる。

(研究生の指導教員等)

第33条 研究生には、その研究題目に応じて指導教員を定める。

2 研究生は、指導教員の指導を受けるほか、指導教員及び授業科目担当教員の承認を得て、当該研究に関連のある授業科目を聴講することができる。

(費用負担)

第34条 研究生には、研究に要する費用の一部を負担させることがある。

第35条 この規程に定めるもののほか、研究生、科目等履修生、特別聴講学生に関し必要な事項については別に定める。

第8章 教育職員免許

(所要資格の取得)

第36条 教育職員の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

(免許状の種類)

第37条 本学域において取得できる教育職員の免許状の種類は、別表第6のとおりとする。

(教科(領域)に関する専門的事項)

第38条 本学域における「教科(領域)に関する専門的事項」の履修方法は、各学類で別に定める。

(教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科(保育内容)の指導法)

第39条 「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」及び「教育実践に関する科目」をあわせて「教育の基礎的理解に関する科目等」と呼称し、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科(保育内容)の指導法」は、別表第7のとおりとする。その履修方法は、各学類で別に定める。

(大学が独自に設定する科目)

第40条 「大学が独自に設定する科目」は、別表第8のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類で別に定める。

(特別支援教育に関する科目)

第41条 特別支援教育に関する科目は、別表第9のとおりとする。その履修方法は、学校教育学類で別に定める。

第9章 副専攻

(副専攻)

第42条 副専攻に関し必要な事項については別に定める。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、別表第3の専門基礎科目における「認知科学概論」及び別表第4の国際学類専門科目における「異文化言語管理演習 I, II」, 「米英文学演習」, 「同時通訳入門」, 「スペイン語コミュニケーション IIIA, IIIB, IVA, IVB」, 「異文化体験実習 I(中国)」は、平成22年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、別表第4の国際学類(学類番号06)における、専門基礎科目「日本文化体験A」, 「日本文化体験B」及び学類共通科目「異文化体験実習 I(イギリス)」については、平成23年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

この規程は、平成23年5月27日から施行し、平成23年5月1日から適用する。

附 則

- 1 この規程は平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。
ただし、別表第3の学域共通科目のうち、「論理学から見る世界 ―形式論理学の初歩の初歩―」及び別表第4の国際学類(学類番号06)における、「国際学特論」「国際機構論」「日本史概説E」「多文化主義論E」「現代中国論E」「地球環境論E」「国際法概論」「国際政治史(東洋)E」「日本思想史」「日本史特論」「アメリカ地域文化論E」「イギリス地域文化論E」については、平成24年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

ただし、別表第4の国際学類(学類番号06)における、「英語コミュニケーションI(語学研修)」「英語コミュニケーションII(語学研修)」「国際機構論E」「国際関係論E」「比較文化論」「海外日本語教育実習」「英文法教授法」「米英研究III」「国際政治史(西洋)E」「米英政治・外交論」「ロシア語コミュニケーションIA」「ロシア語コミュニケーションIB」「ロシア語コミュニケーションIIA」「ロシア語コミュニケーションIIB」「ロシア語コミュニケーションIII」「ロシア語コミュニケーションIV」「異文化体験実習I(オーストラリア)」「異文化体験実習II(オーストラリア)」については、平成25年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の第6条の2及び別表第4の国際学類(学類番号06)における「比較文化論B」は、平成26年3月31日に在学する者にも適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、別表第4の国際学類(学類番号06)における、「国際貿易論E」、「日本の人口学E」、「ヨーロッパ研究特論E」、「ヨーロッパ文化学・プロジェクト研究I(スペイン)」「ヨーロッパ文化学・プロジェクト研究II(ポルトガル)」「異文化体験実習I(ニュージーランド)」及び「異文化体験実習II(ニュージーランド)」並びに別表第10の改正規定については、平成27年3月31日に在学する者についても適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、改正後の第6条の2及び別表第4の国際学類(学類番号06)における、「韓国・北朝鮮研究1」、「韓国・北朝鮮研究2」、「東アジア社会と教育A1」、「東アジア社会と教育A2」、「東アジア社会と教育B1」、「東アジア社会と教育B2」、「国際経済学1E」、「国際経済学2E」、「国際開発論1」、「国際開発論2」、「国際開発論1E」、「国際開発論2E」、「英語圏文化論1E」、「英語圏文化論2E」、「異文化体験実習I(海外)」については、平成28年3月31日に在学する者にも適用する。
- 3 前項の規定のほか、平成27年度に入学した者については、次の別表第2、別表第4の学校教育学類(学類番号04)、別表第7及び別表第8を次のとおり改正して、平成27年4月1日から適用した上で、なお従前の例による。

別表第2 (略)

別表第4 (略)

別表第7～8 (略)

附 則

この規程は、平成28年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「国際公共経済論A1」，「国際公共経済論A2」，「国際コミュニケーション論1」，「国際コミュニケーション論2」，「国際金融論A1」，「国際金融論A2」，「日本語教育 評価法1」，「韓国・北朝鮮比較研究1」，「韓国・北朝鮮比較研究2」，「英語圏文化論1」，「英語圏文化論2」，「西洋経済史B」については、平成28年度入学生にのみ適用する。
- 3 前項の規定のほか、平成29年3月31日に在籍する者については、改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「東アジア社会と教育A1（52245）」，「東アジア社会と教育A2（52745）」，「東アジア社会と教育B1（52246）」，「東アジア社会と教育B2（52746）」，「異文化体験実習Ⅰ（アメリカ）」，「異文化体験実習Ⅱ（アメリカ）」を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の別表第3-1の学域GS科目のうちGS科目発展系科目群、別表第4の国際学類（学類番号06）における「アフリカ概説1」，「アフリカ概説2」，「日本文化体験A（16238）」，「日本文化体験B（16239）」，「現代中国論A1」，「現代中国論A2」，「現代中国論B1」，「現代中国論B2」，「現代中国論1E」，「現代中国論2E」，「国際社会研究演習A1」，「国際社会研究演習A2」，「国際社会研究演習A3」，「国際社会研究演習A4」，「国際社会研究演習B1」，「国際社会研究演習B2」，「国際社会研究演習B3」，「国際社会研究演習B4」，「日本語教育実習A（1単位）」，「日本語教育実習B（1単位）」，「日本史特論1」，「日本史特論2」，「海外日本語教育実習」，「日本研究演習A1」，「日本研究演習A2」，「日本研究演習A3」，「日本研究演習A4」，「日本研究演習B1」，「日本研究演習B2」，「日本研究演習B3」，「日本研究演習B4」，「中国の文化と社会1E（52244）」，「中国の文化と社会2E（52744）」，「朝鮮語コミュニケーションVa」，「朝鮮語コミュニケーションVb」，「朝鮮語コミュニケーションVIa」，「朝鮮語コミュニケーションVIb」，「アジア研究演習A1」，「アジア研究演習A2」，「アジア研究演習A3」，「アジア研究演習A4」，「アジア研究演習B1」，「アジア研究演習B2」，「アジア研究演習B3」，「アジア研究演習B4」，「Business Communication（52357）」，「米英研究演習A1」，「米英研究演習A2」，「米英研究演習A3」，「米英研究演習A4」，「米英研究演習B1」，「米英研究演習B2」，「米英研究演習B3」，「米英研究演習B4」，「美術史1E（52410）」，「美術史2E（52910）」，「ヨーロッパ研究特論3E」，「ヨーロッパ研究特論4E」，「ヨーロッパ研究演習A1」，「ヨーロッパ研究演習A2」，「ヨーロッパ研究演習A3」，「ヨーロッパ研究演習A4」，「ヨーロッパ研究演習B1」，「ヨーロッパ研究演習B2」，「ヨーロッパ研究演習B3」，「ヨーロッパ研究演習B4」，「社会学」については、平成28年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成29年6月16日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者については、なお従前の例による

附 則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者については、第20条第3項の改正規定並びに改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「地理学概論B」，「英語学概説E」，「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A」，「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習A」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習B」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習C」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習D」，「ヨーロッパ・アフリカ史演習E」及び「ヨーロッパ・アフリカ史演習F」を除き、なお従前の例による。ただし、第8条第2項における「法律実務インターンシップ」に係る改正規定及び改正後の別表第4の地域創造学類（学類番号05）における「雇用政策論I」については、平成30年度入学生から、改正後の別表第4の国際学類（学類番号06）における「日本語教授法B」及び「日本語教授法演習（教育実習）」については、平成29年度入学生から適用する。

別表第1 (第4条関係) 学類における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的

学類	目的
人文学類	少人数による学生参加型の授業科目を学修の中心に置き、文献読解、実験、調査、フィールドワークなどを通して自発的に課題を発見し、その解決方法を身につけ、広範な人間の行動・思考・創造及びその蓄積としての思想・歴史・文化・言語等を深く理解した、総合的・学際的視野を持つ人材を養成することを目的とする。
法学類	現実の社会に潜む法的・政策的課題に対応できる能力を育成するためのカリキュラムを設定し、少人数教育の導入によって、多様な形で討論を通して法律学、政治学に関する専門的な知識を修得するため、現代社会の規範とその適用及び公共的課題への取組みに関する総合的な判断力を身につける教育を行い、現代社会に対して幅広い関心を持ち、よりよい社会実現のために法的思考によって問題の解決策を導き出し、自発的かつ意欲的に課題発見に挑み、その探求と解決に必要な能力を備えた人材を養成することを目的とする。
経済学類	高度な情報処理能力、調査研究能力及び政策分析・立案能力を身につけるため、少人数でのゼミナール、フィールドワーク及びケース・スタディを重視した実践的な教育を行い、現代社会において各地域で起きている様々な問題を、経済理論と経済政策、経営学・情報科学及び世界各地の経済と社会の比較考察という3つの側面から捉え、現代の様々な問題に的確かつ迅速に対処することができる専門的知識を持った人材を養成することを目的とする。
学校教育学類	教科等に関する専門的な知識や技能、それらを教授する能力、子どもとコミュニケーションする能力、子ども間での討議・討論及び自主的・自発的活動を援助する能力を重視し、教師としての使命感、教育的愛情、教育観、子ども観及び専門的な諸能力を身につける教育を行い、グローバルな視野に立って考えながら、ローカルな個別、具体的問題解決に向かって行動する義務教育段階の諸学校の教師を組織的及び計画的に養成することを目的とする。
地域創造学類	総合性と専門性を並行して修得できる教育カリキュラムの中に少人数の演習・調査実習・体験実習などを取り入れ、問題解決のための実践的なスキルの向上を目指す。地域創造学類で学ぶ4年間を通じて、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに、新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を持った人材を養成することを目的とする。
国際学類	国際社会と日本社会に関する基礎知識を修得し、諸地域の実態を踏まえた国際関係のマクロ的理解及び個々の地域に関する実践的知識を修得する専門教育を展開する。仕事で使える英語と日本語教育のための日本語を含む各地域の言語の高いレベルでの修得を目指す教育を行い、21世紀のグローバル化が進んだ社会の本質を理解し、異文化を持つ他者とのしなやかな共生を可能とする人材を養成することを目的とする。

別表第2 (第6条関係)

単位修得要件

学類	共通教育科目	専門教育科目				合計
		学域GS科目	学域GS言語科目	専門基礎科目	専門科目	
人文学類	38単位以上	2単位	2単位	6単位	学域GS科目・学域GS言語科目及び専門基礎科目を含め86単位以上	124単位以上
法学類	38単位以上	2単位	2単位	4単位以上	学域GS科目・学域GS言語科目	128単位以上

	上				及び専門基礎科目を含め 90 単位以上	
経済学類	38 単位以上	2 単位	2 単位	4 単位以上	学域 GS 科目・学域 GS 言語科目及び専門基礎科目を含め 88 単位以上	126 単位以上
学校教育学類	30 単位以上	2 単位	2 単位	63～66 単位以上	40～45 単位以上	142 単位以上
地域創造学類	38 単位以上	2 単位	2 単位	4 単位以上	学域 GS 科目・学域 GS 言語科目及び専門基礎科目を含め 86 単位以上	124 単位以上
国際学類	38 単位以上	2 単位	2 単位以上	学類共通科目 20 単位以上	学域 GS 科目・学域 GS 言語科目及び専門基礎科目を含め 86 単位以上	124 単位以上

別表第 3-1 (第 6 条関係) 学域 GS 科目単位配当表

科目区分	科目番号	科目名	学年	授業時間数				単位数	備考 (履修制限等)	
				前期		後期				
				第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター			
専門教育科目	学域 GS 科目	10015	大学・学問論	1			2	1	重複履修不可	
							2	1		
		10016	ジェンダーと教育	1			2	1	重複履修不可	
							2	1		
		10019	異文化理解 1	1			2	1	国際学類生は学域 GS 科目としては履修不可	
		10020	異文化理解 2	1			2	1		
		10021	文学概論 1	1			2	1		
		10022	文学概論 2	1				2	1	
		10023	世界遺産学	1				2	1	
		10024	法政基礎論 A	1				2	1	
		10025	法政基礎論 B	1				2	1	
		10026	イメージの比較文化学	1				2	1	
		10027	現代日本の文化と社会	2	2				1	
10028	地域創造学 1	2	2				1	地域創造学類生は学域 GS 科目としては履修不可		
10029	地域創造学 2	2		2			1			
	GS 科目発展系科目群 (※参照)	(別に定める)							国際基幹教育院提供 国際基幹教育院提供	

※学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」(GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。
なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

別表第 3-2(第 4 条関係)

科目区分	科目番号	科目名	学年	単位数		備考
				必修	選択	
専門教育科目	学域 GS 言語科目	10101	2～4	1		海外研修等
		10102	1～4			
	学域 GS 言語科目 II	10201	2～4	1		海外研修等
		10202	1～4			

※ 開講時期及び履修方法等の詳細は各学類で別に定める。

※ 科目番号 10102 及び 10202 は、海外研修等による単位認定時のみ使用する。

別表第 4(第 6 条関係) 専門基礎科目、専門科目単位配当表 (人間社会学位記番号 51)

人文学類 (学籍番号 01) ～地域創造学類 (学籍番号 05) (略)

別表第 5(第 8 条関係) 履修登録単位数の上限

学期	1 年				2 年				3 年				4 年			
	第 1 クオオーター	第 2 クオオーター	第 3 クオオーター	第 4 クオオーター	第 1 クオオーター	第 2 クオオーター	第 3 クオオーター	第 4 クオオーター	第 1 クオオーター	第 2 クオオーター	第 3 クオオーター	第 4 クオオーター	第 1 クオオーター	第 2 クオオーター	第 3 クオオーター	第 4 クオオーター
人文学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
法学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
経済学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
学校教育学類	12	12	12	12	16	16	16	16	16	16	16	16	12	12	12	12
地域創造学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
国際学類	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

別表第 6 (第 37 条関係) 免許状の種類 (略)

別表第 7 (第 39 条関係) 教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科 (保育内容) の指導法 (略)

別表第 8 (第 40 条関係) 大学が独自に設定する科目 (略)

別表第 9 (第 41 条関係) (略)

別表第 10-1 (第 6 条の 3 関係) 公認心理師養成プログラム 単位配当表

公認心理師法施行規則に定める科目名	科目番号	授業科目名	単位数	備考
1 公認心理師の職責	80001	公認心理師の職責	2	別表第10-2に規定する 修得すべき単位数を修得 した学生のみ履修可
21 人体の構造と機能及び疾病	80002	人体の構造と機能及び疾病	2	
22 精神疾患とその治療	80003	精神疾患とその治療	2	
23 関係行政論	80004	関係行政論	2	
24 心理演習	80005	心理演習	2	
25 心理実習	80006	心理実習	2	

備考 本表の授業科目から修得した単位は、別表第2に定める卒業に必要な単位数には算入しない。

別表第10-2 (第6条の3関係) 公認心理師養成プログラム履修要件科目

公認心理師法施行規則に定める科目名	授業科目名	単位数	備考
2 心理学概論	心理学概論1	2	人文学類専門教育科目
3 臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	人文学類専門教育科目
4 心理学研究法	心理学研究法1	1	人文学類専門教育科目
	心理学研究法2	1	人文学類専門教育科目
5 心理学統計法	心理学統計法1	2	人文学類専門教育科目
	心理学統計法2	2	人文学類専門教育科目
6 心理学実験	心理学実験1	2	人文学類専門教育科目
7 知覚・認知心理学	知覚・認知心理学A	1	人文学類専門教育科目
	知覚・認知心理学B	1	人文学類専門教育科目
8 学習・言語心理学	学習・言語心理学A	1	人文学類専門教育科目
	学習・言語心理学B	1	人文学類専門教育科目
9 感情・人格心理学	感情・人格心理学A	1	人文学類専門教育科目
	感情・人格心理学B	1	人文学類専門教育科目
10 神経・生理心理学	神経・生理心理学A	1	人文学類専門教育科目
	神経・生理心理学B	1	人文学類専門教育科目
11 社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学A	1	人文学類専門教育科目
	社会・集団・家族心理学B	1	人文学類専門教育科目
12 発達心理学	発達心理学	2	人文学類専門教育科目 学校教育学類専門教育科目
13 障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	人文学類専門教育科目
14 心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	人文学類専門教育科目
15 心理学的支援法	心理学的支援法	2	2単位 人文学類専門教育科目
	学校心理学(心理学的支援法)	2	選択必修 学校教育学類専門教育科目
16 健康・医療心理学	健康・医療心理学A	} 1	人文学類専門教育科目
	健康・医療心理学B		1
17 福祉心理学	福祉心理学	} 2	2単位 人文学類専門教育科目
	保育学概論(家庭看護を含む)(福祉心理学)		2
18 教育・学校心理学	教育・学校心理学	} 2	2単位 人文学類専門教育科目
	教育相談論(教育・学校心理学)		2
19 司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	} 2	2 人文学類専門教育科目
20 産業・組織心理学	産業・組織心理学		2
修得すべき単位数		40	

備考 人文学類及び学校教育学類は別表第4と一部重複する。

別表第4 専門基礎科目・専門科目単位配当表（人間社会学域番号 51）
国際学類（学類番号06）

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	専門基礎科目	16202 国際学入門	1	2科目から
		16402 国際学入門E	1	1単位必修
		16206 国際経済学1	1	
		16406 国際経済学2	1	
		16260 国際経済学1E	1	
		16460 国際経済学2E	1	
		16208 国際貿易論1	1	
		16408 国際貿易論2	1	
		16261 国際貿易論1E	1	
		16461 国際貿易論2E	1	
		16209 国際協力論1	1	
		16409 国際協力論2	1	
		16210 異文化理解1	1	
		16410 異文化理解2	1	
		16062 国際学特論E	2	
		16068 国際政治経済論	2	
		16069 国際公共政策論	2	
		16268 国際機構論	2	
		16258 国際機構論1E	1	
		16458 国際機構論2E	1	
		16049 国際コミュニケーション論	2	
		16256 国際関係論1	1	
		16456 国際関係論2	1	
		16269 国際関係論E	2	
		16257 国際政治史1	1	
		16457 国際政治史2	1	
		16264 国際開発論1	1	
		16464 国際開発論2	1	
		16262 国際開発論1E	1	
		16462 国際開発論2E	1	
		16267 ヨーロッパ・アフリカ概説1	1	
		16467 ヨーロッパ・アフリカ概説2	1	
		16214 日本文化	1	2科目から
		16414 日本文化E	1	1単位必修
		16212 日本の思想と宗教1	1	
		16412 日本の思想と宗教2	1	
		16213 日本史概説1	1	
		16413 日本史概説2	1	
		16014 日本経済論	2	
		16244 日本政治・外交論1E	1	
		16444 日本政治・外交論2E	1	
		16265 日本民俗文化論1E	1	
		16465 日本民俗文化論2E	1	
		16270 日本語学概論A	2	
		16468 日本語学概論B	2	
		16221 日本語教育学基礎1	1	
		16421 日本語教育学基礎2	1	
		16067 日本の文学	2	
		16469 日本の古典文学1	1	
		16470 日本の古典文学2	1	
		16238 日本文化体験A	2	
		16239 日本文化体験B	2	
		16477 日本文化体験C	1	
		16478 日本文化体験D	1	
16471 日本の近代文学1	1			
16472 日本の近代文学2	1			
16473 日本の現代文学1	1			
16474 日本の現代文学2	1			
16263 日本の人口学1E	1			
16463 日本の人口学2E	1			
16475 日本研究特論1E	1			
16476 日本研究特論2E	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	国際社会コース専門科目	51029 国際金融論	2	
		51030 国際金融史	2	
		52027 比較文化論A1	1	
		52527 比較文化論A2	1	
		52028 比較文化論B1	1	
		52528 比較文化論B2	1	
		52017 比較文化論1E	1	
		52517 比較文化論2E	1	
		52018 多文化主義論1E	1	
		52518 多文化主義論2E	1	
		52019 比較政治学1E	1	
		52519 比較政治学2E	1	
		52531 比較政治学1	1	
		52532 比較政治学2	1	
		51010 世界地誌A	2	
		51011 世界地誌B	2	
		52020 国際社会論特論1	1	
		52520 国際社会論特論2	1	
		52241 現代中国論A1	1	
		52741 現代中国論A2	1	
		52242 現代中国論B1	1	
		52742 現代中国論B2	1	
		52243 現代中国論1E	1	
		52743 現代中国論2E	1	
		52021 地球環境論1E	1	
		52521 地球環境論2E	1	
		52529 国際法概論A	2	
		52530 国際法概論B	2	
		52026 国際政治史(東洋)1E	1	
		52526 国際政治史(東洋)2E	1	
		52338 国際政治史(西洋)1E	1	
		52838 国際政治史(西洋)2E	1	
		52101 日本語の文字・表記1	1	
		52601 日本語の文字・表記2	1	
		52130 日本語の語彙・意味1	1	
		52630 日本語の語彙・意味2	1	
		52641 日本語史1	1	
		52642 日本語史2	1	
		52105 日本語文法A1	1	
		52605 日本語文法A2	1	
		52106 日本語文法B1	1	
		52606 日本語文法B2	1	
		52107 日本語教科書研究1	1	
		52607 日本語教科書研究2	1	
		52108 日本語教授法A1	1	
		52608 日本語教授法A2	1	
		52134 日本語教授法B	1	
		52634 日本語教授法演習(教育実習)	1	
		52110 日本語教育とコンピュータ1	1	
		52610 日本語教育とコンピュータ2	1	
		52113 第二言語習得論1	1	
		52613 第二言語習得論2	1	
		52117 日本語教育史1	1	
		52617 日本語教育史2	1	
51115 日本語教育実習A	1			
51116 日本語教育実習B	1			
52643 日本語音声学1	1			
52644 日本語音声学2	1			
52645 言語学概論A	1			
52646 言語学概論B	1			
52647 言語学概論C	1			
52648 言語学概論D	1			
52649 対照言語学1	1			
52650 対照言語学2	1			
52651 認知言語学1	1			
52652 認知言語学2	1			
52655 発達と学習の心理A	1			
52656 発達と学習の心理B	1			
52124 社会言語学1	1			
52624 社会言語学2	1			
52653 日本研究特論1E	1			
52654 日本研究特論2E	1			
52132 日本思想史1	1			
52632 日本思想史2	1			
52133 日本史特論1	1			
52633 日本史特論2	1			
51138 日本語教育評価法	2			
51134 海外日本語教育実習	2			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	アジアコース	52201 東アジア史概説A1	1	
		52701 東アジア史概説A2	1	
		52202 東アジア史概説B1	1	
		52702 東アジア史概説B2	1	
		52241 現代中国論A1	1	
		52741 現代中国論A2	1	
		52242 現代中国論B1	1	
		52742 現代中国論B2	1	
		52243 現代中国論1E	1	
		52743 現代中国論2E	1	
		52206 アジア経済史A1	1	
		52706 アジア経済史A2	1	
		52207 アジア経済史B1	1	
		52707 アジア経済史B2	1	
		52210 東アジア国際交流史1	1	
		52710 東アジア国際交流史2	1	
		52211 東南アジア研究	1	
		52212 南アジア文化論	1	
		52213 仏教文化論	1	
		52216 現代中国文化論1	1	
		52716 現代中国文化論2	1	
		52217 韓国・北朝鮮研究1	1	
		52717 韓国・北朝鮮研究2	1	
		52219 アジアのマイノリティと人権1	1	
		52719 アジアのマイノリティと人権2	1	
		52244 中国の文化と社会1E	1	
		52744 中国の文化と社会2E	1	
		52220 アジア研究特論A1	1	
		52720 アジア研究特論A2	1	
		52221 アジア研究特論B1	1	
		52721 アジア研究特論B2	1	
		52245 東アジア社会と教育A1	1	
		52745 東アジア社会と教育A2	1	
		52246 東アジア社会と教育B1	1	
		52746 東アジア社会と教育B2	1	
		36318 地理学概論A	2	
		52748 中国語コミュニケーション初級1	1	
		52749 中国語コミュニケーション初級2	1	
		52750 中国語コミュニケーション初級3	1	
		52751 中国語コミュニケーション初級4	1	
		52752 中国語コミュニケーション初級5	1	
		52753 中国語コミュニケーション初級6	1	
		52754 中国語コミュニケーション初級7	1	
		52755 中国語コミュニケーション初級8	1	
		52240 ビジネス中国語1	1	
		52740 ビジネス中国語2	1	
		52226 中国語表現法A1	1	
		52726 中国語表現法A2	1	
		52227 中国語表現法B1	1	
		52727 中国語表現法B2	1	
		52228 現代中国時事文A1	1	
		52728 現代中国時事文A2	1	
		52229 現代中国時事文B1	1	
		52729 現代中国時事文B2	1	
		52756 朝鮮語コミュニケーション初級1	1	
		52757 朝鮮語コミュニケーション初級2	1	
		52758 朝鮮語コミュニケーション初級3	1	
		52759 朝鮮語コミュニケーション初級4	1	
		52760 朝鮮語コミュニケーション初級5	1	
		52761 朝鮮語コミュニケーション初級6	1	
		52762 朝鮮語コミュニケーション初級7	1	
		52763 朝鮮語コミュニケーション初級8	1	
		52764 朝鮮語コミュニケーション中級1	1	
		52765 朝鮮語コミュニケーション中級2	1	
		52766 朝鮮語コミュニケーション中級3	1	
		52767 朝鮮語コミュニケーション中級4	1	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	米英コース	52334 米英研究A1	1	
		52834 米英研究A2	1	
		52335 米英研究B1	1	
		52835 米英研究B2	1	
		52345 アメリカ地域文化論1E	1	
		52845 アメリカ地域文化論2E	1	
		52356 米英文化関係論1E	1	
		52856 米英文化関係論2E	1	
		52347 イギリス地域文化論1E	1	
		52847 イギリス地域文化論2E	1	
		51362 英語学概説1	1	
		51363 英語学概説2	1	
		51364 英語学概説1E	1	
		51365 英語学概説2E	1	
		52350 米英メディア文化論1E	1	
		52850 米英メディア文化論2E	1	
		52337 米英政治・外交論1E	1	
		52837 米英政治・外交論2E	1	
		52316 アメリカ経済論1E	1	
		52816 アメリカ経済論2E	1	
		51366 北米文化論1	1	
		51367 北米文化論2	1	
		52339 米英政治・外交論1	1	
		52839 米英政治・外交論2	1	
		52333 英文法教授法	1	
		52338 国際政治史(西洋)1E	1	
		52838 国際政治史(西洋)2E	1	
		52363 米英研究特論1	1	
		52364 米英研究特論2	1	
		52319 アカデミック・ライティングA1	1	
		52819 アカデミック・ライティングA2	1	
		52320 アカデミック・ライティングB1	1	
		52820 アカデミック・ライティングB2	1	
		52321 アカデミック・ライティングC1	1	
		52821 アカデミック・ライティングC2	1	
		52322 アカデミック・ライティングD1	1	
		52822 アカデミック・ライティングD2	1	
		52323 英語グローバルトピックA1	1	
		52823 英語グローバルトピックA2	1	
		52324 英語グローバルトピックB1	1	
		52824 英語グローバルトピックB2	1	
		52325 英語グローバルトピックC1	1	
		52825 英語グローバルトピックC2	1	
		52326 英語グローバルトピックD1	1	
		52826 英語グローバルトピックD2	1	
		52327 国際英語コミュニケーションA1	1	
		52827 国際英語コミュニケーションA2	1	
		52328 国際英語コミュニケーションB1	1	
		52828 国際英語コミュニケーションB2	1	
		52329 国際英語コミュニケーションC1	1	
		52829 国際英語コミュニケーションC2	1	
		52330 国際英語コミュニケーションD1	1	
		52830 国際英語コミュニケーションD2	1	
		52359 英語圏文化論1E	1	
		52859 英語圏文化論2E	1	
		52357 Business Communication	1	
		52358 Management Communication	1	

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	ヨーロッパコース	53036 西洋近・現代史概説	2	
		52489 現代ヨーロッパ社会論	2	
		52405 ヨーロッパの宗教1	1	
		52905 ヨーロッパの宗教2	1	
		52410 美術史1E	1	
		52910 美術史2E	1	
		51412 ヨーロッパ社会言語学	2	
		51477 ドイツ文学史A1	1	
		51478 ドイツ文学史A2	1	
		51479 ドイツ文学史B1	1	
		51480 ドイツ文学史B2	1	
		51481 フランス文学史A1	1	
		51482 フランス文学史A2	1	
		51483 フランス文学史B1	1	
		51484 フランス文学史B2	1	
		52445 ヨーロッパ生活論1E	1	
		52945 ヨーロッパ生活論2E	1	
		52446 ヨーロッパ研究特論1	1	
		52946 ヨーロッパ研究特論2	1	
		52447 ヨーロッパ研究特論1E	1	
		52947 ヨーロッパ研究特論2E	1	
		52448 ヨーロッパ研究特論3E	1	
		52948 ヨーロッパ研究特論4E	1	
		53037 ヨーロッパ歴史特論A	2	
		53038 ヨーロッパ歴史特論B	2	
		52470 ヨーロッパ文化特論A1	1	
		52970 ヨーロッパ文化特論A2	1	
		52471 ヨーロッパ文化特論B1	1	
		52971 ヨーロッパ文化特論B2	1	
		52472 ヨーロッパ社会特論A1	1	
		52972 ヨーロッパ社会特論A2	1	
		52473 ヨーロッパ社会特論B1	1	
		52973 ヨーロッパ社会特論B2	1	
		52479 ヨーロッパ・アフリカ概説1	1	
		52480 ヨーロッパ・アフリカ概説2	1	
		52481 ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A	1	
		52482 ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B	1	
		52483 ヨーロッパ・アフリカ史演習A	1	
		52484 ヨーロッパ・アフリカ史演習B	1	
		52485 ヨーロッパ・アフリカ史演習C	1	
		52486 ヨーロッパ・アフリカ史演習D	1	
		52487 ヨーロッパ・アフリカ史演習E	1	
		52488 ヨーロッパ・アフリカ史演習F	1	
		52423 ドイツ語読解基礎1	1	
		52923 ドイツ語読解基礎2	1	
		52979 ドイツ語コミュニケーション初級1	1	
		52980 ドイツ語コミュニケーション初級2	1	
		52981 ドイツ語コミュニケーション初級3	1	
		52982 ドイツ語コミュニケーション初級4	1	
		52983 ドイツ語コミュニケーション初級5	1	
		52984 ドイツ語コミュニケーション初級6	1	
		52985 ドイツ語コミュニケーション中級1	1	
52986 ドイツ語コミュニケーション中級2	1			
52987 ドイツ語コミュニケーション中級3	1			
52988 ドイツ語コミュニケーション中級4	1			
52989 ドイツ語コミュニケーション中級5	1			
52990 ドイツ語コミュニケーション中級6	1			
52430 ドイツ語表現法1	1			
52930 ドイツ語表現法2	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考
専門教育科目	ヨーロッパコース	52991 フランス語コミュニケーション初級1	1	
		52992 フランス語コミュニケーション初級2	1	
		52993 フランス語コミュニケーション初級3	1	
		52994 フランス語コミュニケーション初級4	1	
		52995 フランス語コミュニケーション初級5	1	
		52996 フランス語コミュニケーション初級6	1	
		52997 フランス語コミュニケーション初級7	1	
		52998 フランス語コミュニケーション初級8	1	
		52999 フランス語コミュニケーション中級1	1	
		53000 フランス語コミュニケーション中級2	1	
		53001 フランス語コミュニケーション中級3	1	
		53002 フランス語コミュニケーション中級4	1	
		53003 フランス語コミュニケーション中級5	1	
		53004 フランス語コミュニケーション中級6	1	
		53005 フランス語コミュニケーション中級7	1	
		53006 フランス語コミュニケーション中級8	1	
		53007 スペイン語コミュニケーション初級1	1	
		53008 スペイン語コミュニケーション初級2	1	
		53009 スペイン語コミュニケーション初級3	1	
		53010 スペイン語コミュニケーション初級4	1	
		53011 スペイン語コミュニケーション初級5	1	
		53012 スペイン語コミュニケーション初級6	1	
		53013 スペイン語コミュニケーション初級7	1	
		53014 スペイン語コミュニケーション初級8	1	
		53015 スペイン語コミュニケーション中級1	1	
		53016 スペイン語コミュニケーション中級2	1	
		53017 スペイン語コミュニケーション中級3	1	
		53018 スペイン語コミュニケーション中級4	1	
		53019 スペイン語コミュニケーション中級5	1	
		53020 スペイン語コミュニケーション中級6	1	
		53021 スペイン語コミュニケーション中級7	1	
		53023 スペイン語コミュニケーション中級8	1	
		53024 ロシア語コミュニケーション初級1	1	
		53025 ロシア語コミュニケーション初級2	1	
		53026 ロシア語コミュニケーション初級3	1	
53027 ロシア語コミュニケーション初級4	1			
53028 ロシア語コミュニケーション初級5	1			
53029 ロシア語コミュニケーション初級6	1			
53030 ロシア語コミュニケーション初級7	1			
53031 ロシア語コミュニケーション初級8	1			
53032 ロシア語コミュニケーション中級1	1			
53033 ロシア語コミュニケーション中級2	1			
53034 ロシア語コミュニケーション中級3	1			
53035 ロシア語コミュニケーション中級4	1			

科目区分	科目番号	授業科目	単位数	備考	
専門教育科目	学類共通専門科目	36001	インターンシップ	2	
		36002	卒業論文	6	
		36108	異文化体験実習Ⅰ(海外)	1	
		36101	異文化体験実習Ⅰ(海外)	2	
		36102	異文化体験実習Ⅰ(海外)	3	
		36103	異文化体験実習Ⅰ(海外)	4	
		36104	異文化体験実習Ⅰ(海外)	5	
		36105	異文化体験実習Ⅰ(海外)	6	
		36106	異文化体験実習Ⅰ(海外)	7	
		36107	異文化体験実習Ⅰ(海外)	8	
		36201	異文化体験実習Ⅱ(海外)	2	
		36323	日本史要説A	1	
		36324	日本史要説B	1	
		36325	東洋史要説A	1	
		36326	東洋史要説B	1	
		36327	政治学A	1	
		36328	政治学B	1	
		36304	社会学	2	
		36309	地域経営論Ⅰ	1	
		36310	地域経営論Ⅱ	1	
		36311	地域文化論Ⅰ	1	
		36312	地域文化論Ⅱ	1	
		36313	コミュニティ・デザイン論Ⅰ	1	
		36314	コミュニティ・デザイン論Ⅱ	1	
		36329	漢文学概説1	1	
		36330	漢文学概説2	1	
		36331	漢文学史A1	1	
		36332	漢文学史A2	1	
		36317	書写書道基礎	2	
		52248	地理学概論B	2	
		36321	哲学概論A	2	
		36322	哲学概論B	2	
		36333	英米言語文化概説A	1	
		36334	英米言語文化概説B	1	
		36501	外国語コミュニケーション	1	
		36502	外国語コミュニケーション	2	
		36503	外国語コミュニケーション	3	
		36504	外国語コミュニケーション	4	
		36505	外国語コミュニケーション	5	
		36506	外国語コミュニケーション	6	
		36507	外国語コミュニケーション	7	
		36508	外国語コミュニケーション	8	
		36509	外国語コミュニケーション	9	
		36510	外国語コミュニケーション	10	
		36511	外国語コミュニケーション	11	
		36512	外国語コミュニケーション	12	
		36601	国際学特別研究	1	
36602	国際学特別研究	2			
36603	国際学特別研究	3			
36604	国際学特別研究	4			
36605	国際学特別研究	5			
36606	国際学特別研究	6			
36607	国際学特別研究	7			
36608	国際学特別研究	8			
36609	国際学特別研究	9			
36610	国際学特別研究	10			
36611	国際学特別研究	11			
36612	国際学特別研究	12			
36613	研究演習A1	1	4単位 必修		
36614	研究演習A2	1			
36615	研究演習A3	1			
36616	研究演習A4	1			
36617	研究演習B1	1			
36618	研究演習B2	1			
36619	研究演習B3	1			
36620	研究演習B4	1			

国際学類細則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この細則は、金沢大学人間社会学域規程（以下「規程」という。）に基づき、国際学類（以下「本学類」という。）における授業科目の単位修得に関する要件及び履修方法等について、必要な事項を定める。

第2章 履修コース

(履修コース・規程第5条第1項関係)

第2条 学生は、本学類に置かれるコースの一を選択して履修しなければならない。

2 学生は、第1学年の後学期の所定の期日までに、志望するコースを選択し、学類長に届け出なければならない。

3 本学類に置かれるコースの受入れ上限数は次のとおりとする。

コース	国際社会	日本・日本語教育	アジア	米英	ヨーロッパ
受入れ上限数	45名	18名	18名	18名	18名

4 コースの志望者数が前項に定める受入れ上限数を超過したときは、米英コースではTOEFLの得点及び面接、その他のコースではGPA値及び面接により、選考を行う。

(転コース・規程27条関係)

第3条 学生は、コースを変更しようとするときは、学類長に願い出なければならない。

2 転コースの時期は、学年の始めとする。ただし、留学等の事由がある場合については、学期の始めとすることができる。

(修得すべき単位数等・規程第6条、7条関係)

第4条 修得すべき単位数は、規程第6条第1項の定めるところによる。

2 規程別表第2に定める単位修得要件の詳細は別表第1のとおりとする。

3 規程別表第3-1および3-2に定める授業科目の開講時期及び修得すべき単位数は、別表第2の1および第2の2のとおりとする。

4 規程別表第4に定める授業科目群の開講時期及び修得すべき単位数は、履修コースに応じて、別表第3のとおりとする。

5 選択必修科目の修得すべき単位数を超えた単位は、選択単位として認定する。

6 国際社会コースにおいては、学類共通科目の国際社会系科目及び日本文化系科目で選択必修科目の修得すべき単位数を超えた単位は、コース専門科目の選択必修科目とすることができる。

7 規程第8条第4項の規定により、直前の学期までの成績が、金沢大学履修規程第15条の定めるところにより算出したGPA値で2.7以上である者については、規程別表第5に定める履修登録単位数の上限を解除する。

(他学域・他学類における授業科目の履修)

第5条 規程第10条の規定により履修した他学類の授業科目については、24単位まで、本学類の単位（選択単位）として認定する。

第3章 試験及び成績評価

(出席時間数)

第6条 規程第16条第3項の規定により単位の認定を受けるに必要な出席時間数は、出席すべき時数（実際に授業を行った時数）の3分の2以上を原則とする。

第7条 本学類の授業科目における試験の期日と方法は、シラバス等によりあらかじめ公示する。

2 試験の当日に病気その他やむをえない事由のために欠席した学生については、担当教員がその事由を妥当と認めた場合、追試験を行うことがある。

(GPA値の利用項目・規程第20条関係)

第8条 規程第20条の規定により、本学類においてGPA値を利用する項目は以下のとおりとする。

- (1) コースの決定に際しての選考における参考資料
- (2) 転学類、転コースに際しての選考における参考資料
- (3) アドバイス教員による学生指導の参考資料

(再履修)

第9条 本学類における再履修については、不可・放棄と評価された専門教育科目と同一科目を次学期・クォーター以降に再履修した場合は、GPA算出の際には分母をダブルカウントしないものとする。なお、同一科目とは別途指示する時間割に記載の枝番号を含めた授業科目とする。

第4章 卒業論文 (規程6条第4項関係)

(卒業論文提出資格)

第10条 卒業論文を提出するためには、履修コースにおいて3学期を超えて学修していなければならない。ただし、留学等の事由がある場合については、2学期を超えて学修すれば足りるものとする。

(早期卒業)

第10条の2 前条の規定にかかわらず、本学類に3年以上在学し又は在学が見込まれる者で、規程で定める卒業要件に必要な単位を9割以上修得済みであり、かつ、直近の学期までのGPA値が3.0以上である場合は、早期卒業を申請することができる。

但し、再入学及び転入学をした者については、早期卒業を認めない。

- 2 早期卒業を申請する場合は、9月末卒業予定者については同年度の5月末まで、3月卒業予定者については、同年度の11月末までに、早期卒業を申請しなければならない。
- 3 早期卒業の申請があった場合は、卒業論文の提出について、本学類の教務・学生生活委員会及び学類会議の承認を得ることを要する。
- 4 早期卒業を申請した者は、規程で定める卒業に必要な単位を、卒業論文を含めGPA値が3.0以上の優秀な成績で修得したと認められる場合は、教育研究会議の議を経て卒業を認定することができる。

(卒業論文提出期限)

第11条 卒業論文は、1月11日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までに、所定の場所へ提出しなければならない。ただし、9月末卒業予定者については、7月21日(当日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、休日明けの日)午後5時までとする。

(卒業論文の評価)

第12条 卒業論文の評価は、提出論文の審査により行う。

第5章 転学類等

(再入学)

第13条 規程23条第2項の規定により、本学類へ再入学の出願資格及び選抜方法については別に定める。

(転入学)

第14条 規程24条第2項の規定により、本学類へ転入学の出願資格及び選抜方法については別に定める。

(転学類)

第15条 規程26条第2項の規定により、本学類へ転学類の出願資格及び選抜方法については別に定める。

第6章 編入学

(編入学年次)

第16条 編入学した学生の編入学時の所属年次は第3年次とする。

(所属コース)

第17条 所属コースは本学類に置かれるコースの一を入学時に所属を選択するものとする。ただし、定員超過により第2志望のコースとされる場合があり得るものとする。

(単位の認定)

第18条 編入学をした者には、共通教育科目38単位、学域GS科目2単位、学類共通科目(国際学入門, 国際学入門E, 日本文化, 日本文化E 4単位を含む)20単位の併せて60単位を一括して認定するものとする。

(専門科目の履修方法及び卒業要件)

第19条 専門教育科目の履修方法及び卒業要件については別に定める。

(卒業)

第20条 編入学した者が、本学類に2年以上在学し、前条に定める卒業に必要な単位数を修得した場合には、教育研究会議の議を経て卒業を認定する。

第7章 教育職員免許

第21条 規程38条及び第39条の規程により、共通教育科目、教科に関する科目及び教職に関する科目の履修方法等は、別に定める。

第8章 雑 則

(改正)

第22条 本細則の改正は、学類会議の議による。

(補則)

第23条 本細則に定めるもののほか、必要な事項は、学類会議が定める。

附則

(略)

附則

1 この細則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

ただし、細則別表第2の1のうち、「国際学特論」「国際機構論」「日本史概説E」「多文化主義論E」「現代中国論E」「地球環境論E」「国際法概論」「国際政治史(東洋)E」「日本思想史」「日本史特論」「アメリカ地域文化論E」「イギリス地域文化論E」については、平成24年3月31日に在学する者についても適用する。なお、科目名の後にEを付しているものは、英語で開講する科目を表すものとする。

附則

1 この細則は、平成25年4月1日から施行する。

2 平成25年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

ただし、細則別表第2の1のうち、「英語コミュニケーションⅠ(語学研修)」「英語コミュニケーションⅡ(語学研修)」「国際機構論E」「国際関係論E」「比較文化論」「海外日本語教育実習」「英文法教授法」「国際政治史(西洋)E」「ロシア語コミュニケーションⅠA」「ロシア語コミュニケーションⅠB」

「ロシア語コミュニケーションⅡA」「ロシア語コミュニケーションⅡB」「ロシア語コミュニケーションⅢ」「ロシア語コミュニケーションⅣ」「異文化体験実習Ⅰ（オーストラリア）」「異文化体験実習Ⅱ（オーストラリア）」については、平成25年3月31日に在学する者についても適用する。なお、科目名の後にEを付しているものは、英語で開講する科目を表すものとする。

附則

- 1 この細則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。
ただし、細則別表第2の1のうち、「比較文化論B」については、平成26年3月31日に在学する者についても適用する。

附則

- 1 この細則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者においては従前の例による。
ただし、細則別表第2の1のうち、「国際貿易論E」「日本の人口学E」〔ヨーロッパ研究特論E〕「ヨーロッパ文化学・プロジェクト研究Ⅰ（スペイン）」「ヨーロッパ文化学・プロジェクト研究Ⅱ（ポルトガル）」「異文化体験実習Ⅰ（ニュージーランド）」「異文化体験実習Ⅱ（ニュージーランド）」については、平成27年3月31日に在学する者についても適用する。

附則

- 1 この細則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日に在学する者においては従前の例による。
ただし、細則別表第3のうち、「韓国・北朝鮮研究1」、「韓国・北朝鮮研究2」、「東アジア社会と教育A1」、「東アジア社会と教育A2」、「東アジア社会と教育B1」、「東アジア社会と教育B2」、「国際経済学1E」、「国際経済学2E」、「国際開発論1」、「国際開発論2」、「国際開発論1E」、「国際開発論2E」、「英語圏文化論1E」、「英語圏文化論2E」、「異文化体験実習Ⅰ（海外）」については、平成28年3月31日に在学する者についても適用する。

附則

- 1 この細則は、平成28年10月1日から施行する。

附則

- 1 この細則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。ただし、細則別表第2の1の学域GS科目のうち、GS科目発展系科目群については、平成28年度入学者についても適用する。
- 3 改正後の細則別表第3のうち、「国際公共経済論A1」、「国際公共経済論A2」、「国際コミュニケーション論1」、「国際コミュニケーション論2」、「国際金融論A1」、「国際金融論A2」、「日本語教育評価法1」、「韓国・北朝鮮比較研究1」、「韓国・北朝鮮比較研究2」、「英語圏文化論1」、「英語圏文化論2」、「西洋経済史B」については、平成28年度入学生にのみ適用する。
- 4 前項の規定のほか、平成29年3月31日に在学する者については、改正後の細則別表第3のうち、「東アジア社会と教育A1（52245）」、「東アジア社会と教育A2（52745）」、「東アジア社会と教育B1（52246）」、「東アジア社会と教育B2（52746）」、「異文化体験実習Ⅰ（アメリカ）」、「異文化体験実習Ⅱ（アメリカ）」を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の細則別表第3における「アフリカ概説1」、「アフリカ概説2」、「日本文化体験A（16238）」、「日本文化体験B（16239）」、「現代中国論A1」、「現代中国論A2」、「現代中国論B1」、「現代中国論B2」、「現代中国論1E」、「現代中国論2E」、「国際社会研究演習A1」、「国際社会研究演習A2」、「国際社会研究演習A3」、「国際社会研究演習A4」、「国際社会研究演習B1」、「国際社会研究演習B2」、「国際社会研究演習B3」、「国際社会研究演習B4」、「日本語教育実習A（1単位）」、「日本語教育実習B（1単位）」、

「日本史特論 1」, 「日本史特論 2」, 「海外日本語教育実習」, 「日本研究演習A1」, 「日本研究演習A2」, 「日本研究演習A3」, 「日本研究演習A4」, 「日本研究演習B1」, 「日本研究演習B2」, 「日本研究演習B3」, 「日本研究演習B4」, 「中国の文化と社会1E (52244)」, 「中国の文化と社会2E (52744)」, 「朝鮮語コミュニケーションVa」, 「朝鮮語コミュニケーションVb」, 「朝鮮語コミュニケーションVIa」, 「朝鮮語コミュニケーションVIb」, 「アジア研究演習A1」, 「アジア研究演習A2」, 「アジア研究演習A3」, 「アジア研究演習A4」, 「アジア研究演習B1」, 「アジア研究演習B2」, 「アジア研究演習B3」, 「アジア研究演習B4」, 「Business Communication (52375)」, 「米英研究演習A1」, 「米英研究演習A2」, 「米英研究演習A3」, 「米英研究演習A4」, 「米英研究演習B1」, 「米英研究演習B2」, 「米英研究演習B3」, 「米英研究演習B4」, 「美術史1E (52410)」, 「美術史2E (52910)」, 「ヨーロッパ研究特論3E」, 「ヨーロッパ研究特論4E」, 「ヨーロッパ研究演習A1」, 「ヨーロッパ研究演習A2」, 「ヨーロッパ研究演習A3」, 「ヨーロッパ研究演習A4」, 「ヨーロッパ研究演習B1」, 「ヨーロッパ研究演習B2」, 「ヨーロッパ研究演習B3」, 「ヨーロッパ研究演習B4」, 「社会学」については、平成28年度入学生から適用する。

附則

- 1 この細則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者については、なお従前の例による。

附則

- 1 この細則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者については、改正後の細則別表第3における「地理学概論B」, 「英語学概説E」, 「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義A」, 「ヨーロッパ・アフリカ史特殊講義B」, 「ヨーロッパ・アフリカ史演習A」, 「ヨーロッパ・アフリカ史演習B」, 「ヨーロッパ・アフリカ史演習C」, 「ヨーロッパ・アフリカ史演習D」, 「ヨーロッパ・アフリカ史演習E」及び「ヨーロッパ・アフリカ史演習F」を除き、なお従前の例による。ただし、改正後の細則別表第3における「日本語教授法B」及び「日本語教授法演習（教育実習）」については、平成29年度入学生から適用する。

角間北地区校舎配置図

角間地区建物等配置図

人間社会第1講義棟・1号館※・2号館※

人間社会第2講義棟・4号館※・5号館※

総合教育1号館※・2号館・講義棟

※国際学類専任教員・準専任教員の教員室を表示しています。
(専任は網かけ)

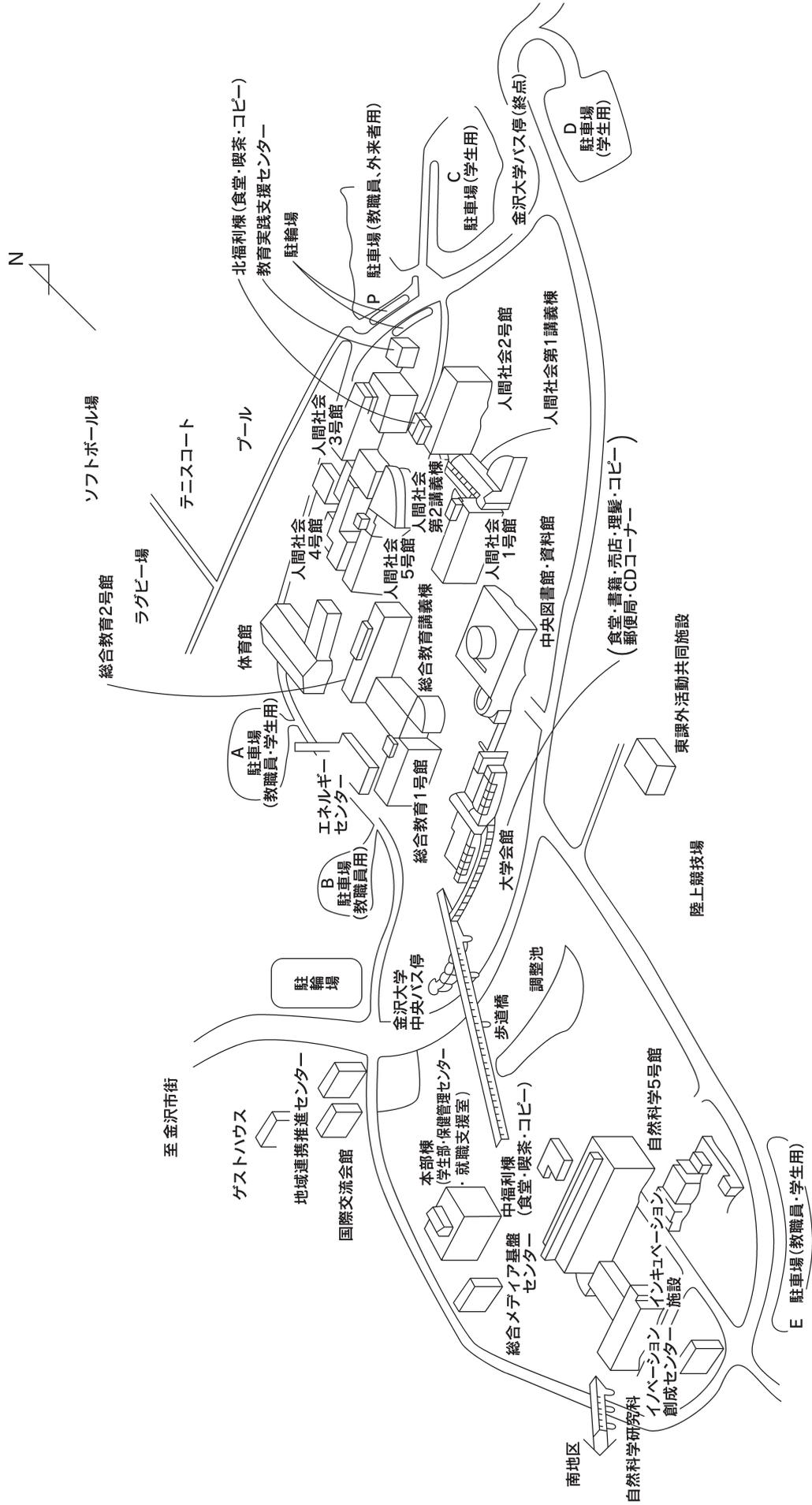
人間社会1号館～5号館の建物等配置図（教員研究室を含む）は、学内のPCまたはタッチパネル式端末から金沢大学公式Webサイトの次のアドレスを開き、最新情報を確認してください。

金沢大学角間北地区建物案内図（学内からのアクセス専用）

<http://center.ed.kanazawa-u.ac.jp/maps/>

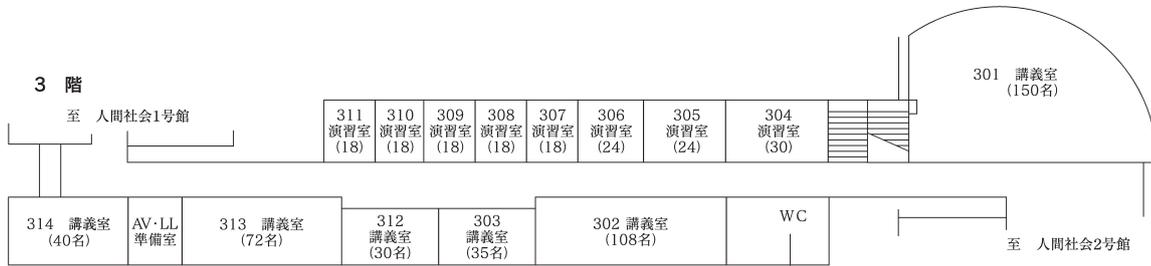
角間地区建物等配置図

- (注)
- 環状道路で囲まれた内側のアカデミックゾーン内は、諸車進入禁止です。
 - 環状道路の最高速度は時速20kmです。
 - 指定の駐車場及び駐輪場以外は、自動車及び二輪の駐車禁止です。
 - 横断歩道、交差点、カーブは徐行してください。
 - アカデミックゾーン内は、スケートボード等は禁止です。
 - 角間キャンパスは敷地内禁煙です(灰皿設置の場所を除く)。



人間社会第1講義棟

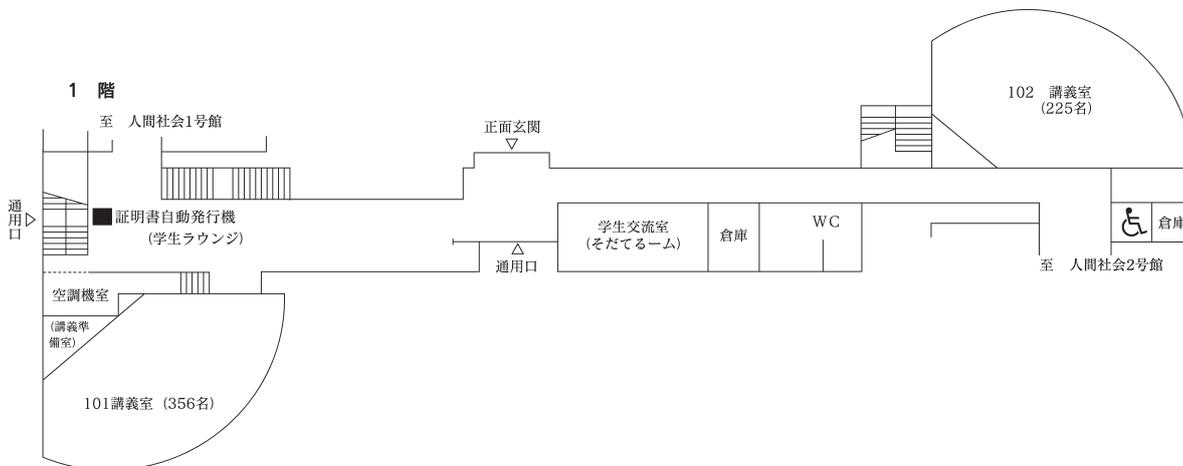
3 階



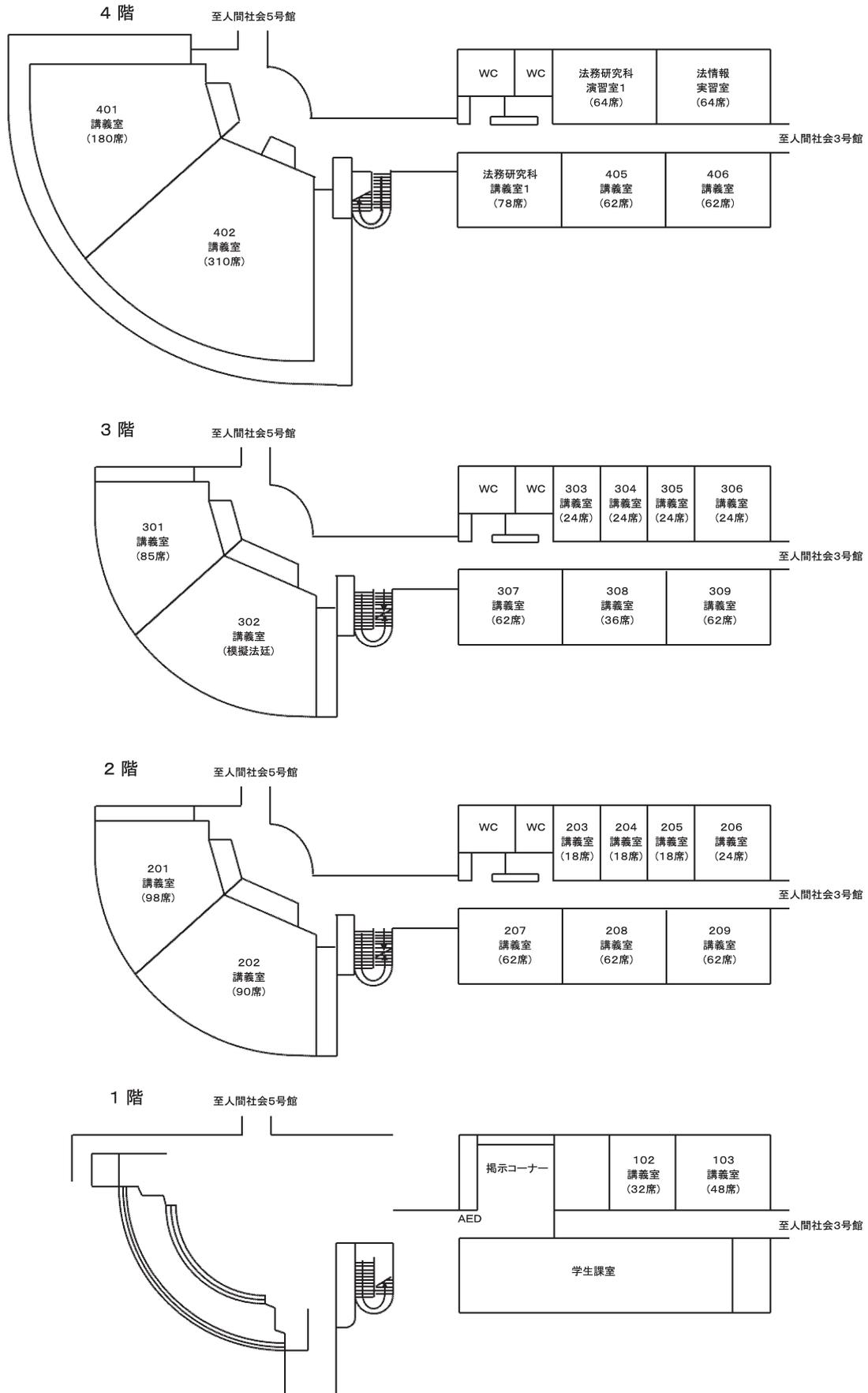
2 階



1 階



人間社会第2講義棟

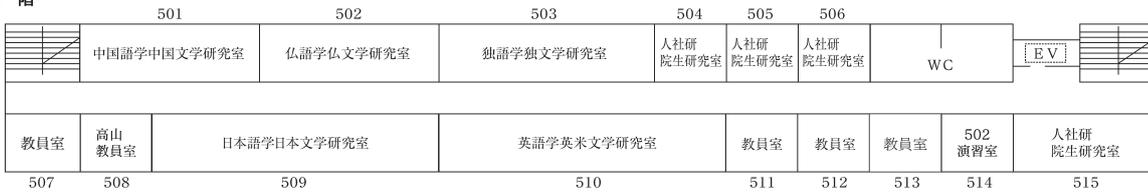


人間社会1号館

6 階



5 階



4 階



3 階



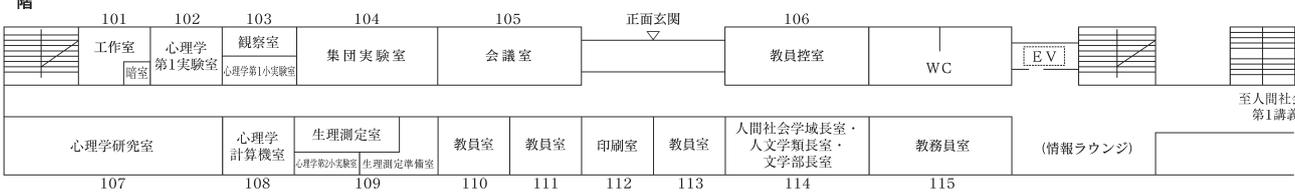
至人間社会
第1講義棟

2 階



至人間社会
第1講義棟

1 階



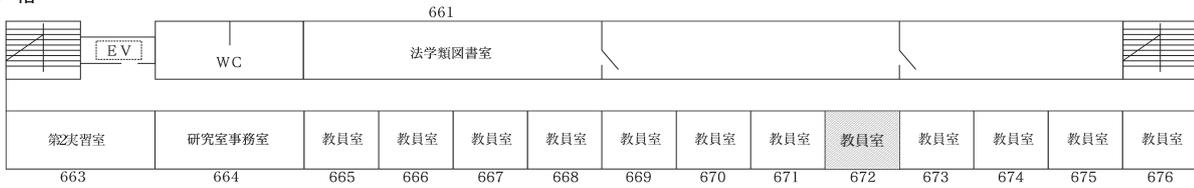
至人間社会
第1講義棟

人間社会2号館

7 階



6 階



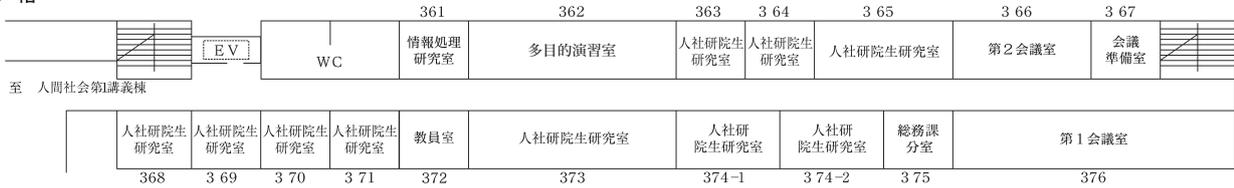
5 階



4 階



3 階



2 階

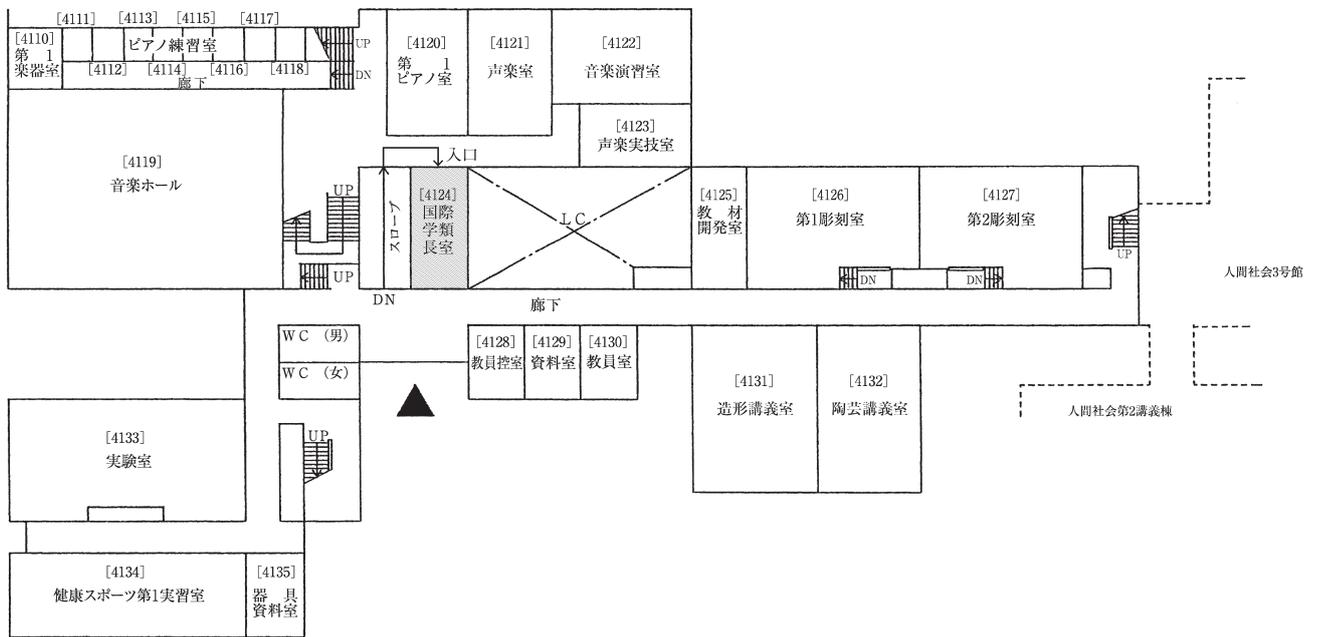


人間社会4号館

中2階

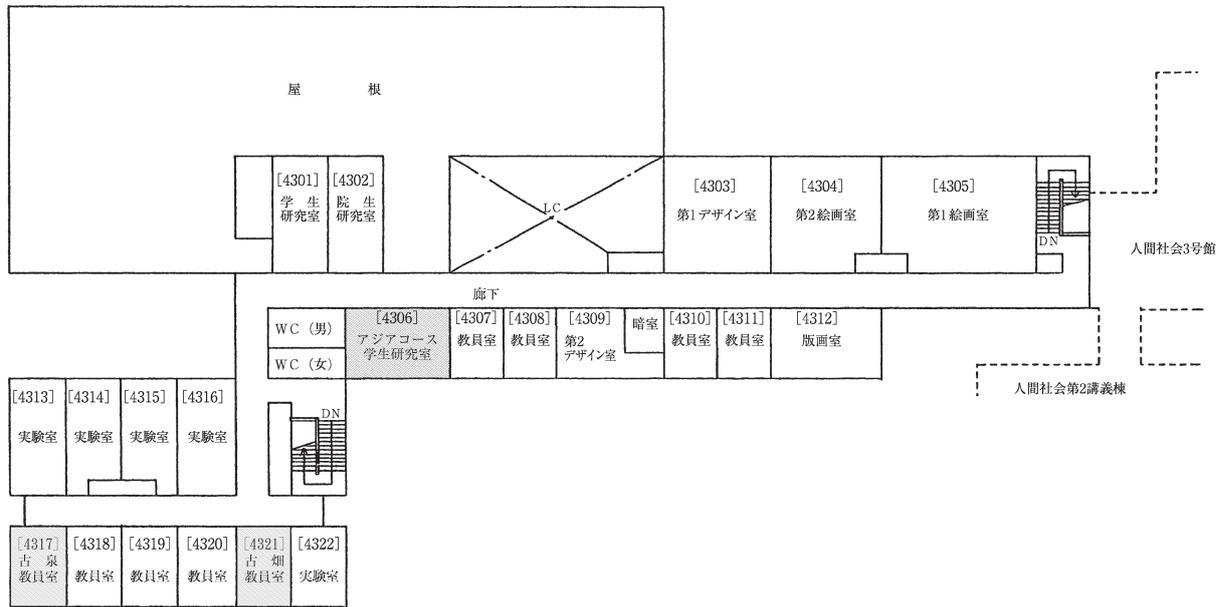


1 階

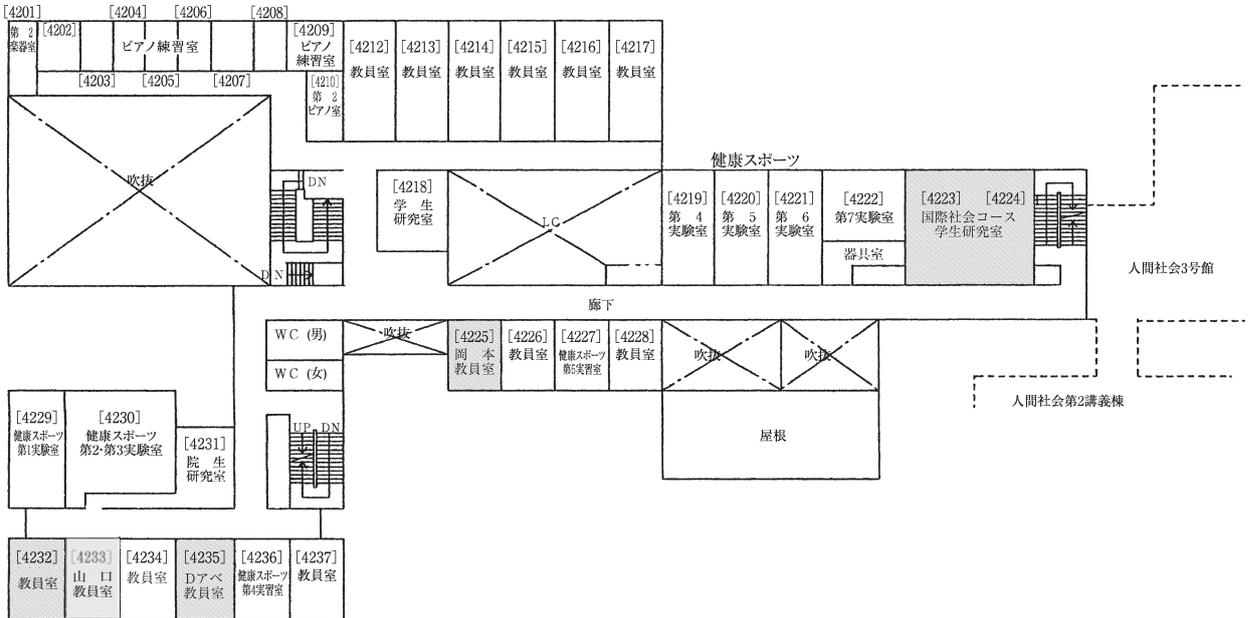


人間社会4号館

3 階

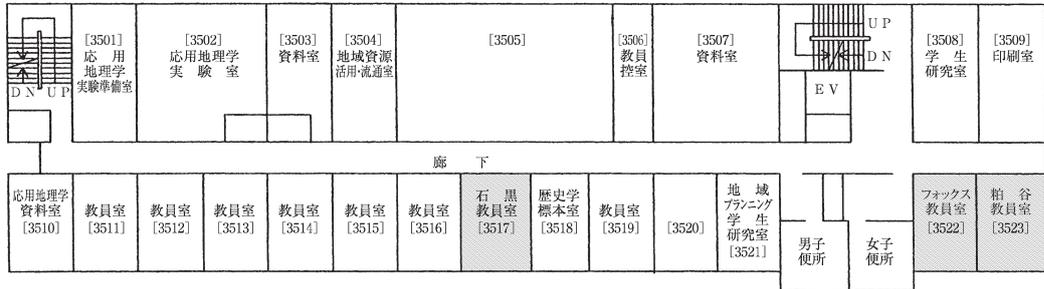


2 階

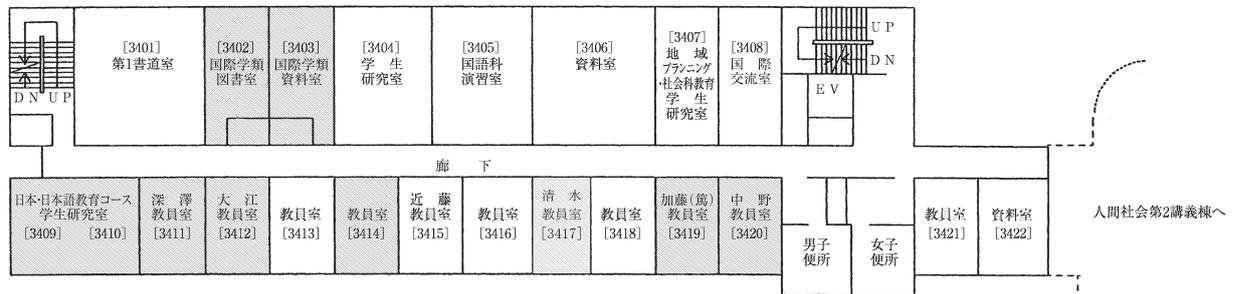


人間社会5号館

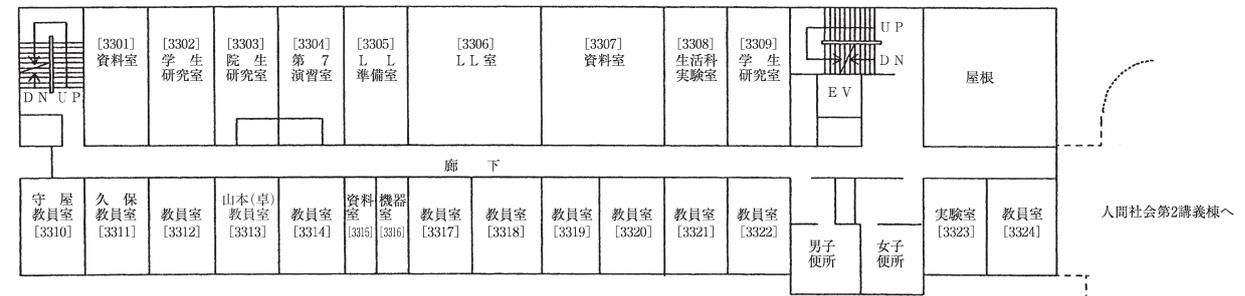
5 階



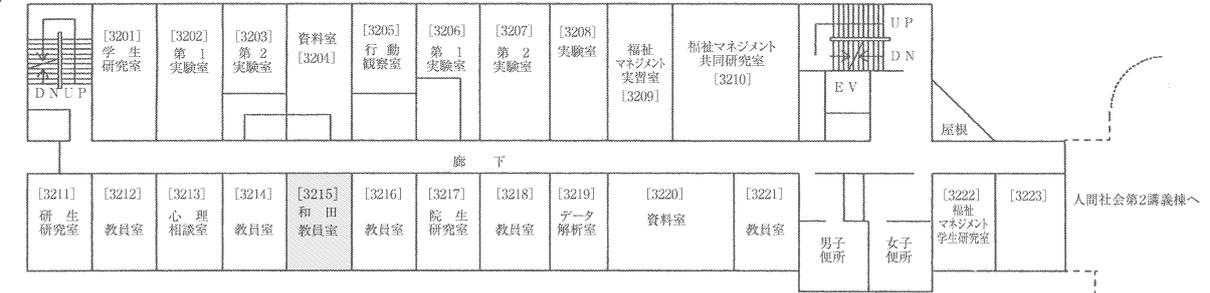
4 階



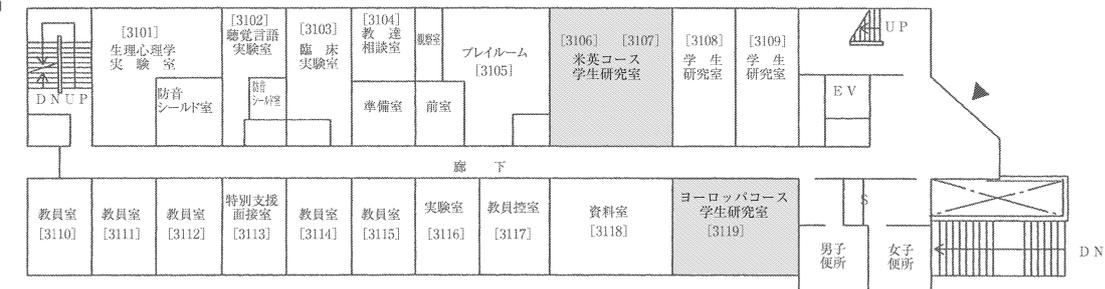
3 階



2 階

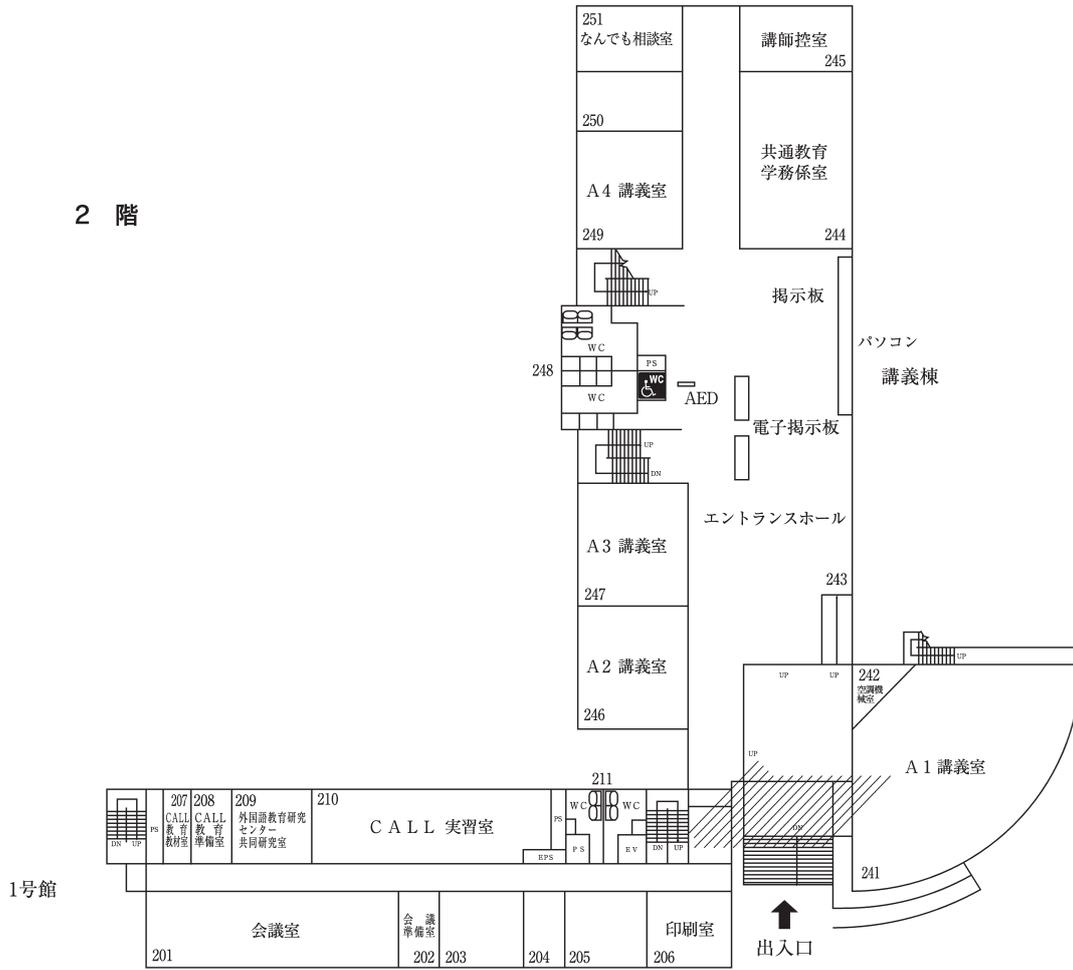


1 階

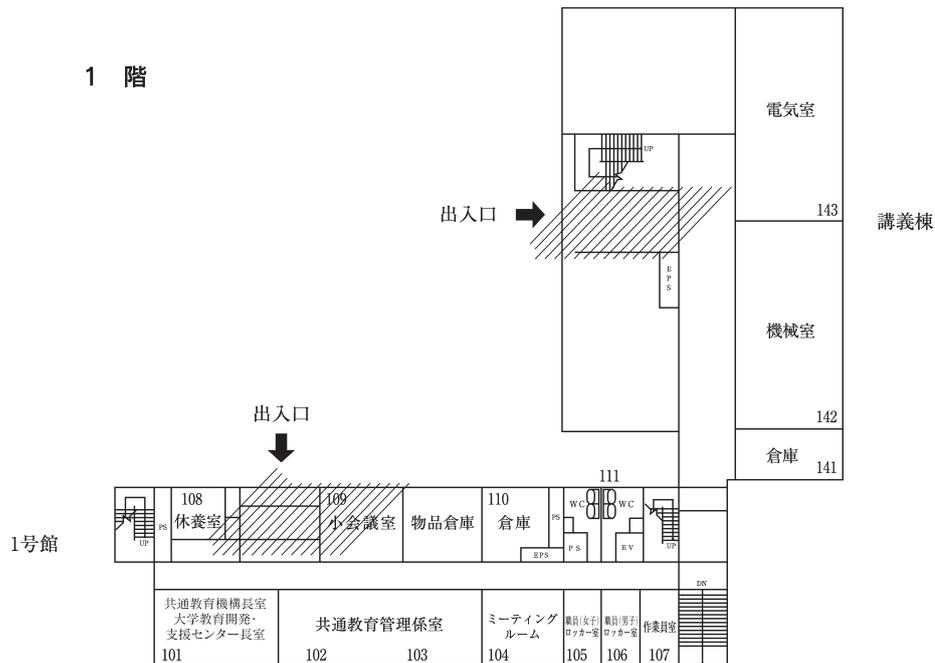


総合教育1号館, 2号館, 講義棟

2 階

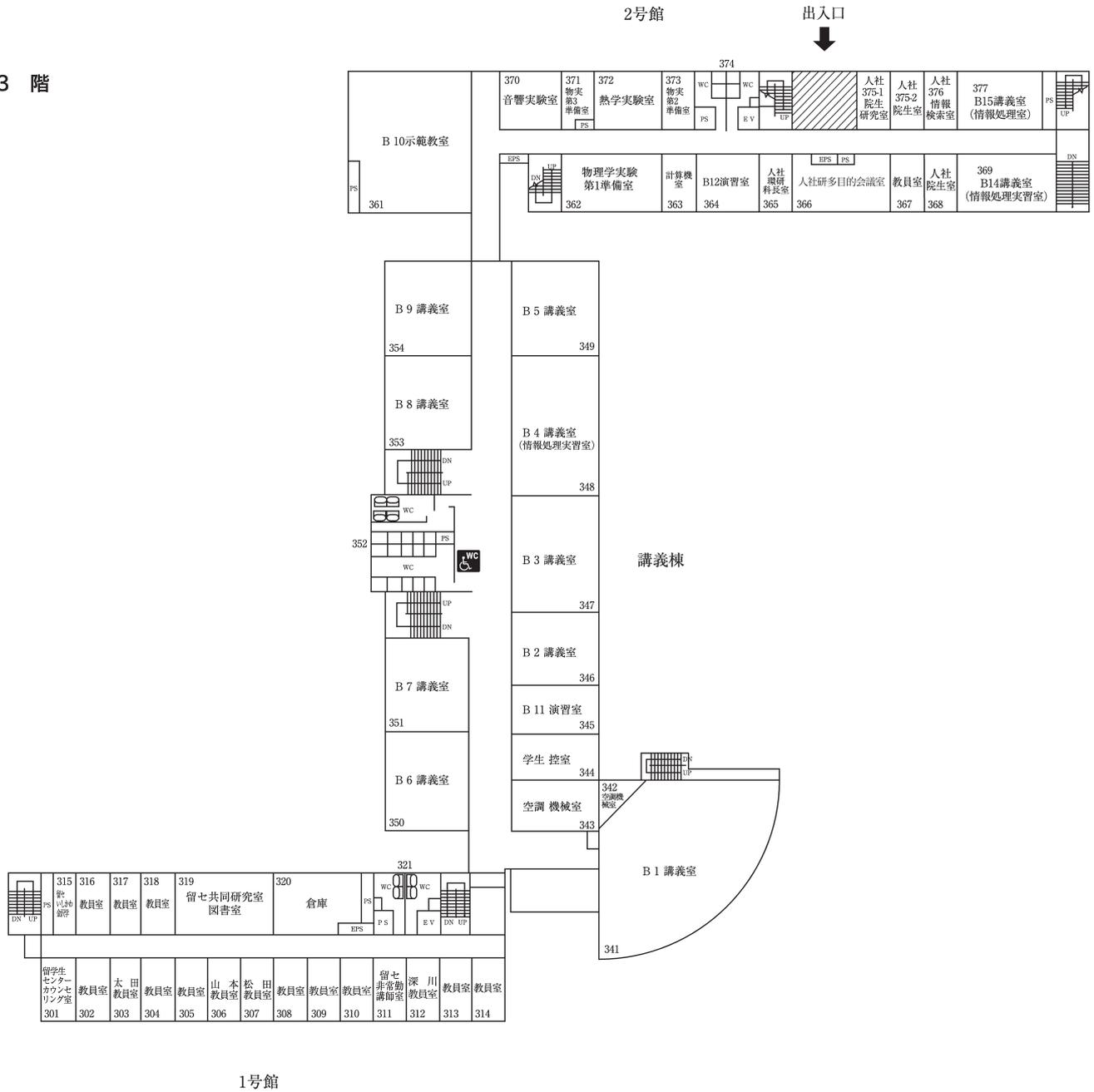


1 階



総合教育 1号館, 2号館, 講義棟

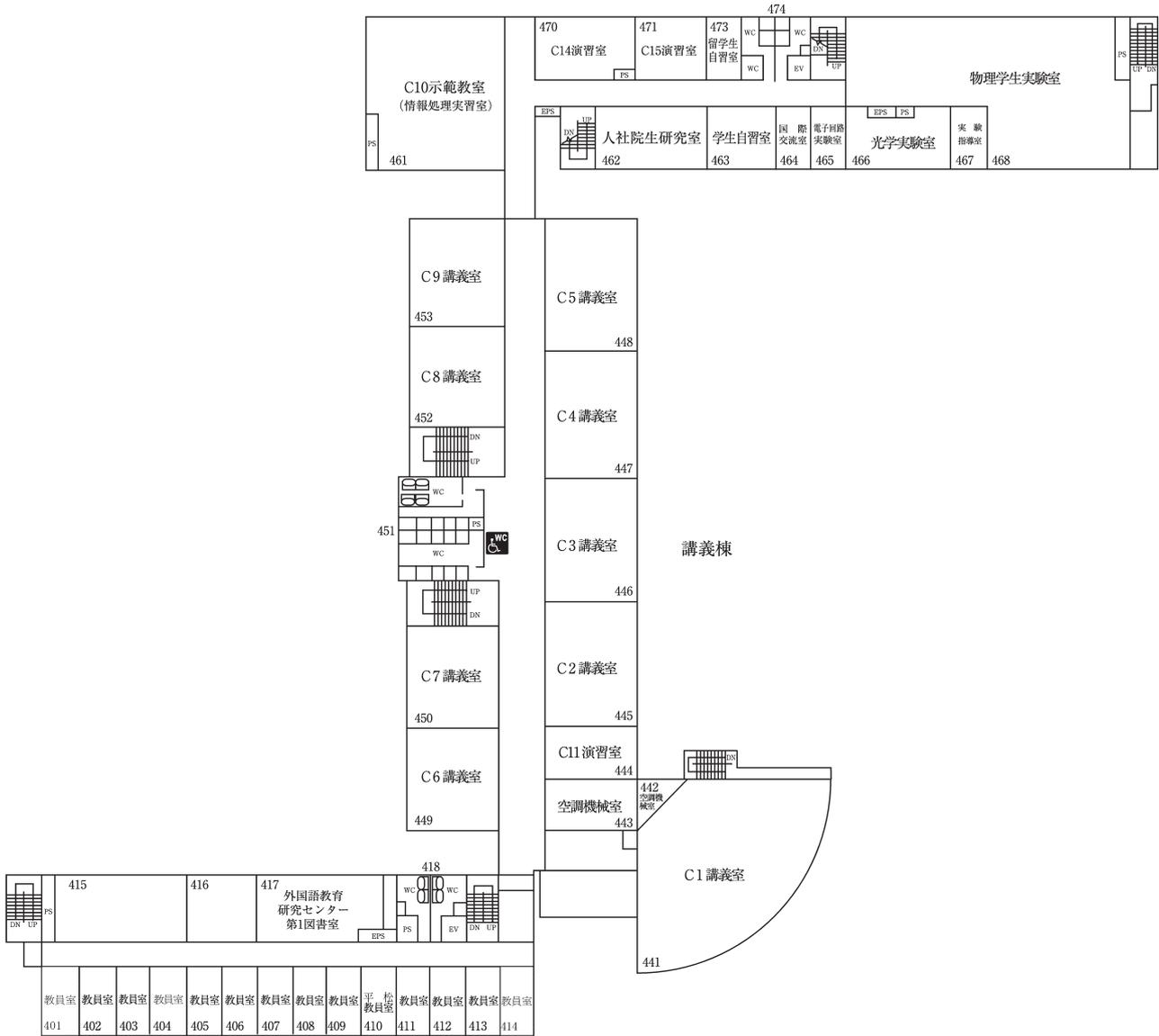
3 階



総合教育 1号館, 2号館, 講義棟

4 階

2号館

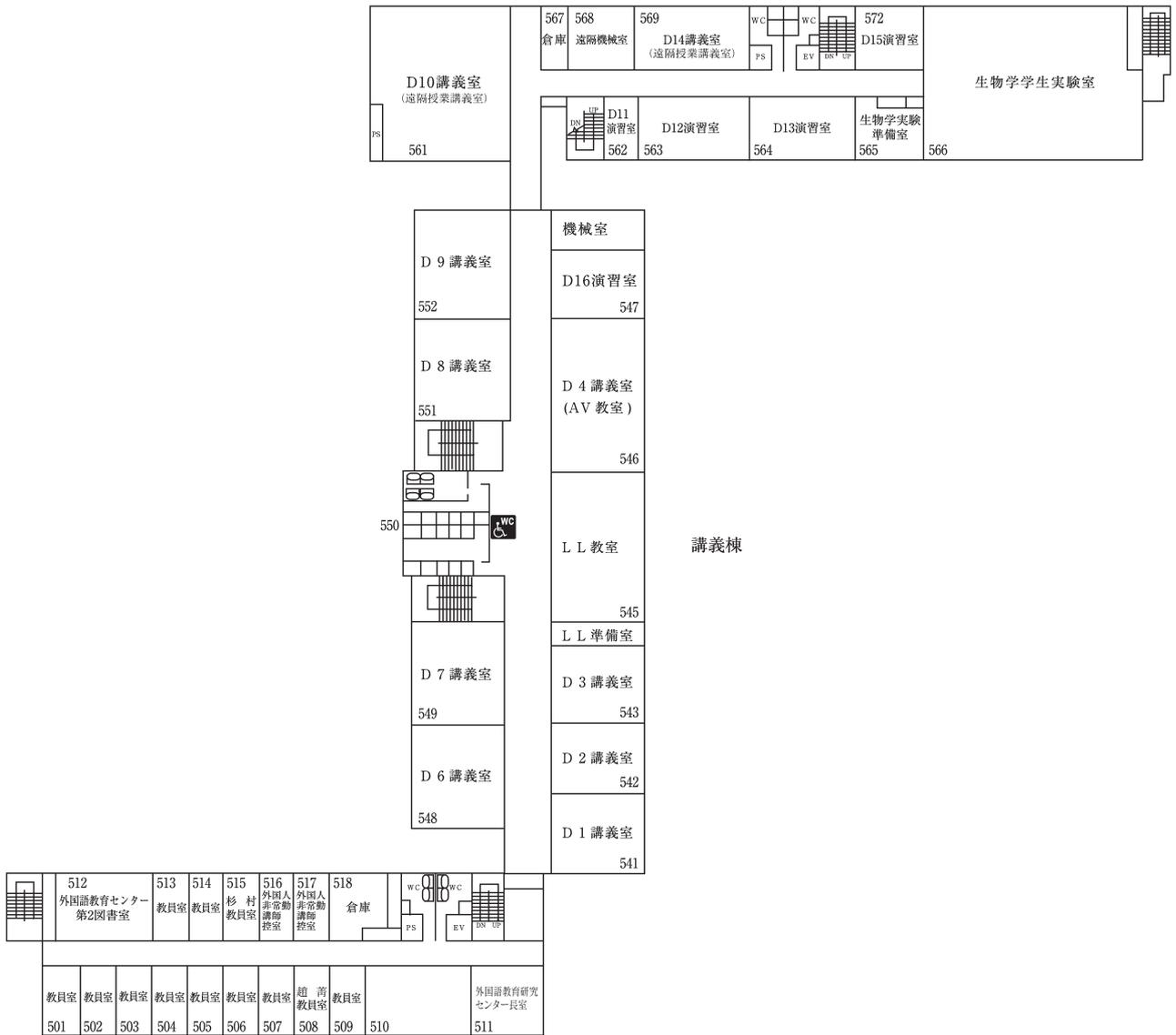


1号館

総合教育 1号館, 2号館, 講義棟

5 階

2号館

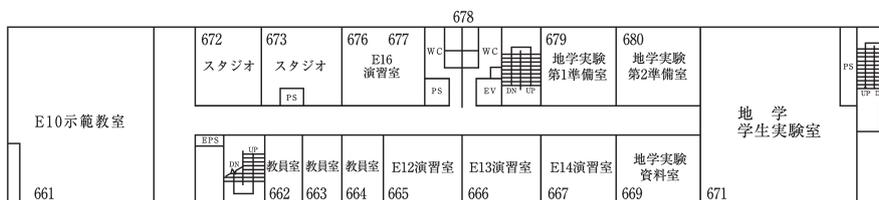


1号館

総合教育 1号館, 2号館, 講義棟

6 階

2号館



講義棟 (5階建)

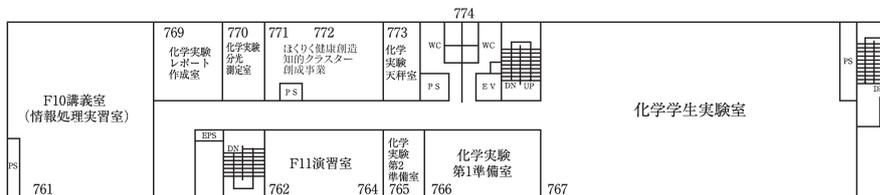


1号館

総合教育 1号館, 2号館, 講義棟

7 階

2号館



講義棟 (5階建)



1号館

